

文-01

Nです

N1	は	N2	です
			ではありません

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
ひかこ 非過去	Nです	Nではありません

基 本

例 文

- ① わたしは^{こうこうせい}高校生です。
- ② わたしは^{だいがくせい}大学生ではありません。
- ③ わたしは^{なかやま}中山です。
- ④ ^{なかやま}中山さんは^{にほんじん}日本人です。
- ⑤ ^{さい}まりさんは18歳です。
- ⑥ A: ^{きむら}木村さんは^{こうこうせい}高校生ですか。
B: はい、^{こうこうせい}高校生です。
- ⑦ A: ^{こうこう}高校^{ねんせい}2年生ですか。
B: はい、そうです。
- ⑧ A: ^{きむら}木村さんですか。
B: いいえ、^{きむら}木村ではありません。
- ⑨ A: ^{きむら}木村さんですか。
B: いいえ、ちがいます。
- ⑩ A: ^{きむら}木村さんですか。
B: いいえ、^{たなか}田中です。

解 説

- A. 「Nです」は^{こうていけい}肯定形、「Nではありません」は^{ひていけい}否定形、「Nですか」は^{ぎもんけい}疑問形。(例文①②⑥)
- B. 「N1はN2です」で^{なまえ}N1の名前や^{がくねん}学年、^{こくせき}国籍、^{ねんれい}年齢について述べることができる。(例文③④⑤)
- C. 「N1はN2ですか」の^{しつもん}質問に対する^{たい}答えは、^{こと}一通りではない。(例文⑥⑦⑧⑨⑩)
- D. N1が^{なん}何であるかわかっている場合は、「N1は」を^{しょうりやく}省略することがある。(例文⑥⑦⑧⑨⑩)
- E. 「N1は」と「ではありません」の「は」は「ワ」と^{はつおん}発音する。

例 文

⑪ A: 木村きむらです。

B: 木村きむらさんですか。

A: はい、そうです。

⑫ A: 食堂しょくどうはどこにありますか。

B: あそこです。

⑬ A: けさ何なにを食たべましたか。

B: パンとくだものです。

⑭ A: 何時なんじまでアルバイトをしますか。

B: 午後4時ごごまでです。

解 説

F. 「Nですか」で相手の言ったことを一部繰り返して聞き、確認することができる。(例文⑪)

G. 質問に対する答えが「NをVます」「NにVます」「NへVます」「NでVます」などになり、Nが求められる答えのとき、「Nです」のように答えることができる。(例文⑫⑬⑭)

先生へ

「は」は助詞じょし。

N1は主題しゅだい、「N2です」はN1についての説明せつめい。

話しことばでは、「Nではありません」が「Nじゃありません」になることが多い。

「Nです」「Nではありません」は丁寧な表現ていねい ひょうげん。

【関連項目】

文-13 Nでした

文-06 Aいです / ANです

文-03 Vます

【「れんしゅう編」の練習】

1-4 1時ですか

1-5 すきなものクイズ

1-6 自己紹介

N1	は	N2	が	好き	です
					ではありません

N2: すき・きれいなもの

基 本

例 文

- ① わたしは音楽おんがくが好きです。
- ② わたしはスポーツが好きではありません。
- ③ A: 田中たなかさんはテニスたennisが好きですか。
B: はい、好きです。
- ④ A: 水泳すいえいが好きですか。
B: いいえ、好きではありません。
- ⑤ A: 何なにが好きですか。
B: りんごりんごが好きです。
- ⑥ A: どの科目か もくが好きですか。
B: 数学すうがくが好きです。

解 説

- A. N1が感じるかん好きすききれいきれいなについて述のべるときに使う。(例文①～⑥)
- B. N1、N2が何なんであるかわかっている場合ばあいは、「N1は」「N2が」を省略しょうりゃくすることがある。
(例文③④⑤⑥)

先生へ

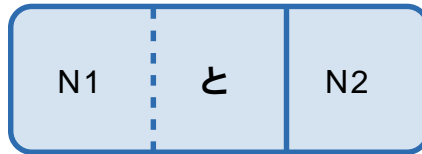
「好き」はナ形容詞。
話はなしことばの中なかでは、「好きではありません」が「好きじゃありません」になることが多い。
「何が好きですか」のほかに「好きなNは何ですか」という好きすききれいのたずね方かたもある。

【関連項目】

文-27 NがA / ANです
助-23 は
文-06 Aいです / ANです

【「れんしゅう編」の練習】

1-3 すきな数字
1-5 すきなもののクイズ
1-6 自己紹介



基 本

例 文

- ① まりさんとけんじさんはこうこう ねんせい高校2年生です。
- ② わたしはえい が おんがく映画と音楽がすきです。
- ③ 机の上につくえ うえ ほん本とノートがあります。
- ④ 月曜日と水曜日と金曜日にげつようび すいようび きんようび れんしゅうサッカーの練習があります。

解 説

A. 複数の名詞をつなぐ。(例文①②③④)

B. 「と」でつながれた名詞は、文の中で一つの名詞のように使える。(例文①②③④)

先生へ

「と」はじょし助詞。

文と文をつなぐときは、「そして」または「Vて形」などを使う。

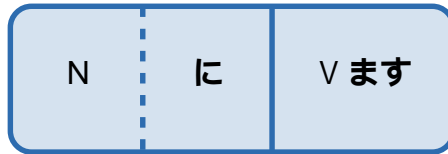
【関連項目】

- 助-13 や(並列)
助-14 と(相手)

【「れんしゅう編」の練習】

- 1-3 すきな数字
1-5 すきなもののクイズ
1-6 自己紹介

助 - 02 に(時)



N: 時刻、時
じこく とき

基 本

例 文

- ① わたしは7時半に起きます。
じはん お
- ② 11時に寝ます。
じ ね
- ③ A: 何時に起きますか。
なん じ お
B: 7時に起きます。
じ お
- ④ 日曜日にテニスをします。
にちよう び

解 説

- A. 「に」は、Nが動作が起きる時であることを示す。(例文①②③④)
どう さ お とき しめ
- B. 時を表すNには、時刻、曜日、日付などがある。(例文①②③④)
とき あらわ じこく よう び ひ づけ

発 展

例 文

- ⑤ 6月15日にサッカーの試合がありました。
がつ にち し あい
- ⑥ A: いつテニスをしますか。
B: あしたテニスをします。
- ⑦ A: 土曜日、何をしましたか。
どよう び なに
B: 映画を見ました。
えい が み
- ⑧ わたしは夏休みに旅行しました。
なつ やす りょこう
- ⑨ けんじさんの誕生日にパーティーをします。
たんじよう び

C. 「に」は、Nができごとが起きる時であることを示す。(例文⑤)

D. 「に」をつけて時を表すことばには、夏休み、誕生日などもある。(例文⑧⑨)

E. 「今」「きのう」「きょう」「あした」などと疑問詞「いつ」の後には、「に」をつけられない。

(例文⑥)

F. 曜日の後には、「に」をつけないこともある。(例文⑦)

先生へ

「に」は助詞。

【関連項目】

- 助-07 に(場所)
- 助-15 に(目的)
- 助-18 に(基準)
- 助-21 に(帰着点)
- 助-26 に(対象)

【「れんしゅう編」の練習】

- 1-7 何時に起きますか

助 - 03 も

N1	も	N2 です A いです AN です V ます
----	---	---------------------------------

基 本

例 文

- ① わたしは^{ねんせい}3年生です。田中^{た なか}さんも^{ねんせい}3年生です。
- ② わたしはパンがすきです。ごはんもすきです。

解 説

- A. 「も」は、N1のほかに^{どうよう}同様のものがあることを示す。(例文①②)
- B. 「Nは」「Nが」は、「Nも」に置き換わる。(例文①②)

発 展

例 文

- ③ ^{にちようび}日曜日にせんたくをします。そうじも
します。
- ④ ^{しんぶん}新聞は^{としょかん}ロビーにあります。図書館にも
あります。
- ⑤ ^{じ とけい}6時に時計のベルがなります。6時5分
にもベルがなります。
- ⑥ ^{なつやす}夏休みに^{ほっかいどう}北海道へ行きました。^{おきなわ}沖縄へも
行きました。
- ⑦ ^{まいしゅう}毎週^{たなか}田中さんとテニスをします。ときど
^{きむら}き木村さんともします。
- ⑧ ^{なかやま}中山さんから^{てがみ}手紙が^き来ました。^{たなか}田中さん
からも^き来ました。

C. 「Nを」は、「Nも」に置き換わる。(例文③)

D. 「も」は、「に」「へ」「で」「と」「から」「まで」の後に付けることができる。(例文④⑤⑥⑦⑧)

先生へ

「も」は助詞。

「も」の前提になる情報がその前に示されることもあれば、常識や文化で共有されていて示されないこともある。

例 コンピュータゲームは大人にも人気があります。

【関連項目】

助-23 は

【「れんしゅう編」の練習】

1-6 自己紹介

助 - 04 か(疑問)

N です	か
A いです	
AN です	
V ます	

基 本

例 文

① A: なかやま中山さんはだいがくせい大学生ですか。

B: はい、だいがくせい大学生です。

② A: くだものくだものが好きですか。

B: いいえ、好きではありません。

③ A: べんきょう勉強はおもしろいですか。

B: はい、おもしろいです。

④ A: なんじ何時にお起きますか。

B: じ8時にお起きます。

解 説

A. 文の終わりにつき、ぶん疑問文をつく。お (例文①②③④)

先生へ

「か」は助詞。

ぎもんぶん疑問文のイントネーションは上昇調になる。

【関連項目】

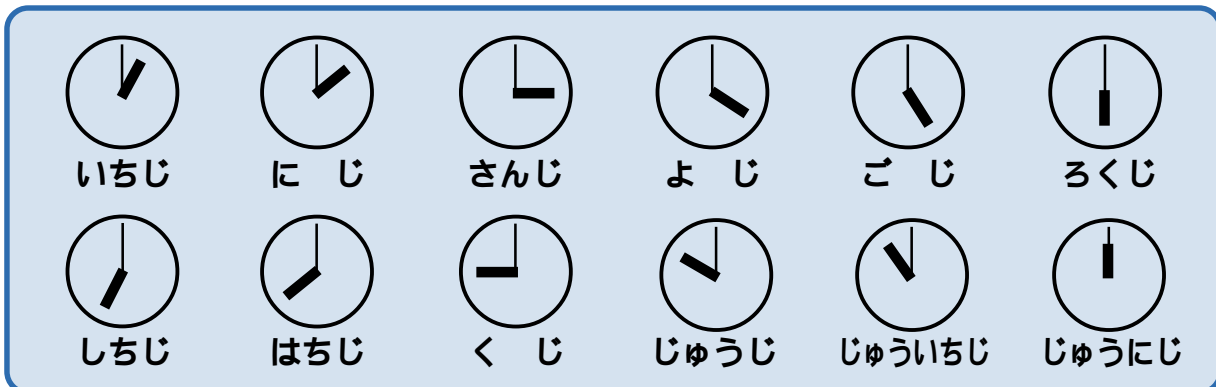
助-10 よ/ね

【「れんしゅう編」の練習】

1-4 1時ですか

1-5 すきなもののクイズ

1-7 何時に起きますか



基 本

例 文

- ① ^{いま}今、^じ5時です。
- ② A: ^{いま}今、^{なんじ}何時ですか。
B: ^じ4時 ^{さんじゅうぶん}30分です。
- ③ A: ^{なんじ}何時に^お起きますか。
B: ^じ7時に^お起きます。
- ④ A: ^{なんじ}何時に^ね寝ますか。
B: ^{じはん}10時半に^ね寝ます。

解 説

- A. 「^{すうじ}数字 + ^じ時」で時刻を表す。(例文①③)
- B. 「^い:30」の言い方は、「^{さんじ}さんじゅうぶん」と「^{じはん}じはん」がある。(例文②④)
- C. 時刻をたずねるときは、「^{なんじ}何時」を使う。(例文②③④)

解 説

D. 「^{ぶん}分」の^{い かた}言い方。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
いっぶん	にぶん	さんぶん	よんぶん	ごぶん	ろっぶん	ななぶん	はっぶん	きゅうぶん	じゅうぶん
11	12	20	30	40	50				
じゅういっぶん	じゅうにぶん	にじゅうぶん	さんじゅうぶん	よんじゅうぶん	ごじゅうぶん				

E. 時刻を言うときには、「^じ時」の^{あと}後に「^{ぶん}分」をつ^いけて言う。

例 ^じ10時^{ぶん}15分

^じ7時^{ぶん}31分

先生へ

「4:00」「7:00」「9:00」の^{い かた}言い方に^{ちゅうい}注意すること。

【関連項目】

- 語-05 数
- 語-07 時間

【「れんしゅう編」の練習】

- 1-2 数字
- 1-4 1時ですか
- 1-7 何時に起きますか

N	は	Vます Vません
---	---	-------------

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
ひかこ 非過去	Vます	Vません

基 本

例 文

- ① 毎朝、わたしは7時に起きます。
まいあさ わたし は しち じ お
- ② 毎日、学校へ行きます。
まいにち がっこう い
- ③ テレビはピアノのそばにあります。
テレビ は ピアノ の そば に あり ます。
- ④ A: 田中さんは教室にいますか。
たなか さん は きょうしつ に いま す か。
 B: いいえ、いません。

解 説

- A. 「Vます」は肯定形、「Vません」は否定形、「Vますか」は疑問形。(例文①④)
こうていけい ひていけい ぎもんけい
- B. 現在の習慣的な行為を表す。(例文①②)
げんざい しゅうかんでき こう い あらわ
- C. 現在の状態を表す。(例文③④)
げんざい じょうたい あらわ
- D. Nが何であるかわかっている場合は、「Nは」を省略することがある。(例文②)
なん ば あい しょうりゃく

例 文

⑤ わたしはあした^{とも}友だちのうちへ
いきません。

⑥ A: 来週^{らいしゅう}の月曜日^{げつようび}、プールへ^い行きますか。
B: いいえ、^い行きません。

⑦ A: 何を^{なに}食べ^たますか。

B: サンドイッチを^た食べ^たます。

解 説

E. 未来^{みらい}の予定^{よてい}、意向^{いこう}を表^{あらわ}す。(例文⑤⑥⑦)

先生へ

「Vます」は、丁寧^{ていねい}な表現^{ひょうげん}。

【関連項目】

- 文-11 Vました
- 文-01 Nです
- 文-06 Aいです / ANです

【「れんしゅう編」の練習】

- 2-2 ペンがありますか
- 2-4 わたしのとなり
- 2-7 どこにありますか
- 2-8 本は机の上にありますか
- 2-9 机の上にかばんがあります
- 2-10 わたしの学校
- 2-11 行く・来る・帰る

文-04

NはNにあります/います

N1	は	N2	に	あります
[もの]				

N2: 場所
ばしょ

N1	は	N2	に	います
[生きもの]				

基 本

例 文

① 1年生の教室は2階にあります。
ねんせい きょうしつ かい

② 先生は図書館にいます。
せんせい としょかん

③ わたしの犬は車の中にいます。
いぬ くるま なか

④ A: テープは机の上にありますか。
つくえ うえ

B: はい、あります。

⑤ A: 田中さんは教室にいますか。
たなか きょうしつ

B: いいえ、いません。

⑥ A: 辞書はどこにありますか。
じしょ

B: 机の上にあります。
つくえ うえ

⑦ A: まりさんの猫はどこにいますか。
ねこ

B: 箱の中にいます。
はこ なか



例文⑥

- A. 「あります」はもの（そんざい あらわ）の存在を表す。(例文①④⑥)
- B. 「います」は生きもの（そんざい あらわ）の存在を表す。(例文②③⑤⑦)
- C. もの（い）や生きもの（そんざいばしょ き）の存在場所を聞いたり説明（せつめい）したりするとき（つか）に使う。(例文④⑤⑥⑦)
- D. 存在する場所（そんざい ばしょ）について質問（しつもん）するときは「どこ」（つか）を使う。(例文⑥⑦)
- E. N1（なん）が何であるかわかっている場合は、「N1は」（ば あい）を省略（しょうりゃく）することがある。(例文④⑤⑥⑦)

<p>【関連項目】</p> <p>文-05 NにNがあります/います</p> <p>文-03 Vます</p> <p>助-07 に(場所)</p> <p>助-23 は</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>2-7 どこにありますか</p> <p>2-8 本は机の上にありますか</p> <p>2-10 わたしの学校</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

文 - 05

NにNがあります/います

N1 に N2 が あります

[もの]

N1 に N2 が います

[生きもの]

N1: 場所
ばしょ

基 本

例 文

① ドアのそばに電話があります。
でんわ

② 公園に大きい木があります。
こうえん おお き

③ となりのうちに犬がいます。
いぬ

④ あそこに田中さんがいます。
た なか

⑤ A: 小林さんの学校にプールがありますか。
こばやし がっこう

B: はい、あります。

⑥ A: 先生のうちに犬がいますか。
せんせい いぬ

B: いいえ、いません。

⑦ A: 屋上に何がありますか。
おくじょう なに

B: バスケットコートがあります。

⑧ A: 今、理科室にだれがいますか。
いま りかじつ

B: 山田先生と2年生の生徒がいます。
やまだ せんせい ねんせい せいと

⑨ (ものを借りたいとき)
か

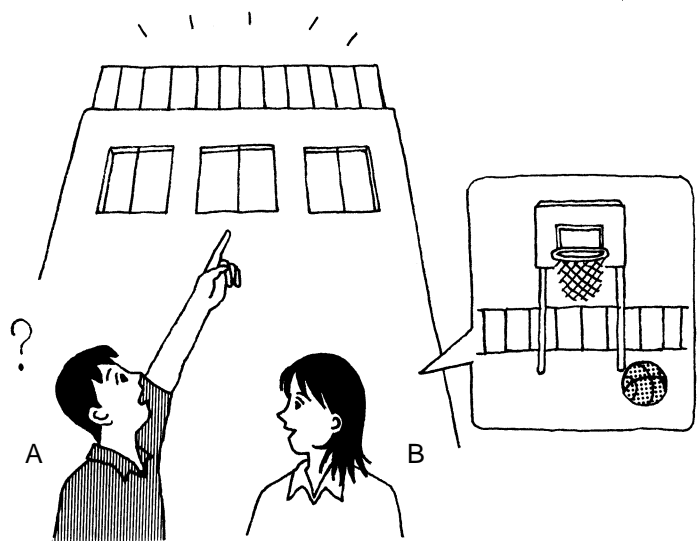
A: ペンがありますか。

B: はい、どうぞ。

⑩ (店で商品を見たいとき、買いたいとき)
みせ しょうひん み か

A: クラシックのCDがありますか。
シーディー

B: はい、あります。



例文 ⑦

解説

- A. 「あります」はものの存在を表す。(例文①②⑤⑦)
- B. 「います」は生きものの存在を表す。(例文③④⑥⑧)
- C. ある場所(N1)に何があるかたずねたり、説明したりするときに使う。(例文⑤⑥⑦⑧)
- D. 存在するものや動物について質問するときは、「何」を、人について質問するときは「だれ」を使う。(例文⑦⑧)
- E. 「Nがありますか」の形で、要望を表すことができる。(例文⑨⑩)
- F. N1がどこかわかっている場合は、「N1に」を省略することがある。(例文⑤⑥⑦⑧)

発 展

例 文

- ⑪ A: みなさん、質問がありますか。
B: ありません。
- ⑫ お金がありませんから、買い物できません。
- ⑬ 時間がありませんから、急いでください。
- ⑭ A: 先生、来週漢字の試験がありますか。
B: はい、あります。水曜日ですよ。
- ⑮ きのう、公園でロックコンサートがありました。
- ⑯ 東京で大きい地震がありました。

解説

- G. 「Nがあります」の形で、所有の意味を表す。(例文⑪⑫⑬)
- H. 「Nがあります」の形で、できごとや行事があることを表す。この場合、できごとや行事の場所を示すのに、「に」ではなく「で」が使われる。(例文⑭⑮⑯)

先生へ

要望を表わすときの「Nがありますか」は、「N、ありますか」と「が」を省略して言うことが多い。

【関連項目】

- 文-04 NはNにあります/います
文-03 Vます
助-07 に(場所)
助-22 が(主語)

【「れんしゅう編」の練習】

- 2-2 ペンがありますか
2-4 わたしのとなり
2-9 机の上にかばんがあります

N1

の

N2

基 本

例 文

- ① わたしのペンはこれです。
- ② 体育館たいいくかんのとなりにプールがあります。
- ③ はさみつくえは机うえの上にあります。
- ④ 田中たなかさんのとなりに木村きむらさんがいます。
- ⑤ あれは数学すうがくの教科書きょうかしょです。
- ⑥ A: 日本語にほんごの教室きょうしつはどこですか。
B: 2階かいです。
- ⑦ あしたのテストは9時半じはんからです。
- ⑧ A: これはだれのかばんですか。
B: わたしのです。
- ⑨ A: それはいつの新聞しんぶんですか。
B: きこのうのです。
- ⑩ 100円えんのを三つみつください。

解 説

- A. 名詞めいしと名詞めいしをつなぐ。(例文①～⑨)
- B. 「N1の」は、N2を修飾しゅうしやくする。(例文①～⑨)
- C. 「の」は、N1がN2の所有者しよゆうしゃであることを表す。(例文①⑧)
- D. 「N1のN2」で位置いちを表す。(例文②③④)
- E. 「の」は、N1がN2の種類しゅるいであることを表す。(例文⑤⑥⑦⑨)
- F. C、Eの場合、状況ばあいからN2が何なんであるかわかっているとき、N2は省略しょうりやくできる。(例文⑧⑨⑩)

例 文

- ① わたしは東京高校の木村です。
とうきょうこうこう きむら
- ② 日本には、春と夏と秋と冬の四つの季節
にほん はる なつ あき ふゆ よつ きせつ
 があります。
- ③ この人は友だちの田中さんです。
ひと とも たなか

解 説

- G. 「の」は、N1がN2の所属先であることを表す。(例文①)
しよぞくさき あらわ
- H. N1とN2が同格の関係であることを表す。(例文②③)
どうかく かんけい あらわ

先生へ

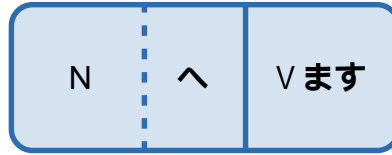
「の」は助詞。

【関連項目】

- 文-07 Aい / ANなN
 文-28 NがA / AN + N
 文-37 V + N

【「れんしゅう編」の練習】

- 2-4 わたしのとなり
 2-6 だれのですか
 2-7 どこにありますか
 2-8 本は机の上にありますか
 2-9 机の上にかばんがあります
 2-10 わたしの学校



N: いどうさき移動先の場所、ばしょ移動の方向

基 本

例 文

- ① わたしは じはん8時半に がっこう学校へ き来ます。
- ② たなか田中さんは じ5時に うちうちへ かえ帰ります。
- ③ A: こうえんあした公園へ い行きますか。
B: いいいえ、い行きません。
- ④ A: なんじあした何時に がっこう学校へ い行きますか。
B: じ8時に い行きます。

解 説

- A. 「へ」は、Nが いどうさき移動先、あるいは いどう移動の方向であることを示す。(例文①②③④)
- B. 「へ」は「エ」と はつおん発音する。

先生へ

「へ」は じょし助詞。

「へ」の代わりに「に」(きちやくてん帰着点) を使うことができる。

「へ」といっしょに使える日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

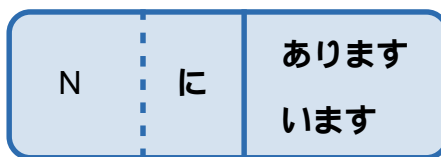
い行く、く来る、かえ帰る、で出かける、で出る、はい入る、ま曲がる

【関連項目】

助-21 に (帰着点)

【「れんしゅう編」の練習】

2-11 行く・来る・帰る



N: 場所を示すことば

基 本

例 文

- ① 音楽室は理科室のとなりにあります。 ③ A: 電話はどこにありますか。
 ② 先生は食堂にいます。 B: あそこにあります。
 ④ 山田さんのうちにピアノがあります。

解 説

- A. 「に」は、動詞「あります」「います」といっしょに使い、N2が存在場所であることを示す。
 (例文①②③④)
- B. 「N1にN2があります/います」で使われている「に」も「に(場所)」。(例文④)

先生へ

「に」は助詞。

N1ができごとである場合は、そのできごとが起こった場所を示すのに「で(場所)」が使われる。
 (p.19参照)

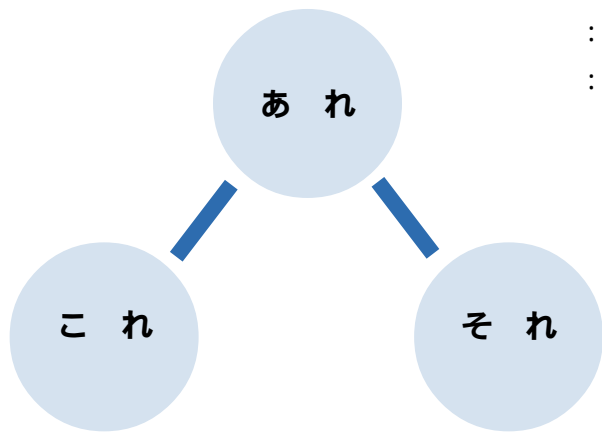
- 例1 わたしの高校でサッカーの試合があります。
 2 日本で大きい地震がありました。

【関連項目】

- 助-02 に(時)
 助-15 に(目的)
 助-18 に(基準)
 助-21 に(帰着点)
 助-26 に(対象)
 助-11 で(場所)

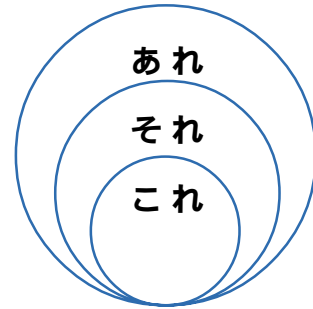
【「れんしゅう編」の練習】

- 2-4 わたしのとなり
 2-7 どこにありますか
 2-8 本は机の上にありますか
 2-9 机の上にかばんがあります
 2-10 わたしの学校
 4-5 どこで・どこに



[図1]

はな て
: 話し手
き て
: 聞き手



[図2]

基 本

例 文

① ^{にほんご きょうかしょ}これは日本語の教科書です。

② ^{にほんご じしょ}日本語の辞書はそれです。

③ ^{たいいくかん}あれは体育館です。

④ A: ^{にほんご なん}(日本語で何というかわからないとき)

それは何ですか。

B: はしです。

⑤ A: ^{せんせい ものし}(先生が持ち主のわからない辞書を生徒に
^み見せながら)

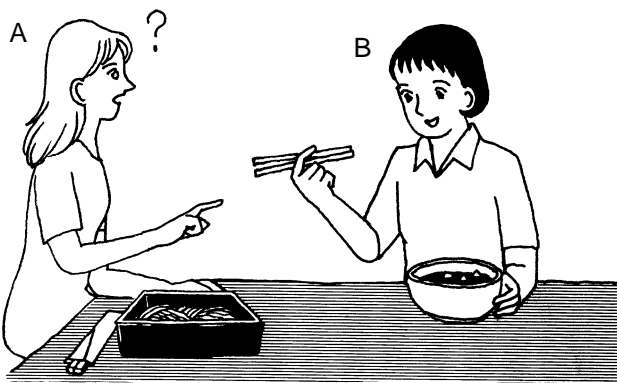
これはだれの辞書ですか。

B: ^{なかやま じしょ}それは中山さんの辞書です。

⑥ A: ^{て も}(かばんを手にとって)

^{きむら}木村さんのかばんはこれですか。

B: いいえ、あれです。



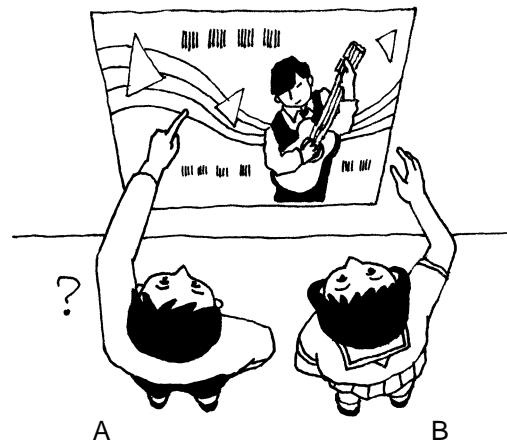
例文④

⑦ A: 田中さんの消しゴムはどれですか。

B: それです。

⑧ A: これは何のポスターですか。

B: これですか。これはコンサートのポスターです。



例文⑧

解説

A. 「これ/それ/あれ」は特定されたものを指す。(例文①～⑧)

B. どれかわからないものについて聞くときは、「どれ」を使う。(例文⑦)

C. 話し手と聞き手が相対する状況で、「これ/それ/あれ」は[図1]のような関係になる。

(例文④⑤⑥⑦)

D. 話し手と聞き手が同じ領域にいる状況で「これ/それ/あれ」は[図2]のような関係になる。

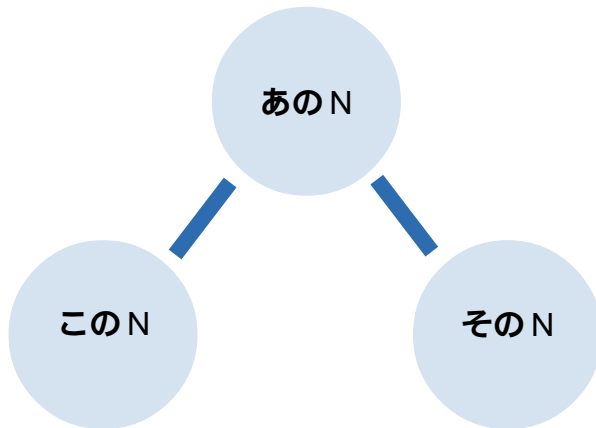
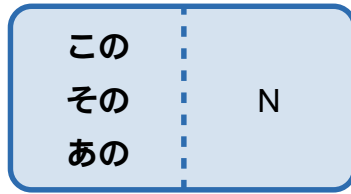
(例文⑧)

先生へ

「これ/それ/あれ」は指示詞。

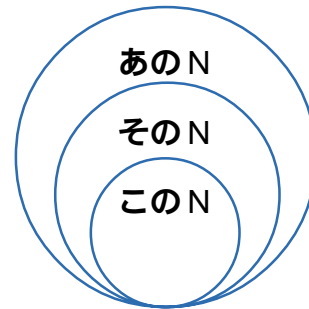
指示詞のまとめは、巻末「2. 指示詞」(p.259)を参照。

<p>【関連項目】</p> <p>語-03 この/その/あの</p> <p>語-04 ここ/そこ/あそこ</p> <p>語-09 こそあど</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>2-5 それは何ですか</p>
----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------



[図1]

はな 手
: 話し
き 手
: 聞き



[図2]

基 本

例 文

① この部屋は2年生の教室です。

② その本はわたしのです。

③ 山田先生はあの人です。

④ (教室で授業中に)

A: 先生、その漢字は「ご」ですか。

B: これですか。はい、そうです。

⑤ A: あのかばんはだれのですか。

B: どのかばんですか。

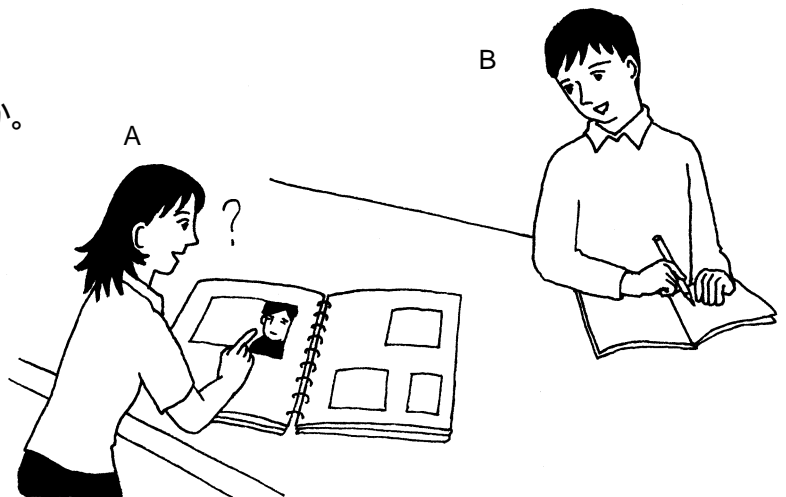
A: あのかばんは黒いのかばんです。

B: あれは田中さんのです。

⑥ (写真を見ながら)

A: この人はだれですか。

B: その人は中山さんです。

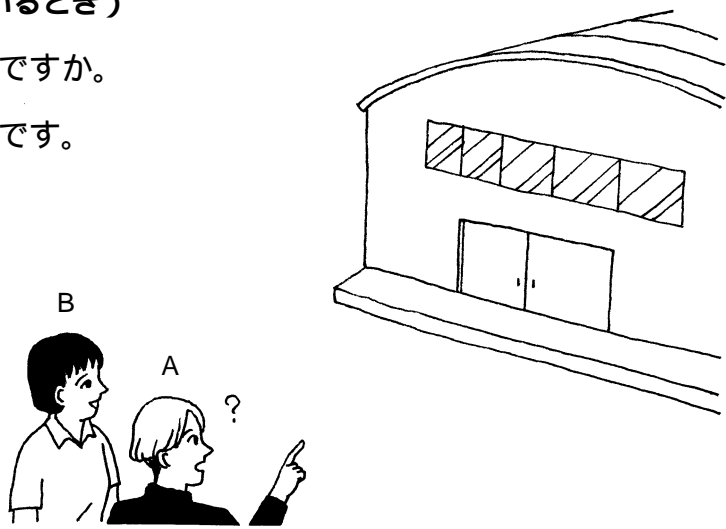


例文⑥

⑦(学校を案内しているとき)

A: あの建物は何ですか。

B: あれは体育館です。



例文 ⑦

解説

A. 「この / その / あの」は特定されたNがどれかを指し示す。(例文①～⑦)

B. 特定されたNがどれか聞くときは、「どのN」を使う。(例文⑤)

C. 話し手と聞き手が相対する状況で、「この / その / あの」は[図1]のような関係になる。

(例文④⑥)

D. 話し手と聞き手が同じ領域にいる状況で、「この / その / あの」は[図2]のような関係になる。(例文⑦)

先生へ

「この / その / あの」は指示詞。

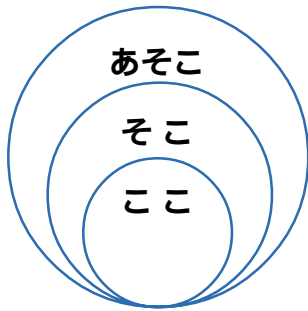
指示詞のまとめは、巻末「2. 指示詞」(p.259)を参照。

Nを修飾することばがある場合の語順に注意すること。

例1 あのきれいな女の人は山本さんです。

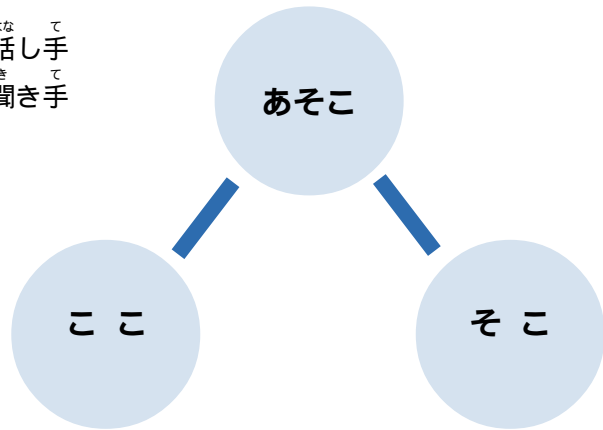
2 その大きいかばんはわたしのです。

【関連項目】	【「れんしゅう編」の練習】
語-02 これ / それ / あれ	2-6 だれのですか
語-04 ここ / そこ / あそこ	
語-09 こそあど	



[図1]

はな
て
: 話し手
き
: 聞き手



[図2]

基 本

例 文

① (学校を案内しながら)
ここは1年生の教室です。

② (学校を案内しながら)
そこは図書室です。

③ (学校を案内しながら)
あそこは事務室です。

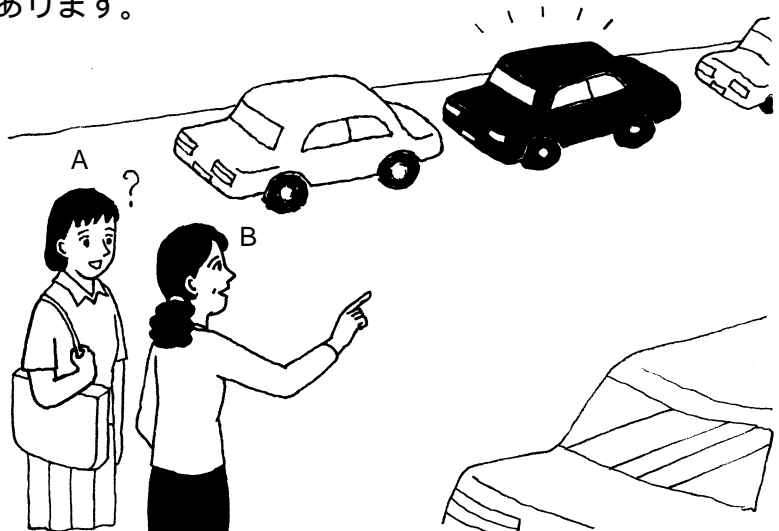
④ まりさんのかばんはそこにあります。

⑤ あそこに先生がいます。

⑥ A: すみません、トイレはどこですか。
B: あそこです。

A: ありがとうございます。

⑦ A: 先生の車はどこにありますか。
B: あそこです。



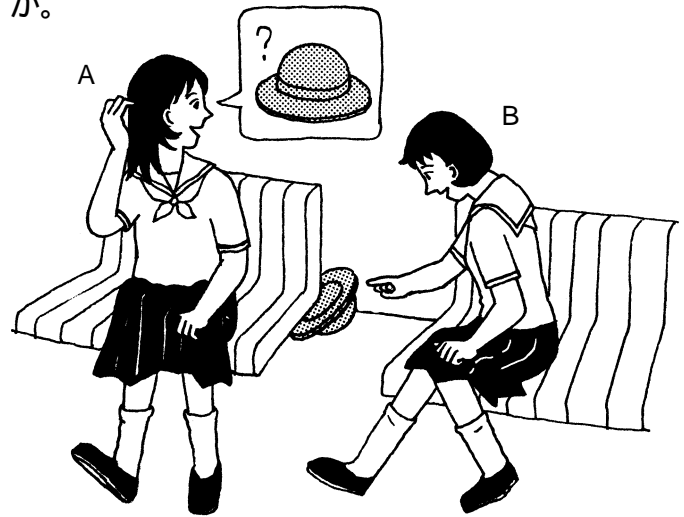
例文⑦

⑧ A: わたしのぼうしはどこにありますか。

B: そこにあります。

A: どこですか。

B: あなたのうしろです。



例文 ⑧

解説

- A. 「ここ/そこ/あそこ」は特定された場所を指す。(例文①～⑧)
- B. どこかわからない場所についてたずねるときは、「どこ」を使う。(例文⑥⑦⑧)
- C. 話し手と聞き手が同じ領域にいる状況で、「ここ/そこ/あそこ」の領域は[図1]のようになる。(例文①②③⑥⑦)
- D. 話し手と聞き手が相対する状況で、「ここ/そこ/あそこ」の領域は、[図2]のようになる。(例文⑧)

先生へ

「ここ/そこ/あそこ」は指示詞。
 指示詞のまとめは、巻末「2. 指示詞」(p.259)を参照。

<p>【関連項目】</p> <p>語-02 これ/それ/あれ</p> <p>語-03 この/その/あの</p> <p>語-09 こそあど</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>2-10 わたしの学校</p>
---------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

文-06

Aいです / ANです

N	は	Aい	です
		Aくない	

N	は	AN	です
			ではありません

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
A (イ形容詞) <small>けいようし</small>	Aいです	Aくないです
AN (ナ形容詞) <small>けいようし</small>	ANです	ANではありません

基 本

例 文

- ① A: そのアイスクリームはおいしいですか。
B: はい、おいしいです。
- ② A: 日本の料理は辛いですか。
B: いいえ、辛くないです。
- ③ A: × スーパーは大きいですか。
B: はい、大きいです。
- ④ A: その傘は丈夫ですか。
B: いいえ、丈夫ではありません。
- ⑤ A: あなたの部屋はきれいですか。
B: いいえ、きれいではありません。
- ⑥ A: 日本の料理はどうですか。
B: おいしいです。

解 説

- A. Nの性質や特徴(色、形、大きさなど)状態について述べることができる。(例文③④⑤)
- B. Nについての話し手の意見や感想を述べることができる。(例文①②⑥)
- C. 何かに対する意見や感想を求めるときには、「Nはどうですか」の形で質問する。(例文⑥)
- D. Nが何であるかわかっている場合は、「Nは」を省略することがある。(例文①～⑥)
- E. イ形容詞「いい」は、活用が例外である。

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
いい	いいです	よくないです

先生へ

日本語の形容詞は2種類に分けられる。名詞を修飾するとき「い」で終わるものがイ形容詞(A)、「な」で終わるものがナ形容詞(AN)である。

否定の言い方には、「Aくありません」「ANではありません」もある。

話しことばでは、「ANではありません」が「ANじゃありません」になることが多い。

日本語能力試験4級相当のナ形容詞「きれい」「ゆうめい」「きれい」は、イ形容詞と混同しないように注意すること。

ものの形や色などの形状を質問するときには、「どんなNですか」を使い、「Nはどうですか」を使うことはない。「A:かばんはどうですか。B:赤いです。」のような練習をしないように注意すること。

【関連項目】

- 文-12 A かったです / AN でした
- 文-07 A い / AN な N
- 文-01 N です
- 文-03 V ます

【「れんしゅう編」の練習】

- 3-5 形容詞のビンゴ
- 3-7 新しいですか
- 3-8 どんな店ですか

Aい

ANな

N

基 本

例 文

① ^{みせ あたら}あの店に新しいコンピュータが
あります。

② ^{しんせつ てんいん}あのデパートに親切な店員さんが
います。

③ ^{あま か し か}甘いお菓子を買います。

④ ^{えい が み}おもしろい映画を見ます。

⑤ A: ^{じょうぶ}どんなかばんですか。

B: 丈夫なかばんです。

⑥ A: × ^{た もの}はどんな食べ物ですか。

B: ^{あま か し}甘いお菓子です。

⑦ A: ^{えい が}どんな映画ですか。

B: ^{にほん ふる えい が}日本の古い映画です。

⑧ A: ^{シーディー か}どんなCDを買いますか。

B: ^{しず おんがく シーディー か}静かな音楽のCDを買います。

⑨ A: ^{くつ か}どの靴を買いますか。

B: ^{くろ か}黒いのを買います。

⑩ A: ^{おんがく}どんな音楽が好きですか。

B: ^{しず}静かなのが好きです。

解 説

A. 「Aい / ANな」は、Nを修飾する。(例文①～⑧)

B. 「Aい / ANな」は、Nの性質や特徴(色、形、大きさなど)などを示すことで、Nを限定する。(例文①～⑧)

C. Nの性質や特徴などを質問するときは、「どんなN」でたずねる。(例文⑤⑥⑦⑧⑩)

D. 「Aい / ANな」が修飾するNが何であるかわかっている場合は、Nの代わりに「の」を使うことができる。(例文⑨⑩)

先生へ

日本語の形容詞は2種類に分けられる。名詞を修飾するとき「い」で終わるものがイ形容詞(A)、「な」で終わるものがナ形容詞(AN)である。

二つ以上のことが名詞を修飾する場合は、その修飾関係に注意すること。

例えば、例文⑦の「日本の古い映画」は、「古い」が「映画」を、「日本の」が「古い映画」を修飾している。例文⑧の「静かな音楽のCD」は、「静かな」が「音楽」を、「静かな音楽」が「CD」を修飾している。

【関連項目】

文-06 Aいです / ANです
助-05 の
文-28 NがA / AN + N
文-37 V + N

【「れんしゅう編」の練習】

3-5 形容詞のビンゴ
3-6 どんなかばんですか
3-9 今、何がほしいですか

Aい

ANな

N

基 本

例 文

- ① ^{みせ あたら}あの店に新しいコンピュータが
あります。
- ② ^{しんせつ てんいん}あのデパートに親切な店員さんが
います。
- ③ ^{あま か し か}甘いお菓子を買います。
- ④ ^{えい が み}おもしろい映画を見ます。
- ⑤ A: ^{た もの}どんなかばんですか。
B: ^{じょうぶ}丈夫なかばんです。
- ⑥ A: × ^{た もの}はどんな食べ物ですか。
B: ^{あま か し}甘いお菓子です。
- ⑦ A: ^{えい が}どんな映画ですか。
B: ^{にほん ふる えい が}日本の古い映画です。
- ⑧ A: ^{シーディー か}どんなCDを買いますか。
B: ^{しず おんがく シーディー か}静かな音楽のCDを買います。
- ⑨ A: ^{くつ か}どの靴を買いますか。
B: ^{くろ か}黒いのを買います。
- ⑩ A: ^{おんがく}どんな音楽が好きですか。
B: ^{しず}静かなのが好きです。

解 説

- A. 「Aい / ANな」は、Nを修飾する。(例文①～⑧)
- B. 「Aい / ANな」は、Nの性質や特徴(色、形、大きさなど)などを示すことで、Nを限定する。(例文①～⑧)
- C. Nの性質や特徴などを質問するときは、「どんなN」でたずねる。(例文⑤⑥⑦⑧⑩)
- D. 「Aい / ANな」が修飾するNが何であるかわかっている場合は、Nの代わりに「の」を使うことができる。(例文⑨⑩)

先生へ

日本語の形容詞は2種類に分けられる。名詞を修飾するとき「い」で終わるものがイ形容詞(A)、「な」で終わるものがナ形容詞(AN)である。

二つ以上のことが名詞を修飾する場合は、その修飾関係に注意すること。

例えば、例文⑦の「日本の古い映画」は、「古い」が「映画」を、「日本の」が「古い映画」を修飾している。例文⑧の「静かな音楽のCD」は、「静かな」が「音楽」を、「静かな音楽」が「CD」を修飾している。

【関連項目】

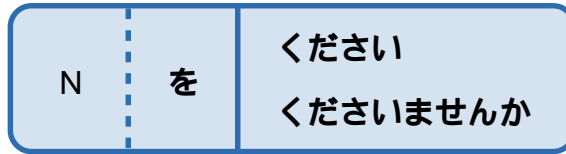
文-06 Aいです / ANです
助-05 の
文-28 NがA / AN + N
文-37 V + N

【「れんしゅう編」の練習】

3-5 形容詞のビンゴ
3-6 どんなかばんですか
3-9 今、何がほしいですか

文-08

Nをください



N: はな て もと たいしょう 話し手が求めている対象

基 本

例 文

① A: これをください。

B: はい。

② A: すみません、赤いばらを8本
ください。

B: はい。1200円です。

③ A: ハンバーガーとサラダをください。

B: はい。

④ A: すみません、コーラを二つください。

B: コーラを二つですね。

⑤ A: (友だちのうちで食事のとき)

すみません、水をくださいませんか。

B: はい。

⑥ A: (観光案内所で)

あのう、この町の地図をください
ませんか。

B: はい、どうぞ。

解 説

A. 「Nをください」は、店みせで商品しょうひんを求めるときもとに使う。(例文①②)

B. 「Nをください」は、レストランなどで注文ちゅうもんするときつかに使う。(例文③④)

C. 「Nをくださいませんか」は、話し手はなにとって利益りえきになるものきを聞き手きに丁寧ていねいに求めるときもとに
使う。(例文⑤⑥)

例 文

- ⑦ 先生、宿題のプリントをください。
- ⑧ 先生、会話のテープをください。

解 説

D. 「Nをください」は、自分が当然もらうべきものを受け取りたいときに使う。(例文⑦⑧)

先生へ

買い物やレストランなどでの注文のとき、「を」を省略して「N、ください」と言うこともある。

「を」は、「を(対象)」(p.38参照)

「Nをください」は、ものを求めることが当然である人間関係、場面で使われるので、練習のときの場面設定に注意すること。

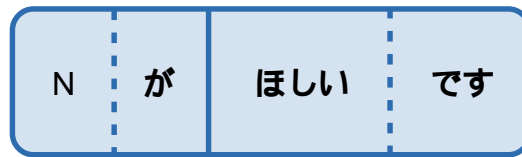
教室での学習者と教師の会話では、「Nをください」だけを使った方が混乱しない。

【関連項目】

文 -16 Vてください
 助 -08 を(対象)

【「れんしゅう編」の練習】

3-2 何本・いくつ
 3-4 ハンバーガーの店



N: はな て話し手が「ほしい」と おも たいしょう思っている対象

基 本

例 文

- ① わたしは いま今コンピュータがほしいです。 ③ (みカタログを見ながら)
- ② A: たんじょうび なに誕生日に何がほしいですか。 A: どれがほしいですか。
- B: あた ら じてんしゃそうですね、新しい自転車がほしい B: これとそれがほしいです。
- ④ A: くるま車がほしいですか。 B: いいえ、ほしくないです。

解 説

- A. 「ほしい」は、けいようし かつようイ形容詞。活用はそのほかのイ形容詞と同じ。
- B. なに何かものが おも はな て がんぼう あらわほしいと思う話し手の願望を表す。(例文①②③④)
- C. 「Nがほしいですか」「何がほしいですか」「どれがほしいですか」で、き て がんぼう聞き手の願望をたずねる。(例文②③④)
- D. Nが なん何であるかわかっている場合は、「Nが」を しょうりやく省略することがある。(例文④)

先生へ

聞き手や第三者の願望を表現することはできない。

「Nがほしいですか」と目上の人に向かって聞くと失礼になる。

「Nがほしいんですが」の形で、必要なものを相手に伝え、提供を求めることができる。この場合、求められるのは特別ではないもの、求める相手は当然提供可能と予想される人。

例1 A: すみません、白い紙がほしいんですが。

B: はい。

2 A: あのう、赤いボールペンがほしいんですが。

B: はい。

願望の対象がものときは「Nがほしいです」を使うが、願望の対象が行為のときは、「Vたいです」を使う。

【関連項目】

文-06 Aいです / ANです

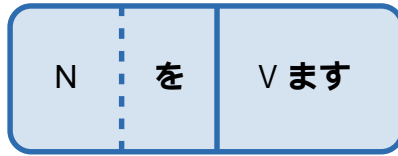
文-34 Vたいです

【「れんしゅう編」の練習】

3-9 今、何がほしいですか

助-08

を(対象)



N: Vの動作の対象

基 本

例 文

① わたしはハンバーガー^たを食べます。

② 田中^{たなか}さんはコーラ^のを飲みます。

③ CD^{シーディー}を買^かいます。

④ 切手^{きって}を3枚^{まい}買^かいます。

⑤ A: 何^{なに}を^た食べますか。

B: サンドイッチ^たを食べます。

⑥ A: あした映画^{えいが}を見^みますか。

B: いいえ、見^みません。

解 説

A. 「を」は、「買^かいます」「飲^のみます」「食^たべます」「見^みます」などの動作^{どうさ}を表す動詞^{あらわ}と^{どうし}に^{しめ}使い、Nが動作^{どうさ}の対象^{たいしょう}であることを示す。(例文①～⑥)

B. 「を」は「オ」^{はつおん}と発音する。

先生へ

「を」は助詞。

「Nする」(する動詞)の場合は、「を」を伴う名詞が同じ文の中にないとき、「Nをする」とすることもできる。日本語能力試験4級相当の「する動詞」は以下の通り。

散歩する、勉強する、洗濯する、掃除する、練習する、結婚する、旅行する

ただ つか かた 正しい使い方 ()	まちが つか かた 間違った使い方 (×)
せんたく シャツを洗濯する シャツの洗濯をする	せんたく シャツを洗濯をする
にほんご べんきょう 日本語を勉強する 日本語の勉強をする	にほんご べんきょう 日本語を勉強をする
こうえん さんぽ 公園を散歩する 公園で散歩をする	こうえん さんぽ 公園を散歩をする

「Nをください」の「を」は「を(対象)」(p.34 参照)。

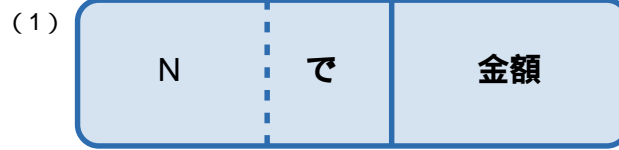
例 このケーキを三つください。

【関連項目】

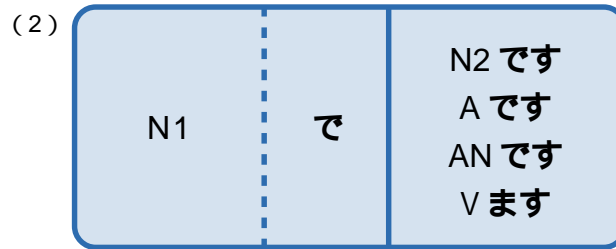
- 助-19 を(起点)
- 助-20 を(経路)

【「れんしゅう編」の練習】

- 3-2 何本・いくつ
- 3-3 ハンバーガーを食べます
- 3-4 ハンバーガーの店



かず りょう あらわ
N : 数や量を表すことば



はんい あらわ
N1 : 範囲を表すことば

基 本

例 文

①(買い物の場面で)

A: チョコレートケーキを三つとチーズ
ケーキを五つお願いします。
B: はい。全部で2800円です。

②(買い物の場面で)

A: いくらですか。
B: 三つで500円です。

解 説

A. 構造図(1)の「で」は、Nがある金額を出すための基準となる数や量であることを示す。

(例文①②)

例 文

- ③ ^{さんにん}三人で^いプールへ行きました。
- ④ ^{しけん}試験は^おあしたで終わります。
- ⑤ ^{ふじさん}富士山は^{にほん}日本で^{たか}いちばん高いです。

解 説

B. 構造図(2)の「で」は、N1が^{げんていてき}限定的な^{じょうきょう}状況、^{はんい}範囲であることを示す。(例文③④⑤)

先生へ

「^{じょし}で」は助詞。
 「^{ひと}一つ^{えん}100円です」のように、^{きじゆん}基準となる^{すうじ}数字が「1」の場合は「^{ばあい}で」^{つか}を使わない。

<p>【関連項目】</p> <p>助-11 で(場所)</p> <p>助-17 で(手段/材料)</p> <p>助-27 で(原因/理由)</p> <p>語-06 助数詞</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>3-4 ハンバーガーの店</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------

Nです	よ
Aです	
ANです	ね
Vます	

基 本

例 文

① A: × レストランの料理はおいしい
ですか。

B: はい、おいしいですよ。

② A: 新しいコンピュータを使いましたか。

B: いいえ。

A: 便利ですよ。

③ A: もうすぐ、バスが出ますよ。早く乗り
ましょう。

B: はい。

④ (レストランで)

A: サンドイッチとジュースを
ねが
お願いします。

B: サンドイッチとジュースですね。

⑤ A: これは田中さんのさいふですね。

B: いいえ、ちが
ちが
違いますよ。

⑥ A: これは日本の新聞ですね。

B: いいえ、ちゅうごく
ちゅうごく
中国の新聞ですよ。

解 説

A. 文の終わりにつく。(例文①～⑥)

B. 「よ」は、聞き手が知らない情報を提供するときにつか
き て し じょうほう ていきょう つか
に使う。(例文①②③⑤⑥)

C. 「ね」は、話し手の情報や認識が聞き手のとおなじかどうか確認するときにつか
はな て じょうほう にんしき き て おな かくにん つか
に使う。

(例文④⑤⑥)

例 文

⑦ A: あの店のドーナツはおいしいですね。

B: そうですね。

⑧ A: おもしろい映画でしたね。

B: ほんとうにおもしろい映画でしたね。

解 説

D. 「ね」は、話し手が聞き手に同意したり、聞き手の同意を求めたりするときに使う。(例文⑦⑧)

先生へ

「よ」「ね」は助詞。

【関連項目】

助-04 か(疑問)

【「れんしゅう編」の練習】

- 3-3 ハンバーガーを食べます
- 3-4 ハンバーガーの店
- 3-8 どんな店ですか
- 5-4 おいしかったですよ

0 れい/ゼロ	
1 いち	11 じゅういち
2 に	12 じゅうに
3 さん	13 じゅうさん
4 よん/し	14 じゅうよん/じゅうし
5 ご	15 じゅうご
6 ろく	16 じゅうろく
7 なな/しち	17 じゅうなな/じゅうしち
8 はち	18 じゅうはち
9 きゅう/く	19 じゅうきゅう/じゅうく
10 じゅう	20 にじゅう

10 じゅう	100 ひゃく	1000 せん
20 にじゅう	200 にひゃく	2000 にせん
30 さんじゅう	300 さんびゃく	3000 さんぜん
40 よんじゅう	400 よんひゃく	4000 よんせん
50 ごじゅう	500 ごひゃく	5000 ごせん
60 ろくじゅう	600 ろっぴゃく	6000 ろくせん
70 ななじゅう	700 ななひゃく	7000 ななせん
80 はちじゅう	800 はっぴゃく	8000 はっせん
90 きゅうじゅう	900 きゅうひゃく	9000 きゅうせん
100 ひゃく	1000 せん	10000 いちまん

先生へ

10,000 以上の単位は、次のようになる。

100,000 じゅうまん

1,000,000 ひゃくまん

10,000,000 せんまん

100,000,000 おく

「10,000」「10,000,000」「100,000,000」はそれぞれ「いちまん」「いっせんまん」「いちおく」と言う。

また、「1,000」は「いっせん」とも言う。

「4」「7」「9」には二通りの読み方があるが、数えるものによってどちらか一方が選ばれることが多い。「語-01 時刻」(p.12)「語-06 助数詞」(p.46)および巻末「5. 助数詞」(p.268)を参照のこと。

数によって音が変化するもの(表の青字のところ)があるので、注意すること。

「10」「100」は「いちじゅう」「いちひゃく」とは言わないので、練習のとき注意すること。

<p>【関連項目】</p> <p>語-01 時刻</p> <p>語-06 助数詞</p> <p>語-07 時間</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>3-1 いくらですか</p> <p>3-2 何本・いくつ</p> <p>3-3 ハンバーガーを食べます</p> <p>3-4 ハンバーガーの店</p>
--------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

数 + 助数詞


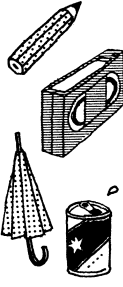

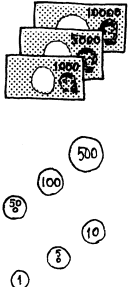
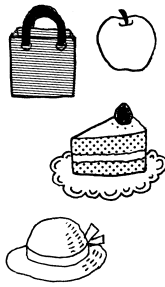
基 本

例 文

- ① あそこかさ ほんに傘が5本あります。
- ② ケーキいつ かを五つ買います。
- ③ (注文するとき)
ハンバーガーみつを三つください。
- ④ (注文するとき)
スパゲッティふた ねがを二つお願いします。
- ⑤ 切手きって まいを10枚とはがきまい かを3枚買います。
- ⑥ 先生の机せんせい つくえ うえの上に辞書じしょ さつが2冊と雑誌ざっし さつが1冊あります。
- ⑦ 駅えき まえの前に銀行ぎんこう ふたが二つあります。
銀行ぎんこうと××銀行ぎんこうです。
- ⑧ A:そこなんまいにハンカチが何枚ありますか。
B:まい3枚あります。
- ⑨ A:このボールペンえんはいくらですか。
B:100円です。
- ⑩ A:コーラなんぼん かを何本買いましたか。
B:ほん か6本買いました。
- ⑪ A:ボールほんがいくつありますか。
B:15あります。

解 説

- A. 「数 + 助数詞」で、数量を表す。
- B. 助数詞は数えるものの形や性質によって決まる。

~枚(まい)	~本(ほん、ぼん、ぼん)	~冊(さつ)	~円(えん)	~つ
				

C. 数えるものとその数は以下の語順で示される。(例文①～⑩)

N [数えるもの]	を / が	数 + 助数詞
--------------	-------	---------

N1 [数えるもの]	を / が	数 + 助数詞	と	N2 [数えるもの]	を / が	数 + 助数詞
---------------	-------	---------	---	---------------	-------	---------

D. 「～つ」の数え方は、ほかの助数詞と違う。11以上は、「じゅういち、じゅうに、じゅうさん、」のように数える。(例文③④⑪)

先生へ

数量をたずねるとき、「何枚」「何本」などの疑問詞の代わりに「どのくらい/どのくらい」を使うことができる。

助数詞の後には助詞をつけないように指導すること。

数えるものとその数を言う場合の語順に注意すること。例えば、「みつつみかん」「3みかん」にならないようにする。

数と助数詞によって音が変わるものがあるので、注意すること。巻末「5. 助数詞」(p.268)を参照。

必要な助数詞だけ選んで教えた方がよい。

【関連項目】

語-05 数
語-07 時間

【「れんしゅう編」の練習】

3-2 何本・いくつ
3-3 ハンバーガーを食べます
3-4 ハンバーガーの店

文-10

あまり...否定

あまり

Vません

A くないです

AN ではありません

基 本

例 文

① わたしはあまり図書館^{としょかん}へ行き^いません。

③ わたしの部屋^{へや}はあまり広^{ひろ}くありません。

② A: 毎朝^{まいあさ}テレビのニュース^みを見^みますか。

④ わたしはケーキがあまりすきでは

B: いいえ、あまり見^みません。

ありません。

解 説

A. 「あまりVません」で、頻度^{ひんど たか}が高くないことを示す。(例文①②)

B. 「あまりA くないです」「あまりAN ではありません」で、程度^{ていと たか}が高くないことを示す。

(例文③④)

例 文

- ⑤ A:きのう、^{つか}疲れ^{ましたか}。
 B:いいえ、あまり^{つか}疲れ^{ません}でした。
- ⑥ A:^{でんしゃ}電車^は混^{んで}いま^{したか}。
 B:いいえ、あまり^こ混^{んで}いま^{せん}でした。
- ⑦ A:^{じゅぎょう}授業^はよくわ^{かり}いま^{したか}。
 B:いいえ、あまり^わわ^{かり}いま^{せん}でした。
- ⑧ わたしの^す住^{んで}いま^る町^{には}高^い建^物が
 あまり^ああ^りいま^{せん}。

解 説

C. 「あまりVません」で、^{ていど たか}程度^が高^くない^{こと}を^{しめ}示^す。(例文⑤⑥⑦⑧)

先生へ

^{はな}話し^ここ^ばでは「あんまり」になることもある。
 「Aくないです」の^{けいようし}形容^詞の^{かたち}形^に注^{ちゅうい}意^すること。

【関連項目】

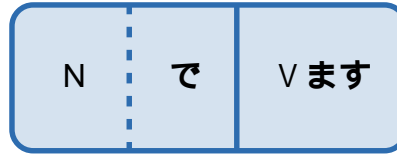
- 文-43 しか...否定
 文-23 疑問詞 + も...否定

【「れんしゅう編」の練習】

- 4-4 いつも・ときどき・あまり
 4-9 クロスワードパズル

助 - 11

で(場所)



N : Vの動作が行われる場所

基 本

例 文

① わたしはレストランで昼ごはんを
食べます。

② A: どこで靴を買いますか。

B: デパートで買います。

③ A: いつもどこでテニスをしますか。

B: 学校のテニスコートでします。

④ 9時から3時まで学校で授業があります。

⑤ 大阪で地震がありました。

解 説

A. 「で」は、「食べます」「飲みます」「買います」などの動作を表す動詞といっしょに使い、Nが動作が行われる場所であることを示す。(例文①②③)

B. 「で」は、「あります」などの動詞といっしょに使い、Nができごとが起こる場所であることを示す。(例文④⑤)

例 文

- ⑥ ^{し あい か}きのうの試合で勝ちました。
- ⑦ ^{かんじ しけん てん と}漢字の試験で100点を取りました。

解 説

C. 「で」は、^{どう さ おこな}動作が行われるときを^{しめ}示す。(例文⑥⑦)

先生へ

「で」は^{じょし}助詞。

【関連項目】

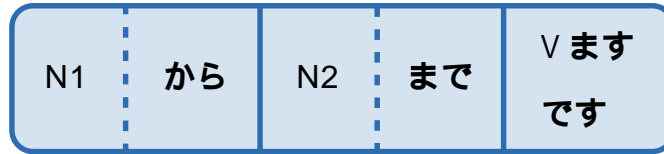
- 文-06 Aいです / ANです
 助-05 の
 文-37 V + N
 文-28 NがA / AN + N

【「れんしゅう編」の練習】

- 4-5 どこで・どこに
 4-6 田中さんの一日
 4-7 いとうさんの一週間
 4-9 クロスワードパズル
 7-5 どこで・どこを・どこから

助-12

から / まで



N1: 始まりの時または位置
 N2: 終わりの時または位置

基 本

例 文

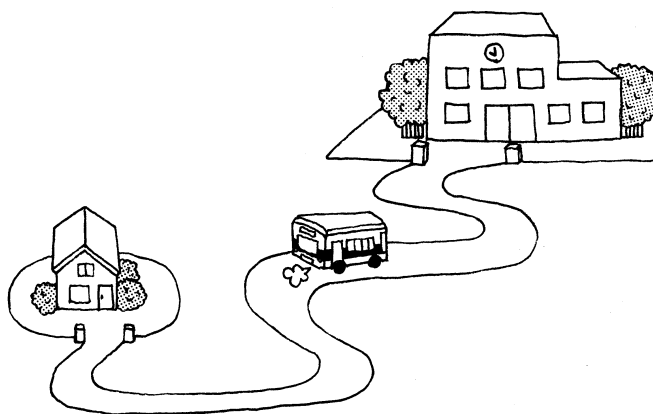
- ① 月曜日げつようびから金曜日きんようびまで学校がっこうへ行いきます。
- ② 6時半じはんから8時半じはんまでアルバイトをし
ます。
- ③ A: 野球やきゅうの試合しあいは何時なんじからですか。
 B: 10時じからです。
- ④ A: テストはいついつからいついつまでですか。
 B: 10日とおかから15日にちまでです。
- ⑤ A: 日本語にほんごの授業じゅぎょうは何時なんじから何時なんじまで
ですか。
 B: 10時半じはんから11時半じはんまでです。

解 説

- A. 「から」は、N1が時ときを表あらわすことばの場合ばあい、N1が始まりの時はじめの時ときであることを示しめす。(例文①②③④⑤)
- B. 「まで」は、N2が時ときを表あらわすことばの場合ばあい、N2が終わりの時おの時ときであることを示しめす。(例文①②④⑤)
- C. 「Nから」または「Nまで」のどちらか一方いっぽうだけを使うつかこともできる。(例文③)

例 文

- ⑥ うちから学校までバスで行きます。
 ⑦ A: ここから東京駅までいくらですか。
 B: 210 円です。
 ⑧ きょうは5 ページから 10 ページまで勉強しました。



例文 ⑥

解 説

D. 「から」は、N1が位置を表すことばの場合、N1が区間、範囲の始まりであることを示す。

(例文 ⑥⑦⑧)

E. 「まで」は、N2が位置を表すことばの場合、N2が区間、範囲の終わりであることを示す。

(例文 ⑥⑦⑧)

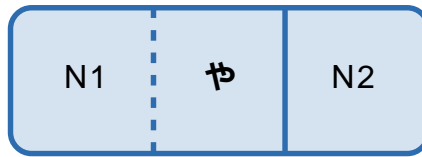
先生へ

「から」「まで」は助詞。

<p>【関連項目】</p> <p>助-25 から (理由)</p> <p>助-28 までに</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>4-7 いとうさんの一週間</p> <p>7-5 どこで・どこを・どこから</p> <p>7-6 うちから学校まで</p> <p>7-8 どのコースがいいですか</p>
----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

助-13

や(並列)



基 本

例 文

- ① わたしは日曜日に漫画や雑誌を読みます。
- ② パンや卵などを食べます。
- ③ わたしの部屋に机やベッドやテレビなどがあります。
- ④ デパートやスーパーで買い物をします。
- ⑤ 郵便局の前や駅のそばにポストがあります。

解 説

- A. 複数の名詞をつなぐ。(例文①②③④⑤)
- B. 「や」は、N1、N2のように、該当する項目のいくつかを例として示すときに使う。ほかにも該当する項目があることを暗示する。(例文①②③④⑤)
- C. 「や」でつながれた名詞は、文の中で一つの名詞のように使える。(例文①②③④⑤)
- D. 「N1 や N2 など」の形で使うこともできる。(例文②③)

先生へ

「や」は助詞。
 「と」との違いは、該当する項目をすべて示すか示さないかである。
 「など」は人には使わないので、練習のとき注意すること。人のときは「たち」を使う。

【関連項目】

助-01 と(並列)

【「れんしゅう編」の練習】

4-6 田中さんの一日

	時 間	分
1	いちじかん	いっぶん
2	にじかん	にぶん
3	さんじかん	さんぶん
4	よじかん	よんぶん
5	ごじかん	ごぶん
6	ろくじかん	ろっぶん
7	ななじかん / しちじかん	ななぶん
8	はちじかん	はっぶん
9	くじかん	きゅうぶん
10	じゅうじかん	じゅうぶん
?	なんじかん どのくらい	なんぶん どのくらい

基 本

例 文

① 毎日2時間ピアノを練習します。

② A: 毎日何時間寝ますか。

B: わたしは8時間ぐらい寝ます。

③ 毎日7時ごろ晩ごはんを食べます。そして、1時間半ぐらいテレビを見ます。

④ うちから学校まで20分かかります。

⑤ A: 10分休みましょう。

B: はい。

⑥ A: 毎日どのくらい勉強しますか。

B: 1時間ぐらいです。

⑦ A: どのくらいかかりますか。

B: 5分ぐらいです。

解説

A. 「時間」「分」は、時間の長さを表す。(例文①～⑦)

B. 時間の長さをたずねるとき、「何時間」「何分」の代わりに「どのくらい/どのくらい」を使うこともできる。(例文⑥⑦)

C. 「時間 30 分」は「時間半」と言うことが多い。(例文③)

先生へ

「時間」「分」は助数詞。

「分」は、「分間」ということがある。

例 10 分間休めます。(= 10 分休みます)

「分間」は、「時間」といっしょに使えない。

例 1 時間 15 分練習します。

数によって音が変化するもの(表の青字のところ)があるので、注意すること。

【関連項目】

語-05 数
語-01 時刻
語-08 くらい/ごろ

【「れんしゅう編」の練習】

4-3 7時間くらいねます
4-6 田中さんの一日
4-7 いとうさんの一週間



基 本

例 文

- ① A: 毎日何時間まいにちなん じ かんぐらいね寝ますか。
 B: 8時間じ かんぐらいね寝ます。
- ② A: さいふなかの中なかにいくらいくらぐらいぐらいありますか。
 B: 3000円えんぐらいぐらいあります。
- ③ A: 何枚なんまいぐらいシ-ディー もCDもを持もっていますか。
 B: 30枚まい もぐらいも持もっています。
- ④ A: いつも何時なん じごろかえうちへ帰かえりますか。
 B: 6時じごろかえに帰かえります。
- ⑤ 7時じごろお起おきます。

解 説

- A. 時間じ かん、金額きんがく、数量すうりょうに「ぐらい」がついて、大体だいたいの時間じ かん、金額きんがく、量りょうを表あらわす。(例文①②③)
- B. 時刻じこくに「ごろ」がついて、だいたいだいたいの時刻じこくを表あらわす。(例文④⑤)
- C. 時刻じこくの後あとには「に」がつくが、「時刻 + ごろ」の場合ばあいは、「に」を省略しょうりゃくすることができる。
 (例文⑤)
- D. 時間じ かん、金額きんがく、数量すうりょうをたずねる疑問詞ぎもんしのあとに「ぐらい」を、「時刻」をたずねる疑問詞ぎもんしのあとあとに「ごろ」をつけることができる。(例文①②③④)

例 文

⑥ 3^{がつ}月^{さくら}ごろ、桜^さが咲きます。

⑦ 1980^{ねん}年^{くるま}ごろから車^{おお}が多くなりました。

解 説

E. 「ごろ」は「^{ねん}年」「^{がつ}月」「^{にち}日」の^{あと}後にもつけることができる。(例文⑥⑦)

先生へ

「^{こんにちう}きょう」「^{こんげつ}今週」「^{ことし}今月」「^{とし}今年」などの時を表すことばにはつけられない。

「^{まえ}ぐらい」「^くごろ」の前に来る数字は区切りのよい数字(3^{すうじ}時間、1000^{えん}円、9^じ時など)が使われることが^{おほ}多い。

【関連項目】

語 -01 時刻
語 -06 助数詞
語 -07 時間

【「れんしゅう編」の練習】

4-2 わたしの一^{にち}日
4-3 7時間ぐ^らい寝ます
4-6 田中さんの一^{にち}日
4-7 いとうさんの一^{しゅう}週間

文-11

Vました

N	は	Vました Vませんでした
---	---	-----------------

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
ひかこ 非過去	Vます	Vません
かこ 過去	Vました	Vませんでした

基 本

例 文

① きのうわたしは映画を見ました。

② A: 日曜日に何をしましたか。

B: 部屋の掃除をしました。

③ A: きのうの夜、日本語の勉強を
しましたか。

B: いいえ、しませんでした。

④ A: 試験は終わりましたか。

B: はい、終わりました。

⑤ A: ドアを閉めましたか。

B: はい、閉めました。

解 説

A. 過去の行為を表す。(例文①②③)

B. 動作の完了を表す。(例文④⑤)

C. Nが何であるかわかっている場合は、「Nは」を省略することがある。(例文②③④⑤)

例 文

- ⑥ 昔、学校の門のそばに大きい木がありました。
- ⑦ 子供のとき、うちに犬がいました。

解 説

D. 過去の状態を表す。(例文⑥⑦)

先生へ

「ました」は丁寧さを表す。

「もう」といっしょに使って動作の完了を示すことが多いので、「もう/まだ」を教える前に教えた方がよい。

例 A: もう昼ごはんを食べましたか。

B: いいえ、まだです。

【関連項目】

- 文-03 Vます
 文-12 Aかったです / ANでした
 文-13 Nでした

【「れんしゅう編」の練習】

- 5-2 テレビを見ましたか
 5-4 おいしかったですよ
 5-5 休みのこと
 5-6 手紙

文-12

A かったです / AN でした

N	は	A かったです A じゃなかった	です
---	---	---------------------	----

N	は	AN	でした ではありませんでした
---	---	----	-------------------

けいようし [イ形容詞]

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
ひ か こ 非過去	A いです	A くないです
か こ 過去	A かったです	A じゃなかったです

けいようし [ナ形容詞]

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
ひ か こ 非過去	AN です	AN ではありません
か こ 過去	AN でした	AN ではありませんでした

基 本

例 文

- ① このかばんは高かったです。
- ② 公園はとても静かでした。
- ③ おととい、田中さんに会いました。
あまり元気ではありませんでした。
- ④ パーティーの料理はおいしくなかった
です。
- ⑤ A: 旅行は楽しかったですか。
B: はい、とても楽しかったです。
- ⑥ A: 北海道はどうでしたか。
B: とても寒かったです。
- ⑦ A: きのうの映画はどうでしたか。
B: あまりおもしろくありませんでした。

- A. Nの性質や特徴について述べるができる。(例文①)
 B. 過去の時点での様子や状態を表す。(例文②③⑥)
 C. 過去のことについての話し手の意見、感想を述べるができる。(例文④⑤⑦)
 D. 「Nはどうでしたか」で、過去の時点での様子、状態をたずねることができる。(例文⑥)
 E. 「Nはどうでしたか」で、過去のことについての意見や感想を求めることができる。(例文⑦)
 F. イ形容詞「いい」は、活用が例外。

	肯定形	否定形
非過去	いいです	よくないです
過去	よかったです	よくなかったです

先生へ

日本語の形容詞は、2種類に分けられる。名詞を修飾するとき「い」で終わるものがイ形容詞(A)、「な」で終わるものがナ形容詞(AN)である。

話しことばでは、「ANではありませんでした」は、「ANじゃありませんでした」になることが多い。

否定の言い方には、「Aくありませんでした」「ANではなかったです」もある。

日本語能力試験4級相当のナ形容詞「きれい」「ゆうめい」「きらい」は、イ形容詞と混同しないように注意すること。

【関連項目】

- 文-06 Aいです / ANです
 文-11 Vました
 文-13 Nでした

【「れんしゅう編」の練習】

- 5-3 楽しかったですか
 5-4 おいしかったですよ
 5-5 休みのこと
 5-6 手紙

文-13

Nでした

N1	は	N2	でした ではありませんでした
----	---	----	-------------------

	こうていけい 肯定形	ひていけい 否定形
ひかこ 非過去	Nです	Nではありません
かこ 過去	Nでした	Nではありませんでした

基 本

例 文

- ① きのうの天気は晴れでした。
 ② 昔、ここは公園でした。
 ③ 1970年まで父は中学の先生でした。
 ④ きのうのお弁当はおにぎりではありませんでした。
 ⑤ A: おとといは休みでしたか。
 B: いいえ、休みではありませんでした。

解 説

- A. 「N2でした」は、N1の過去についての説明。(例文①②③④⑤)
 B. N1が何であるかわかっている場合は、「N1は」を省略することがある。(例文⑤)

先生へ

話しことばでは、「Nではありませんでした」が「Nじゃありませんでした」になることが多い。
 「Nでした」「Nではありませんでした」は丁寧な表現。

【関連項目】

文-01 Nです
 文-11 Vました
 文-12 Aかったです / ANでした

【「れんしゅう編」の練習】

5-4 おいしかったですよ
 5-6 手紙

文-14

Vましょう

V ましょう

基 本

例 文

① A: いっしょに帰^{かえ}りましょう。

B: はい。

② さあ、歌^{うた}いましょう。

③ A: いっしょに昼^{ひる}ごはんを食^たべませんか。

B: はい、食^たべましょう。

④ A: プールへ行^いきませんか。

B: いいですね。行^いきましょう。

解 説

A. Vは、「行^いきます 行^いき」のように「Vます」から「ます」をとった形。

B. 何かをしよう^{なに}と誘^{さそ}うときに使う。(例文①②)

C. 誘^{さそ}いを受け入れる返^う事^いをするときに使う。(例文③④)

先生へ

話し手の意志を表すときに使う。

話し手の気持ちを表し、聞き手の気持ちをたずねていないので、やや強引な誘いの表現である。よっ

て、聞き手が誘いを受け入れる可能性が高いときに使った方がよい。

誘いの表現の「Vませんか」と比較すると、質問の形で聞き手の気持ちをたずねている「Vませんか」

の方が丁寧な表現。

指示をするときに使うこともある。

例(授業を始めるとき)始めましょう。

誘いの返事の「Vましょう」は、「Vませんか」といっしょに教えるとよい。

【関連項目】

文-03 Vます

文-15 Vませんか

【「れんしゅう編」の練習】

5-7 映画を見に行きませんか

5-8 さそいましょう

文-15

Vませんか

V ませんか

V:Vます

基 本

例 文

- ① A: いっしょに帰^{かえ}りませんか。
B: ええ、帰^{かえ}りましょう。
- ② A: スケートに行^いきませんか。
B: いいですね。行^いきましょう。
- ③ A: 土曜^{どようび}日の午^ご後、テニスをし^しませんか。
B: 土曜^{どようび}日ですか。土曜^{どようび}日はちよつと。
- ④ A: あした、うちへ遊^{あそ}びに^き来ませんか。
B: ありがとうございます。
でも、あしたはちよつと。
- ⑤ A: 映^{えい}画^がを見^みに行^いきませんか。
B: すみません。アル^あバ^いイトがあります。

解 説

- A. Vは、「行^いきます 行^いき」のように「Vます」から「ます」をとった形。^{かたち}
- B. 誘^{さそ}う^{つか}るときに使う。(例文①②③④⑤)
- C. 誘^{さそ}い^うを受けるとき、下^{した}のよう^いに言う。(例文①②)
- 「はい、Vましよう。」
「ええ、Vましよう。」
「いいですね。Vましよう。」
- D. 誘^{さそ}い^{ことわ}を断^{した}るとき、下^いのよう^いに言う。(例文③④⑤)
- 「 はちよつと。」
「すみません。 (理^り由^{ゆう}を^い言う)。」

先生へ

しつもん かたち き て こうどう き も はな て き も あらわ
質問の形で聞き手がある行動をする気持ちがあるかどうかをたずねる。話し手の気持ちを表すことで

さそ ひょうげん ていねい ひょうげん
誘いの表現となっている「Vましょう」より丁寧な表現。

さそ う ひょうげん ことわ ひょうげん ひとお れんしゅう くふう
誘いを受ける表現、断る表現は、一通りではないので、練習のとき工夫すること。

【関連項目】

文-14 Vましょう

文-03 Vます

【「れんしゅう編」の練習】

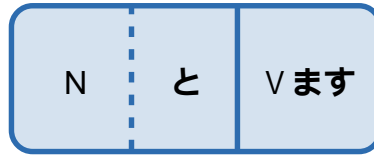
5-7 映画を見に行きませんか

5-8 さそいましょう

5-9 ポスター

助-14

と(相手)



N : Vの行動をいっしょにする人

基 本

例 文

- ① わたしは田中さんとデパートへ
行きました。
- ② 夏休みに家族と旅行をしました。
- ③ 先週、佐藤さんといっしょに映画を
見ました。
- ④ 電話で友だちと話しました。
- ⑤ A: だれとテニスをしましたか。
B: 田中さんとしました。

解 説

- A. 「と」は、Nが、Vの行動をいっしょにする相手であることを示す。(例文①②③④⑤)
- B. 相手がだれかたずねるときは、「だれと」を使う。(例文⑤)

先生へ

「と」は助詞。

「と」は、「といっしょに」に言い換えることができる。しかし、「会う」「結婚する」など一人ではできない、必ず相手が必要な行動をするときの相手は、「といっしょに」に言い換えることができない。

例1 中山さんは、山本さんと結婚しました。

2 友だちといっしょに中学生とけんかをしました。(=友だちとわたしは中学生とけんかをしました。)

【関連項目】

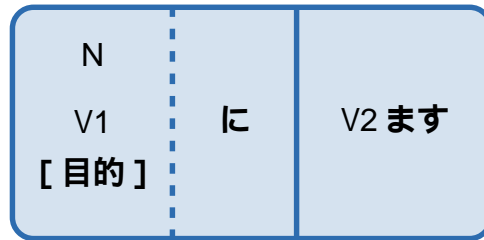
助-01 と(並列)

【「れんしゅう編」の練習】

- 5-5 休みのこと
- 5-6 手紙
- 5-7 映画を見に行きませんか
- 5-9 ポスター

助-15

に(目的)



N : 移動の目的
いどう もくてき

V1 : 移動の目的となる行動、Vます
いどう もくてき こうどう

基 本

例 文

① あした父はデパートへ買い物に行きます。
ちち が もの い

ます。

② 田中さんはわたしの国へ勉強に来ました。
たなか くに べんきょう き

た。

③ 来週、バスケットボールの試合を見に行きます。
らいしゅう し あい み

いきます。

④ うちへ忘れ物を取りに帰ります。
わすれもの と かい

⑤ A: どこへ行きますか。
い

B: 公園へ行きます。
こうえん い

A: 何をしに行きますか。
なに い

B: バスケットボールをしに行きます。
い

解 説

A. V1は、「行きます 行き」のように「Vます」から「ます」をとった形。
い い かたち

B. 「に」は、N、V1が移動の目的であることを示す。(例文①②③④⑤)
いどう もくてき しめ

C. NまたはV1で示される行動が行われる場所、つまり移動の目的地を示すときは、助詞「へ」を使う。(例文①②④)
しめ こうどう おこな ばしょ いどう もくてき ち しめ じよし

D. 「何をしにVますか」で目的をたずねることができる。(例文⑤)
なに もくてき

先生へ

「に」は助詞。

Nは、目的となる行動と結びつく名詞。

日本語能力試験4級相当の名詞: 朝ごはん、昼ごはん、晩ごはん、買い物、授業、パーティー、勉強、旅行、散歩、練習、仕事、スポーツ名など

V2は、移動を表す動詞。

日本語能力試験4級相当の動詞: 行く、来る、帰る、出かける

移動の目的地は行動が行われる場所でもあるが、助詞「で」を使わないように注意すること。

【関連項目】

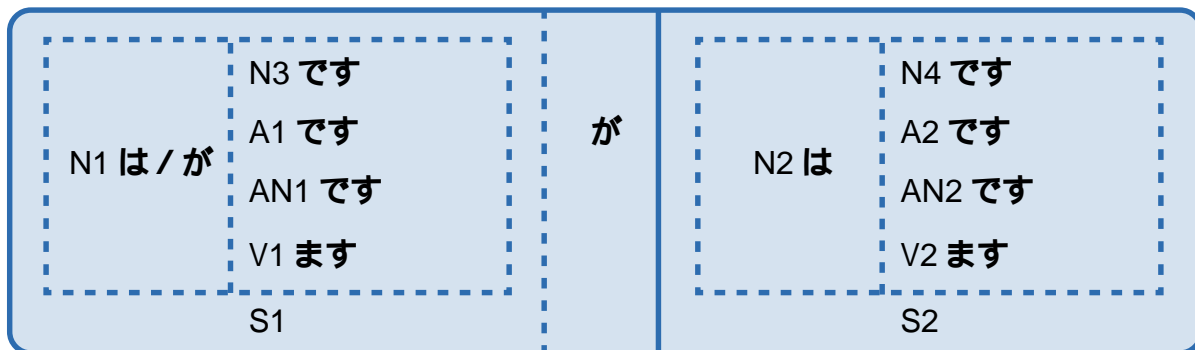
- 助-02 に(時)
- 助-07 に(場所)
- 助-18 に(基準)
- 助-21 に(帰着点)
- 助-26 に(対象)

【「れんしゅう編」の練習】

- 5-5 休みのこと
- 5-6 手紙
- 5-7 映画を見に行きませんか
- 5-8 さそいましょう
- 5-9 ポスター

助-16

が (接続)



基 本

例 文

- ① A: ^{にほんご}日本語はどうですか。
B: むずかしいですが、おもしろいです。
- ② ^{はやし}林さんは^{とも}友だちと^{でんわ}電話でよく^{はな}話しますが、^{かぞく}家族とあまり^{はな}話しません。
- ③ ^{たなか}田中さんは^{きむら}テニスをしますが、^{きむら}木村さんはしません。
- ④ わたしは^のコーラを^{たなか}飲みますが、^{たなか}田中さんは^のジュースを^の飲みます。
- ⑤ ^{つか}たくさんテストが^{つか}ありましたが、^{つか}疲れませんでした。

解 説

- A. 「が」は、S1 と S2 をつなく。
- B. 「S1 が、S2」で、「が」は S1 と S2 の^{かんけい}関係が、^{たいりつ}対立する^{ないよう}内容であることを^{しめ}示す。
(例文①②③④⑤)

例 文

⑥ A: 先生、来週の土曜日体育館を
使いた
いんですが、いいですか。

B: いいですよ。

⑦ きのう、新しい映画を見ましたが、おも
しろかったです。

⑧ 趣味がいろいろありますが、今はコン
ピュータゲームがいちばん好きです。

⑨(電話で)

A: 東京高校の小林ですが、けんじさん
をおねがいします。

B: はい。

⑩(電話で)

A: けんじさんはいますか。

B: けんじは今いませんが。

A: そうですか。じゃ、またあとで電話
します。

解 説

C. S1はS2の補充的説明で、前置きになる。(例文⑥⑦⑧⑨)

D. S2を省略して相手に話す順番(ターン)を渡すことができる。(例文⑩)

先生へ

「が」は助詞。

N1とN2が同じ場合は、「N1は/が」は省略される。またN1とN2が何であるかわかっている場合は、

「N1は」「N2は」を省略することがある。

話しことばでは、「が」の代わりに「けれども」「けど」でつなぐことがある。

【関連項目】

- 助-22 が(主語)
- 助-25 から(理由)

【「れんしゅう編」の練習】

- 5-6 手紙
- 8-6 もしもし
- 11-3 インタビュー

文-16

Vてください

Vて ください
 くださいませんか

基 本

例 文

- ① 15ページ^みを見て^みください。
② テープ^{かいわ}の会話^きを聞いて^きください。
③ 答え^{こた}を書^かいて^かください。
④ もう一度^{いちど}説明^{せつめい}して^{せつめい}くださいませんか。
⑤ A: すみません^{まど}。窓^あを開^あけて^あください
 ませんか。
 B: ええ、いいですよ。

解 説

- A. 「Vてください」は、丁寧^{ていねい}に指示^{しじ}したり命令^{めいれい}したりするとき^{つか}に使う。(例文①②③)
B. 「Vてくださいませんか」は、話し手^{はな}にとって利益^{りえき}になるような行為^{こうい}を聞き手^きに丁寧^{ていねい}に依頼^{いらい}する
とき^{つか}に使う。(例文④⑤)

先生へ

動作主^{どうさしゅ}を限定^{げんてい}する場合は、^{ぼあい}「～は」をつけて示^{しめ}す。

例1 女^{おんな}の生徒^{せいと}は、立^たってください。

2 2年生^{ねんせい}は、あした8時^じに学校^{がっこう}へ来^きてください。

「Vてくださいませんか」は、依頼^{いらい}を受けるかどうか^うを聞き手^きにたずね^{かた}る形^{かたち}になっている。

【関連項目】

- 活-01 Vて形
文-29 Vないでください
文-08 Nをください

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-2 わたしは先生です
6-3 おねがいします
6-4 名前を書いてください
9-2 ペンを使わないでください
9-5 お大事に

文-17

Vてもいいです

Vて も いいです

基 本

例 文

- ① A: 教室^{きょうしつ}でお弁当^{べんとう}を^た食べてもいいですか。
B: はい。
- ② A: もうランドへ^い行ってもいいですか。
B: はい、いいです。
- ③ A: これを^か借りてもいいですか。
B: はい、どうぞ。
- ④ A: ワープロを^か借りてもいいですか。
B: いいえ、ちょっと……。
- ⑤ A: 外^{そと}に出^でてもいいですか。
B: いいえ。

解 説

A. 「Vてもいいですか」で、聞き手に許可^{きょか}を求めるときに使う。(例文①②③④⑤)

B. 許可^{きょか}を求められて、許可^{きょか}を与^{あた}えるとき、下^{した}のように言う。(例文①②③)

「はい。」

「はい、いいです。」

「はい、どうぞ。」

C. 許可^{きょか}を求められて、許可^{きょか}を与^{あた}えないとき、下^{した}のように言う。(例文④⑤)

「いいえ。」

「いいえ、ちょっと……。」

先生へ

「いいえ、だめです」「いいえ、Vないでください」「いいえ、いけません」は、強い断りの表現である。
規則、法律にもとづいて許可を与えない場合に使用されることが多い。

例 A: 辞書を見てもいいですか。

B: いいえ、見ないでください。

「Vてもいいですか」は、日本語能力試験3級相当の項目。

「Vてもいいです」は、許可を与えるときの表現。

例 もう答えを見てもいいですよ。

ここでは許可を求める表現にしぼって練習した方がよい。

【関連項目】

活-01 Vて形

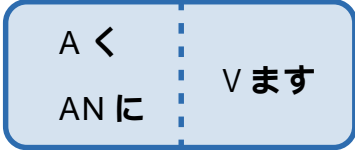
文-54 Vなくてもいいです

【「れんしゅう編」の練習】

6-5 どこですか

文-18

A < / AN に V ます



基 本

例 文

- ① ^{た なか} 田中さんは ^{な まえ} 名前を ^{てい ない} に ^か 書きました。
- ② ^{しず} 静かに ^{べんきょう} 勉強しましょう。
- ③ ^{せんせい} 先生は ^{すこ} 少し ^{はや} 速く ^{はな} 話しました。
- ④ ^{きれい} きれいに ^{そうじ} 掃除してください。
- ⑤ ^{もっと} もっと ^{おお} 大きく ^か 書いてください。
- ⑥ ^{はや} 早く ^{あつ} 集まってください。

解 説

A. 「A <」「AN に」は、^{しゅうしょく} V を修飾している。(例文①～⑥)

		^{めいし} ^{しゅうしょく} 名詞を修飾するとき	^{どうし} ^{しゅうしょく} 動詞を修飾するとき
^{けいようし} イ形容詞 (A)	おおきい	おおきい N	おおきく V
^{けいようし} ナ形容詞 (AN)	べんり	べんりな N	べんりに V

B. ある動作をしているときの様態を表す。(例文①②③)

C. ある動作をした結果としての様態を表す。(例文④⑤⑥)

先生へ

「A < / AN に V ます」の「A < / AN に」は、^{けいようし} ^{ふくしてきようほう} 形容詞の副詞的用法。

「A < V ます」の形容詞の形に注意すること。

【関連項目】

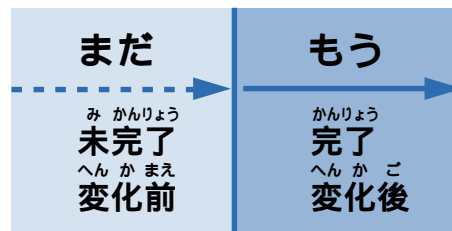
- 文-39 A < / AN に / N になります
- 文-06 A いです / AN です
- 文-07 A い / AN な N

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-2 わたしは先生です
- 6-4 名前を書いてください

文-19 もう/まだ

もう	V A
まだ	AN N



基 本

例 文

- ① A: もう漢字を覚えましたか。
B: はい、もう覚えました。
- ② A: もう答えを書きましたか。
B: いいえ、まだです。

解 説

- A. 「もう」は、ある行動や動作が完了していることを表す。(例文①②)
- B. 「まだ」は、ある行動や動作が完了していないことを表す。(例文②)

例 文

③ A: まだありますか。

B: いいえ、もうありません。

④ A: 先生はまだ教室にいますか。

B: はい、います。

⑤ A: まだ暑いですか。

B: いいえ、もう涼しくなりました。

⑥ A: 中山さんのお兄さんはもう大学生
ですか。

B: いいえ、まだ高校生です。

解 説

C. 「まだ」は、予想される変化が起こらないで、それまでと同じ状態が続いていることを表す。

(例文③④⑤⑥)

D. 「もう」は、変化が起こって、それまでとは状態が変わったことを表す。(例文③⑤⑥)

先生へ

「まだです」は、動作が完了していない場合の答えとして使う。「まだVていません」と答えることもできる。(例文②)

当然ある行動や動作をするだろうという前提があって、それをすでに経験しているか否かを述べるときに使うことがある。行動、動作の完了と混乱しないように例文を提示するとき注意すること。

例 A: もう新しいコンピュータゲームをしましたか。

B: はい、しました。

完了/未完了を表す「もう/まだ」を練習するときには、例文②のように、「もうVました」「まだです」を使うとよい。

【関連項目】

文-11 Vました

【「れんしゅう編」の練習】

6-2 わたしは先生です

活-01

Vて形

Vます形 けい Vて形 けい

<グループ1>

います		かいます	かって
ちます	って	まちます	まって
ります		かえります	かえって
にます		しにます	しんで
びます	んで	あそびます	あそんで
みます		よみます	よんで
きます	いて	かきます	かいて
ぎます	いで	およぎます	およいで
します	して	はなします	はなして

いきます 行って

<グループ2>

ます	て	おきます	おきて
		たべます	たべて

<グループ3>

します	して
きます	きて

V辞書形 じしょけい Vて形 けい

<グループ1>

う		かう	かって
つ	って	まつ	まって
る		かえる	かえって
ぬ		しぬ	しんで
ぶ	んで	あそぶ	あそんで
む		よむ	よんで
く	いて	かく	かいて
ぐ	いで	およぐ	およいで
す	して	はなす	はなして

いく 行って

<グループ2>

る	て	おきる	おきて
		たべる	たべて

<グループ3>

する	して
くる	きて

先生へ

「Vて形」は動詞の活用形の一つ。

「Vて形」は次のように使われる。

- 例1 立ってください。
- 2 もう一度言ってくださいますか。
- 3 あした、休んでもいいですか。
- 4 小林さんは青いシャツを着ています。
- 5 6時に起きて、ジョギングをしました。
- 6 ごはんを食べてから、歯をみがきます。
- 7 手紙に書いてありました。

「にます / んで」となる動詞は「死にます / 死ぬ」だけ。

グループ1の動詞とグループ2の"-imasu/-iru"動詞は、形から区別しにくい。グループ2の動詞は限られているので、グループ2の動詞を覚えさせると活用で混乱しない。

日本語能力試験4級相当のグループ2動詞: いる、見る、着る、起きる、降りる、借りる、浴びる

【関連項目】

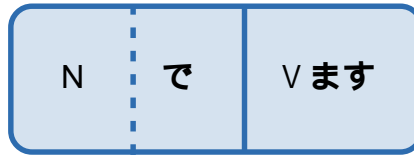
活-02 Vた形

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-1 「て形」のビンゴ
- 6-2 わたしは先生です
- 6-3 おねがいします
- 6-4 名前を書いてください
- 6-5 どこですか

助-17

で(手段 / 材料)



しゅだん ざいりょう
N: 手段、材料

基 本

例 文

- ① 先生は赤いチョークで答えを書きました。
せんせい あか こた
か
- ② A: まりさんは何で学校へ来ますか。
なに がっこう き
B: 電車で来ます。
でんしゃ き
- ③ A: 先生、このことばの意味は何ですか。
せんせい い み なん
B: 辞書で調べてください。
じしょ しら
- ④ コンピュータで絵をかくことができます。
え
- ⑤ A: おにぎりははしで食べますか。
た
B: いいえ。手で食べます。
て た
- ⑥ A: その荷物は何で送りますか。
にもつ なに おく
B: 航空便で送ります。
こうくうびん おく

解 説

- A. 「で」は、NがVの行為をするときの手段であることを示す。(例文①～⑥)
こうい しゅだん しめ
- B. どんな手段かをたずねるときは「何で」を使う。(例文②⑥)
しゅだん なに つか

例 文

- ⑦ 卵たまごと野菜やさいでサンドイッチつくを作しましょう。
- ⑧ くだものでジュースつくを作ることができます。
- ⑨ A:それは何なにでつく作った人形にんぎょうですか。
 B:紙かみでつく作った人形にんぎょうです。

解 説

- C. 「で」は、Nが何なにかを作つくるときの材料ざいりょうであることを示しめす。(例文⑦⑧⑨)
- D. どんな材料ざいりょうかをたずねるときは「何なにで」を使つかう。(例文⑨)

先生へ

- 「で」は助詞じょし。
 「何なにで」は、「なんで」ということもある。

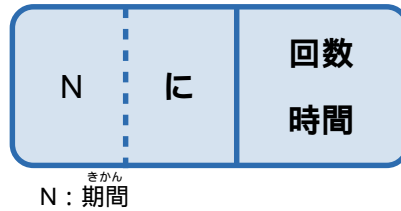
【関連項目】

- 助-09 で(基準/範囲)
 助-11 で(場所)
 助-27 で(原因/理由)

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-2 わたしは先生です
 6-3 おねがいします
 6-4 名前を書いてください
 7-5 どこで・どこを・どこから
 7-6 うちから学校まで
 7-8 どのコースがいいですか
 9-8 料理を作しましょう

助-18 に(基準)



基本

例文

- ① 1週間に3回掃除します。
 ② 1年に1回健康診断があります。
 ③ 2週間に1回日本語の試験があります。
 ④ 1学期に3回テストがあります。
 ⑤ 1日に1時間プールで泳ぎます。
 ⑥ 1日に2時間ピアノを練習します。

解説

- A. 「に」は、Nが基準になる期間であることを示す。(例文①～⑥)
 B. 「Nに回数」のとき、ある期間内の頻度を表す。(例文①②③④)
 C. 「Nに時間」のとき、ある期間内に行われる行動やできごとの時間的長さを表す。
 (例文⑤⑥)

先生へ

「に」は助詞。

【関連項目】

- 助-02 に(時)
 助-07 に(場所)
 助-15 に(目的)
 助-21 に(帰着点)
 助-26 に(対象)

【「れんしゅう編」の練習】

6-7 時間割

V た こと が あります

基 本

例 文

① わたしは日本へ行ったことがあります。

② てんぷらを食べたことがあります。

③ A: ディズニーランドへ行ったことが
ありますか。

B: いいえ、ありません。

④ A: すもうを見たことがありますか。

B: はい、あります。

⑤ A: 富士山に登ったことはありません。

B: じゃ、今度いっしょに登りましょう。

解 説

A. Vの行動をした経験があるかどうか述べる。(例文①②③④⑤)

B. 「Vたこと」が何であるかわかっている場合は、「Vたことが」を省略することができる。(例文③④)

先生へ

「Vました」と「Vたことがあります」の^{ちが}違い。

	Vました	Vたことがあります
か こ どう さ きゃっかんてきじょじゆつ 過去の動作の客観的叙述		×
けいけん か こ どう さ 経験としての過去の動作	×	
どう さ ひ にちじょうせい 動作の非日常性	と 問わない	
どう さ とくしゆせい 動作の特殊性	と 問わない	

例 ^{にほん} ^{ちゃ} ^の 日本のお茶を飲んだことがあります。()

^{ちゃ} ^の お茶を飲んだことがあります。(×)

「Vたことがあります」文では、以下のことばは使えない。

^{ちか} ^か ^こ ^{あらわ} 近い過去を表すときのことば:きのう、おとといなど

^{じかん} ^{はば} 時間の幅のないことば: ^じ 時、19 ^{ねん} 年など

「Vたことがあります」は、^{にほん} ^{ごのりよくしけん} ^{きゅうそうどう} ^{こうもく} 日本語能力試験3級相当の項目。

^し ^{しょうじょう} ^{せいやく} ^{ちゅうい} ^{れんしゅう} ^{ひつよう} 使用上の制約に注意して練習させる必要がある。

【関連項目】

文-11 Vました

活-02 Vた形

【「れんしゅう編」の練習】

7-2 めずらしい経験

7-4 旅行に行きましょう

文-21

VたりVたりします

V1 たり V2 たり します

Vたり : Vた + り

基 本

例 文

① わたしは夏なつ休みにテニスをしたり
泳およいだりしました。

② 日曜日にちようびに弟おとうとは本ほんを読よんだりテレビを
見みたりしています。

③ 友だちともとよく映画えいがを見みたりプールに行いっ
たりします。

解 説

A. 「Vたり」の形は、「泳およいだ + り 泳およいだり」のように「Vた形」に「り」をつけて作る。

B. 動作どうさのいくつかを例として並べるときに使う。ほかにも該当する動作どうさがあることを暗示する。

(例文①②③)

例 文

- ④ 飛行機ひこうきで東京とうきょうと大阪おおさかを行いったり来きたりします。
- ⑤ 雨あめが降ふったりやんだりしています。

解 説

C. 対照たいしょうてき的なことばを並ならべ、ある状態じょうたいまたは行為こういを交互こうごに繰くり返かえすことを表あらわす。(例文④⑤)

<p>【関連項目】</p> <p>活-02 V た形</p> <p>文-03 V ます</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>7-3 旅行の思い出</p> <p>7-4 旅行に行きましょう</p>
--------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

文-22

疑問詞 + か...肯定

疑問詞 + か

Vます

基 本

例 文

① A: 冬休みふゆやすにどこかいへ行きましたか。

B: はい。北海道ほっかいどうへ行きました。

② A: 何かなに食べたませんか。

B: ええ、食べたましょう。

③ A: あそこあそこにだれかだれかいます。

B: (人ひとががいるにののにに気きがついて)

あ、田中たなかさんです。

④ A: あそこあそこに何かなにあります。

B: え、どこどこですか。

解 説

A. 「疑問詞 + か」は、不特定ふとくていの対象たいしょうや時とき、場所ばしょを表す。(例文①②③④)

B. 助詞じょしは、「疑問詞 + か」の後あとにつく。(例文①)

C. 「疑問詞 + か」が「がが(主語しゅご)」(p.104 参照)や「をを(対象さんしょう)」(p.38 参照)を伴うことともなととして使つかわれるとき、「がが(主語しゅご)」と「をを(対象さんしょう)」は省略しょうりゃくされる。(例文②③④)

先生へ

「疑問詞 + か」の後あとに、「N」「A + N」「AN + N」をつけて、「疑問詞 + か」の対象たいしょうとなるものを限定げんていすることができる。

例 1 何かなに冷つめたいもののが飲のみたいです。

2 いつか暇ひまなときに映えい画がに行いきましょう。

「あの人ひとがだれかだれかわかりますか」の「だれか」とは用法ようほうが違ちがう。

「が」と「を」が省略しょうりゃくされない場合ばあいもあるが、学習者がくしゅうしゃが混乱こんらんするのでここでは教おしえない方ほうがよい。

【関連項目】

文-23 疑問詞 + も...否定

【「れんしゅう編」の練習】

7-3 旅行の思い出

文-23

疑問詞 + も...否定

疑問詞 + も

Vません

基 本

例 文

① A:そこにだれかいますか。

B:いいえ、だれもいません。

② お金かねがありませんでしたから、何もなに か買いませんでした。

③ A:休みやすにどこかいへ行きましたか。

B:いいえ、どこへもい行きませんでした。

④ A:だれかあに会いましたか。

B:いいえ、だれにもあ会いませんでした。

解 説

A. 対象たいしやうや時とき、場所ばしよなどを完全かんぜんに否定ひていするときつかに使う。(例文①②③④)

B. 助詞じょしは、「疑問詞ぎもんし」と「もあいだ」の間はいに入る。(例文③④)

C. 「疑問詞 + も」が「がしゅご(主語)」(p.104 参照)や「をさんしやう(対象)」(p.38 参照)を伴うことともなとして使つかわれるとき、「がしゅご(主語)」と「をたいしやう(対象)」は省略しょうりやくされる。(例文①②)

先生へ

「いつも」は、頻度ひんどの副詞ふくしとして扱あつかうので、ここでは取り上げない。

【関連項目】

- 文-22 疑問詞 + か...肯定
- 文-10 あまり...否定
- 文-43 しか...否定

【「れんしゅう編」の練習】

- 7-3 旅行の思い出

活-02

V た形

V ます形 けい V た形 けい

<グループ1>

います		かいます	かった
ちます	った	まちます	まった
ります		かえります	かえった
にます		しにます	しんだ
びます	んだ	あそびます	あそんだ
みます		よみます	よんだ
きます	いた	かきます	かいた
ぎます	いだ	およぎます	およいだ
します	した	はなします	はなした

いきます いった

<グループ2>

ます	た	おきます	おきた
		たべます	たべた

<グループ3>

します	した
きます	きた

V 辞書形 じしょけい V た形 けい

<グループ1>

う		かう	かった
つ	った	まつ	まった
る		かえる	かえった
ぬ		しぬ	しんだ
ぶ	んだ	あそぶ	あそんだ
む		よむ	よんだ
く	いた	かく	かいた
ぐ	いだ	およぐ	およいだ
す	した	はなす	はなした

いく いった

<グループ2>

る	た	おきる	おきた
		たべる	たべた

<グループ3>

する	した
くる	きた

<グループ1>

って	った	かって	かった
		まって	まった
		かえって	かえった
んで	んだ	しんで	しんだ
		あそんで	あそんだ
		よんで	よんだ
いて	いた	かいて	かいた
いで	いだ	およいで	およいだ
して	した	はなして	はなした
いって		いった	

<グループ2>

て	た	おきて	おきた
		たべて	たべた

<グループ3>

して	した
きて	きた

先生へ

「Vた形」は動詞の活用形の一つ。

「Vた形」は次のように使われる。

- わたしは京都へ行ったことがあります。
- 朝ごはんを食べたあとで、宿題をします。
- きのう見た映画はあまりおもしろくありませんでした。
- 木村さんは、病気ですから、旅行に行けなかったと思います。
- 田中さんは、たぶんうちに帰ったでしょう。

文末に置かれ、常体として使われる。

グループ1の動詞とグループ2の"-imasu / -iru"動詞は、形から区別しにくい。グループ2の動詞は限られているので、グループ2の動詞を覚えさせると活用で混乱しない。

日本語能力試験4級相当の動詞: いる、見る、着る、起きる、降りる、借りる、浴びる

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 活-05 常体形

【「れんしゅう編」の練習】

- 7-1 言えたらあげる
- 7-2 めずらしい経験
- 7-3 旅行の思い出
- 7-4 旅行に行きましょう

助-19 を(起点)



N: 場所、地点を表すことば
ばしょ ちてん あらわ

基本

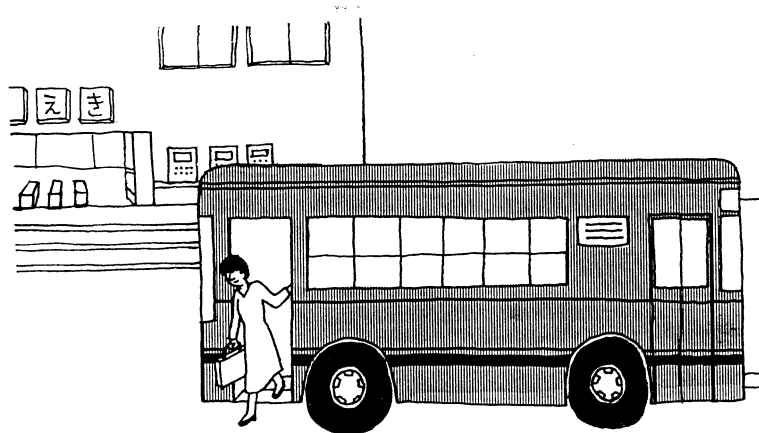
例文

① わたしは毎朝7時にうちを出ます。

③ 成田空港で飛行機を降りて、ホテルまで

② 駅の前でバスを降ります。

タクシーで行きました。



例文②

解説

A. 「を」は、Nが動作の起点や出発点であることを示す。(例文①②③)

先生へ

「を」は助詞。

「を」といっしょに使える移動を表す日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

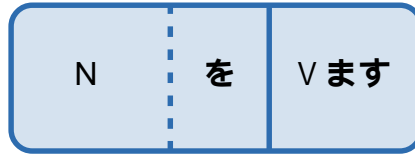
降りる、出る

【関連項目】

- 助-08 を(対象)
- 助-20 を(経路)

【「れんしゅう編」の練習】

- 7-5 どこで・どこを・どこから
- 7-6 うちから学校まで



N: ばしょ ちてん あらわ 場所、地点を表すことば

基 本

例 文

- ① このバスはとうきょうだいがくまえ とお 東京大学前とうきょうえきをを通とって、東京駅とうきょうえきまで行いきます。
- ② A: なが はし わた 長い橋を渡わたりましたか。
B: ええ。橋はしを渡わたって、島しまへ行いきました。
- ③ みち みぎがわ ある 道の右側を歩あるいてください。
- ④ みつ め かど ひだり ま 三つ目の角を左に曲まがってください。

解 説

- A. 「を」は、Nがい どう移動のつうかてんときの通過点しめであることを示す。(例文①)
- B. 「を」は、Nが移動の経路い どう けいろであることを示す。(例文②③④)

先生へ

「を」は助詞。

「を」といっしょに使える移動を表す日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

とお ある はし と のぼ わた ま はい お い く かえ さん ぽ
通る、歩く、走る、飛ぶ、登る、渡る、曲がる、入る、降りる、行く、来る、帰る、散歩する

【関連項目】

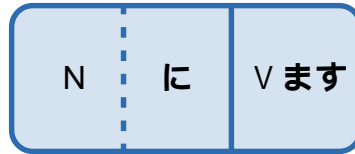
- 助-08 を(対象)
助-19 を(起点)

【「れんしゅう」編の練習】

- 7-5 どこで・どこを・どこから
7-6 うちから学校まで
7-7 駅はどこですか
7-8 どのコースがいいですか

助-21

に(帰着点)

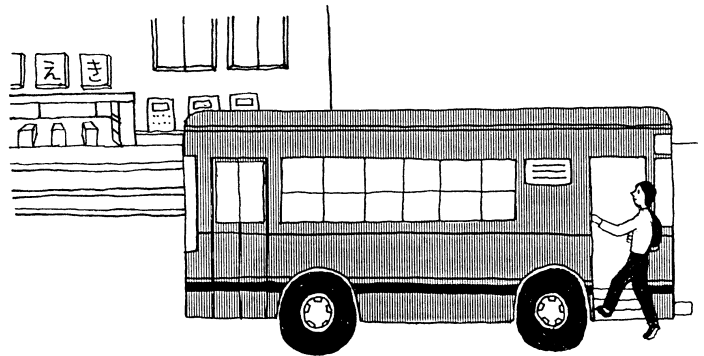


ばしょ ちてん あらわ
N: 場所、地点を表すことば

基 本

例 文

- ① わたしは駅えきの前まえでバスの前のに乗りのます。
- ② そこに荷物にもつを置おいてください。
- ③ A: 温泉おんせんに入はいったことがありますか。
B: いいえ、ありません。
- ④ A: JAL001 便びんは、何時なんじに空港くうこうに着つきますか。
B: 午後8時ごご じに空港くうこうに着つきます。
- ⑤ わたしはきのう8時じにうちかえに帰かえりました。
- ⑥ 中山なかやまさんは山やまに登のぼりました。



例文①

解 説

A. 「に」は、Nが動作の行き着く場所であることを示す。(例文①～⑥)

先生へ

「に」は助詞。

「へ」の代わりに「に」を使うことがある。

例 学校へ行きます。

学校に行きます。

「に」といっしょに使える日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

行く、来る、帰る、入る、出る、乗る、着く、止まる、並ぶ、登る、降りる、置く、つける、
並べる、入れる、貼る

【関連項目】

- 助-02 に（時）
- 助-07 に（場所）
- 助-15 に（目的）
- 助-18 に（基準）
- 助-26 に（対象）
- 助-06 へ

【「れんしゅう編」の練習】

- 7-2 めずらしい経験
- 7-5 どこで・どこを・どこから
- 7-6 うちから学校まで
- 7-8 どのコースがいいですか

Vて います

基 本

例 文

① いま こばやし としょかん ほん よ
今、小林さんは図書館で本を読んでいます。

② た なか ある
A: あ、田中さんが歩いています。

B: (た なか き よ 田中さんに気がついて呼びかける)

た なか
田中さん。

③ た なか いまなに
A: 田中さんは今何をしていますか。

B: た ごはんを食べています。

④ まいあさ
わたしは毎朝ジョギングをしています。

⑤ に ほん ご べんきょう
A: いつから日本語を勉強していますか。

B: きょねん べんきょう
去年から勉強しています。

⑥ やまもと とうきょう す
山本さんは東京に住んでいます。

⑦ た なか
田中さんはめがねをかけています。

⑧ たいいくかん まえ こばやし た
体育館の前に小林さんが立っています。

⑨ やま だ せんせい し
A: 山田先生を知っていますか。

B: し いいえ、知りません。

解 説

A. どう さ けいぞく あらわ
動作が継続していることを表す。(例文①②③)

B. げんざい しゅうかん あらわ
現在の習慣を表す。(例文④⑤)

C. どう さ けつ か けいぞく あらわ
動作の結果の継続を表す。(例文⑥⑦⑧⑨)

例 文

- ⑩ A: 日本語の辞書はありますか。
 B: すみません、今使っています。
 ⑪ A: 木村さんをお願いします。
 B: 木村さんは今電話をかけています。

解 説

D. 「今、Vています」の形で断るときに使うことができる。例えば、例文⑩では、「辞書はあるが、使用中なので貸せない」、例文⑪では「電話に出ることができない」ということを伝えている。(例文⑩⑪)

先生へ

「行く」「来る」「帰る」「出かける」は、「Vている」で、移動の結果、移動先にいるという意味になる。

例 A: もしもし、まりさんはいますか。

B: いいえ。まりは今買い物に行っています。

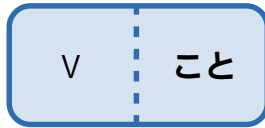
「知っています」の否定形は「知りません」になるので、注意すること。(例文⑨)

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-41 Vてあります
- 文-03 Vます
- 文-11 Vました

【「れんしゅう編」の練習】

- 8-4 友だちはどの人ですか
- 8-5 アルバイト



V: 辞書形
じしょけい

基 本

例 文

- ① わたしの^{しゅみ}趣味は、^{きって}切手を^{あつ}集めることと
^{ほん}本を^よ読むことです。
- ② わたしは^{とも}友だちとテレビゲームをする
 ことが好きです。
- ③ ^{がいこくご}外国語を^{べんきょう}勉強することは^{たの}楽しいです。

解 説

- A. 「こと」は、^{どうし}動詞の^{じしょけい}辞書形について、^{どうし}動詞を^{めいし}名詞化する。
 - B. 「Vこと」は、^{めいし}名詞と同じように、^{ぶん}文の^{こうせいよう}構成要素になることができる。(例文①②③)
 - C. 「Vこと」のVは、「Nを」「Nで」「Nに」などを伴うことができる。(例文①②③)
- ^{かし}お菓子^{つく}を作ること ^{かし}お菓子^{つく}を作ります
^{うみ}海で^{およ}泳ぐこと ^{うみ}海で^{およ}泳ぎます
^{とも}友だちに^{てがみ}手紙^かを書くこと ^{とも}友だちに^{てがみ}手紙^かを書きます

先生へ

「Vこと」は、^{にほんごのうりよくしけん}日本語能力試験3級相当の項目。

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 文-26 Vこと/Nができます
- 文-69 の(名詞化)

【「れんしゅう編」の練習】

- 8-2 趣味は何ですか
- 8-3 友だちと何をしますか

<グループ1>

います	う	かいます	かう
きます	く	かきます	かく
ぎます	ぐ	およぎます	およぐ
します	す	はなします	はなす
ちます	つ	まちます	まつ
にます	ぬ	しにます	しぬ
びます	ぶ	あそびます	あそぶ
みます	む	よみます	よむ
ります	る	かえります	かえる

<グループ2>

ます	る	おきます	おきる
		たべます	たべる

<グループ3>

します	する
きます	くる

先生へ

「V辞書形」は動詞の活用形の一つ。

「V辞書形」は次のように使われる。

- 例1 わたしの趣味は写真を撮ることです。
- 2 漢字を書くことができます。
- 3 学校へ行く前に、朝ごはんを食べます。
- 4 これはきょう昼ごはんに食べるサンドイッチです。
- 5 ヤンさんは日本語がわかると思います。
- 6 学校へ行くとき、電車に乗ります。
- 7 あしたはたぶん晴れるでしょう。

辞書の見出しに使われる活用形であることから「辞書形」と呼ばれる。

文末に置かれ、常体として使われる。

グループ1の動詞とグループ2の"-imasu/-iru"動詞は、形から区別しにくい。グループ2の動詞は限られているので、グループ2の動詞を覚えさせると活用で混乱しない。

日本語能力試験4級相当の動詞:いる、見る、着る、起きる、降りる、借りる、浴びる

【関連項目】

活-05 常体形

【「れんしゅう編」の練習】

- 8-1 辞書形の練習
- 8-2 趣味は何ですか
- 8-3 友だちと何をしますか

助 - 22

が (主語)

N1	が	N2 です A です AN です V ます
----	---	--------------------------------

基 本

例 文

- ① 4月に桜の花が咲きます。
がつ さくら はな さ
- ② 冬に雪がたくさん降ります。
ふゆ ゆき ふ
- ③ わたしの部屋に電話があります。
へや でんわ
- ④ グラウンドで生徒がサッカーの練習をしています。
せいと れんしゅう
- ⑤ あしたヤンさんが日本語でスピーチをします。
にほんご
- ⑥ A: パーティーにだれが来ますか。
き
 B: 小林さんと小林さんの友だちが来ます。
こばやし こばやし とも き
- ⑦ A: どの科目がおもしろいですか。
か もく
 B: 社会と数学がおもしろいです。
しゃかい すうがく
- ⑧ A: どの人が田中さんですか。
ひと たなか
 B: 木村さんのとなりの人です。
きむら ひと

解 説

- A. 「が」は、N1 が文の主語であることを示す。(例文①～⑧)
ぶん しゅご しめ
- B. 動作や存在、状態などの主体を示す。(例文①～⑧)
どうさ そんざい じょうたい しゅたい しめ
- C. 現象や、できごと、状態を述べるときに使う。(例文①②③④⑤)
げんしょう じょうたい の つか
- D. 主語の部分が疑問詞になったとき、その答えに使う。(例文⑥⑦⑧)
しゅご ぶぶん ぎもんし こた つか

先生へ

「が」は助詞。

主語に当たる部分が対比される場合と主題になる場合は「が」ではなく、「は」を使う。

聞き手がまだ知らないと話し手が思っている情報を述べるときに使う。

例 A: あした田中さんが来ます。

B: そうですか。

【関連項目】

助-16 が（接続）

【「れんしゅう編」の練習】

8-5 アルバイト

8-6 もしもし

8-7 日本の学校制度

助 - 23

は

N1	は	N2 です A です AN です V ます
----	---	--------------------------------

基 本

例 文

- ① わたしのうちは東京にあります。
- ② 桜の花はきれいです。
- ③ A: 田中さんはどんな人ですか。
B: きれいな人です。
- ④ A: 机の上に辞書がありますか。
B: いいえ、辞書はありません。
- ⑤ A: この本を読みましたか。
B: はい、その本はもう読みました。
- ⑥ A: お仕事は。
B: 高校で日本語を教えています。
- ⑦ わたしは両親と住んでいますが、兄は一人で住んでいます。
- ⑧ 犬はすきですが、猫はきらいです。
- ⑨ 吉田さんとはテニスをしますが、田中さんとはしません。
- ⑩ 田中さんにはもう手紙を書きました。
- ⑪ 駅からは歩いて10分ぐらいです。
- ⑫ わたしの部屋にはテレビがあります。

解 説

- A. 「は」は、N1 が文の主題であることを示す。(例文 ① ~ ⑥⑩⑪⑫)
- B. 「は」は、N1 をほかと対比的に述べるときに使う。(例文 ⑦⑧⑨)
- C. 「は」は、疑問詞につけることはできない。
- D. ほかの助詞といっしょに使うことができる。(例文 ⑨⑩⑪⑫)

N に / へ / で / と / から / まで

N には / へは / では / とは / からは / までは

N が / を

N は

- E. 「は」は「ワ」と発音する。

先生へ

「は」は助詞。

「は」は、1文の中に複数現れることがある。

例 わたしはきのうはうちにいました。

主題を表す「は」は、従属節（「...とき」「...まえに」など）連体修飾節（「A / AN + N」
「V + N」）の中では使えない。

主題を表す「は」は、すでに話し手と聞き手が共有している情報となっているものにつく。

例 A: きのう山本さんに会いました。

B: そうですか。

A: 山本さんは田中さんといっしょでした。

【関連項目】

助-03 も

【「れんしゅう編」の練習】

8-5 アルバイト

8-7 日本の学校制度

助-24 だけ

N

だけ

基 本

例 文

- ① すみませんが、100円^{えん}だけ^か貸^かしてくだ
さい。
- ② 10分^{ぶん}だけ^{やす}休^{やす}みましょう。
- ③ 林^{はやし}さん^きだけ^き来^きませんでした。
- ④ ジュース^かだけ^か買^かいました。
- ⑤ 3年^{ねんせい}生^{せい}だけ^しが^{あい}試^し合^あい^でに出^でました。
- ⑥ ひら^{べんきょう}が^{べんきょう}な^{べんきょう}だけ^{べんきょう}を^{べんきょう}勉^{べんきょう}強^{べんきょう}し^{べんきょう}ま^{べんきょう}す。
- ⑦ 辞^じ書^{しょ}だけ^{つか}は^{つか}使^{つか}わ^{つか}な^{つか}い^{つか}で^{つか}く^{つか}だ^{つか}さ^{つか}い。

解 説

- A. 「だけ」は、対象、程度、範囲、数量などを示すNの後について、これらを限定し、強調する。
(例文①～⑦)
- B. 文末は否定も肯定もある。(例文③④)
- C. 助詞「が」「を」「は」といっしょに使うときはこれらの前につく。「が」「を」は省略すること
ができる。(例文⑤⑥⑦)

先生へ

「だけ」は助詞。

「だけ」を助詞「に」「で」「と」「へ」といっしょに使うとき助詞の前に置いても後に置いても
よい。

- 例 1 先生^{せんせい}は^に日本^{ほんご}語^ごで^{はな}だけ^{はな}話^{はな}し^{はな}ま^{はな}す。
- 先生^{せんせい}は^に日本^{ほんご}語^ごだ^{はな}け^{はな}で^{はな}話^{はな}し^{はな}ま^{はな}す。
- 2 これは^{みせ}あ^{みせ}の^{みせ}店^{みせ}に^{みせ}だ^{みせ}け^{みせ}あ^{みせ}り^{みせ}ま^{みせ}す。
- これは^{みせ}あ^{みせ}の^{みせ}店^{みせ}だ^{みせ}け^{みせ}に^{みせ}あ^{みせ}り^{みせ}ま^{みせ}す。

【関連項目】

文-43 しか...否定

【「れんしゅう編」の練習】

8-5 アルバイト

助 - 25 から(理由)

N1 は / が N3 です A1 です AN1 です V1 ます S1	から	N2 は N4 です A2 です AN2 です V2 ます S2
-----------------------------------------------------	----	-------------------------------------------------

基 本

例 文

- ① あしたは日曜日にちようびですから、学校がっこうへ行き
ません。
- ② きのは祭日さいじつでしたから、学校がっこうは休み
でした。
- ③ わたしは、風邪かぜですから、泳ぎおよません。
- ④ もう大丈夫だいじょうぶですから、心配しんぱいしないでくだ
さい。
- ⑤ 薬くすりを飲のみましたから、もう大丈夫だいじょうぶです。
- ⑥ 医者いしやは夜よるも仕事しごとがありますから、大変たいへんです。
- ⑦ A: 雨あめがやみましたから、出でかけましょう。
B: はい。
- ⑧ A: どうしてわたしの電話番号でんわばんごうがわかりまし
たか。
B: 小林こばやしさんきに聞ききましたから。

解 説

- A. 「から」は、「です/ます」の活用形かつようけいで終わるS1とS2をつなぐ。(例文①～⑦)
- B. 「から」は、S1がS2で表あらわされていることりゆうの理由しめであることを示す。(例文①～⑦)
- C. 理由りゆうをたずねるときは、「どうしてS2か」をつかつかう。(例文⑧)
- D. S2で表あらわされることが何なにかわかっている場合は、S2は省略しょうりやくされることがある。(例文⑧)
- E. 「N2は」は文頭ぶんとうに来くることができる。(例文③)

N2 は	N1が N3 です A1 です AN1 です V1 ます	から	N4 です A2 です AN2 です V2 ます
------	------------------------------------------	----	-----------------------------------

先生へ

「から」は助詞。

理由をたずねる質問に答えるとき、「常体形 + からです」と言うこともできる。

例 A: 田中さんもあした来ますか。

B: いいえ、来ません。

A: どうしてですか。

B: 病気だからです。

S1の文末に常体形をとることもできる。

N1とN2が同じ場合は、「N1は/が」は省略される。また、N1とN2が何であるかわかっている場合は、「N1は」「N2は」を省略することがある。

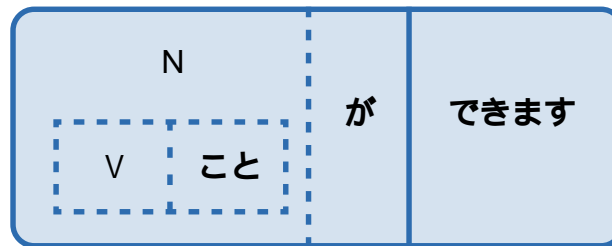
同じように理由を述べるときに使われる「ので」と比べ、「から」は話者の主観的判断にもとづいた理由を示す場合が多い。丁寧にまたは婉曲に理由を述べたいときには、「ので」が使われる。ただし、「ので」は日本語能力試験3級相当の項目。

【関連項目】

- 助-12 から / まで
- 助-27 で (原因 / 理由)
- 助-29 ので
- 文-30 Aくて / ANで / Nで
- 文-31 Vて

【「れんしゅう編」の練習】

- 8-5 アルバイト



じしょけい
V: 辞書形

基 本

例 文

① ^{ねんせい}2年生は^じ5時から^{たいいくかん}体育館を^{つか}使うことが
できます。

② ^{けいよう}きょう、^{バスケットボール}バスケットボールの^{れんしゅう}練習をする
ことができません。

③ A: ^{でんわ}あの電話で^{がいこく}外国に^{でんわ}電話ができますか。
B: はい、できます。

④ ^{なかやま}中山さんは^{200メートル}200メートル^{およ}泳ぐことが
できます。

⑤ わたしは^{かんじ}漢字を^か50書くことができます。

⑥ A: ^{なかやま}中山さんは^{くるま}車の^{うんてん}運転ができますか。
B: いいえ、できません。

解 説

A. 「Vこと」は、^{おこな}N1が行うことができる^{どうさ}動作。(例文①②④⑤)

B. Nは「Nする」(^{どうし}する動詞)のNにあたる^{めいし}名詞。(例文③⑥)

C. Nあるいは「Vこと」をするのが^{かのう}可能であることを^{あらわ}を表す。(例文①②③)

D. Nあるいは「Vこと」をする^{のうりよく}能力があることを^{あらわ}を表す。(例文④⑤⑥)

E. N、「Vこと」が何であるかわかっている場合は、「Nが」「Vことが」を^{しょうりやく}省略することがある。
(例文③⑥)

先生へ

「できます」は「します」の可能形。

つか どうし いし どうし かぎ いか にほん ごのうりよくし けん きゅうそうとう む いし どうし つか
使える動詞は意志動詞に限られる。以下の日本語能力試験4級相当の無意志動詞は使えない。

わかる、要る、疲れる、生まれる、曇る、咲く、降る、始まる、閉まる、晴れる、かかる

「する動詞」以外にも「Nができます」とすることができる場合がある。日本語能力試験4級では次のようなものがある。

テニスをします テニスができます

にほんご はな にほんご
日本語を話します 日本語ができます

「Vことができます」は、日本語能力試験3級相当の項目。

「友だちができます」「ビルができます」とは用法が違うので注意すること。

つか どうし せいげん れんしゅう ちゅうい
使える動詞に制限があるので、練習のとき注意すること。

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 文-25 Vこと
- 文-52 V(られ)ます(可能)

【「れんしゅう編」の練習】

- 9-6 スポーツテスト
- 9-7 健康チェック

文-27

NがA / ANです



基 本

例 文

- ① た なか 田中さんは かみ 髪が なが 長いです。
- ② た なか 田中さんは せ 背が たか 高いです。
- ③ なか やま 中山さんは ちから 力が つよ 強いです。
- ④ うち の ねこ 猫は め 目がきれいです。
- ⑤ わたしは きのう きのうからの いた どが痛いです。
- ⑥ A: あたま 頭が いた 痛いですか。
B: いいえ、いた 痛くないです。
- ⑦ A: た なか 田中さん、だいじょうぶ 大丈夫ですか。
B: ちょっと きぶん 気分が わる 悪いです。

解 説

- A. 「N2がA / ANです」は、N1についての せつめい 説明。
- B. ひと 人や い 生きものの せいしつ 性質や とくちょう 特徴を述べるときに使う。(例文①②③④)
- C. ひと 人や い 生きものの しょうじょう 症状や けんこうじょうたい 健康状態を述べるときに使う。(例文⑤⑥⑦)
- D. N1が なん 何であるかわかっている場合は、「N1は」を しょうりやく 省略することがある。(例文⑥⑦)

例 文

- ⑧ この町は道が狭いです。
- ⑨ この絵は色がきれいです。
- ⑩ このカメラは使い方が簡単です。
- ⑪ あの店はCDが安いです。
- ⑫ 田中さんはバスケットボールがじょうずです。
- ⑬ わたしは歌がへたです。
- ⑭ わたしはピアノが得意です。

解 説

- E. もの、場所などの性質や状態、特徴を述べる時に使う。(例文⑧⑨⑩⑪)
- F. じょうず、へた、得意を表現する時に使う。ただし、「じょうず」は話し手自身のことに関して使えない。「じょうず」の代わりに「得意」を使う。(例文⑫⑬⑭)

先生へ

性質や特徴、症状や健康状態を述べる場合、N2は、N1の一部分または一要素。例えば、体の一部分、特徴的な要素など。

「N1はN2がA / ANです」と「N1のN2はA / ANです」の違い。

	「N1はN2がA / ANです」	「N1のN2はA / ANです」
主題	N1	N1のN2
用法	N1について詳しく述べる	N2の特徴を述べる

例 田中さんは髪が長いです。

田中さんの髪は長いです。

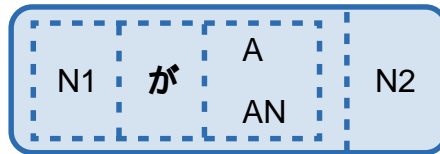
N1が人の場合は「きたない」「暗い」などマイナスの意味を持つ形容詞の使い方に気をつける。また各国の文化の中で形容詞がどういう意味を持つかにも注意すること。

【関連項目】

- 文-02 Nがすきです
- 文-06 Aいです / ANです

【「れんしゅう編」の練習】

- 9-4 宇宙人
- 9-5 お大事に
- 10-2 この人はだれですか



基 本

例 文

- ① 田中^{たなか}さんは髪^{かみ}が長い^{なが}女^{おんな}の人^{ひと}です。
- ② クロ^{さかな}は魚^{いぬ}が好きな^{いぬ}犬^{いぬ}です。
- ③ あの背^せが高い^{たか}人^{ひと}がわたしの先生^{せんせい}です。
- ④ スキー^{スキー}がじょうずな^{ひと}人^{ひと}とスキー^{スキー}に行きた^いい^いです。
- ⑤ 誕生日^{たんじょうび}に写真^{しゃしん}がきれいな^{ほん}本^{ほん}をもらいま^{もら}した^{した}。

解 説

- A. 「N1がA / AN」は、N2を修飾する。(例文①②③④⑤)
- B. 名詞として文の構成要素になる。(例文①②③④⑤)

先生へ

「N1が」の「が」の代わりに、「の」が使われることがある。

例 田中^{たなか}さんは髪^{かみ}の長い^{なが}女^{おんな}の人^{ひと}です。

「A / AN + N」では、A、ANが否定や過去の常体形になることがある。ただしここではいっしょに練習しないほうがよい。

例 1 あまり辛^{から}くない食^たべ物^{もの}がありますか。

2 日本^{にほん}でいちばんおもしろ^{なん}かったことは何^{なん}ですか。

【関連項目】

- 助-05 の
- 文-06 Aいです / ANです
- 文-07 Aい / ANなN
- 文-27 NがA / ANです
- 文-37 V + N

【「れんしゅう編」の練習】

- 9-7 健康チェック
- 10-2 この人はだれですか

Vないで ください

Vないで : Vない形+で

基 本

例 文

- ① コーヒーを飲^のまないでください。
- ② きょうはお風呂に入^{ふる}らないでください。
- ③ 試験^{しけん}のとき辞書^{じしょ}を見^みないでください。
- ④ A: 宿題^{しゅくだい}を忘^{わす}れないでください。

B: はい、わかりました。

解 説

- A. 「Vないで」は、「飲^のまない + で 飲^のまないで」のように「Vない形^{けい}」に「で^{かたち}」をつけた形。
- B. 何か^{なに}をしないように指示^{しじ}するとき^{つか}に使う。(例文①②③④)

先生へ

指示^{しじ}の場合は、聞き手^{ばあい}が話し手^きの指示^てに従^{はな}うのが当然^での人間関係^{しじ}において使^{したが}われる。例えば「医者^{とうぜん}と患者^{にんげんかんけい}」「教室^{つか}での教師^{たと}と生徒^{いしゃ}」「受付^{かんじゃ}と客^{きょうしつ}」。

相手^{あいて}への強い要求^{つよ}を表^{ようきゅう}す。この場合^{あらわ}には、上^{ばあい}のような人間関係^{うえ}の制限^{にんげんかんけい}はない。

例 コンピュータ^{つか}を使^{つか}っていますから、スイッチ^けを消^けさないでください。

ロールプレイ^{れんしゅう}などの練習^{れんしゅう}のとき^{にんげんかんけい}には、人間関係^{ちゅうい}に注意^{ちゅうい}すること。

【関連項目】

- 活-04 Vない形
- 文-06 Aいです / ANです

【「れんしゅう編」の練習】

- 9-2 ペンを使^{つか}わないでください
- 9-5 お大事^{だいじ}に

活-04

Vない形

Vます形 けい Vない形 けい

<グループ1>

います	わない	かいます	かわない
きます	かない	かきます	かかない
ぎます	がない	およぎます	およがない
します	さない	はなします	はなさない
ちます	たない	まちます	またない
にます	なない	しにます	しなない
びます	ばない	あそびます	あそばない
みます	まない	よみます	よまない
ります	らない	かえります	かえらない

<グループ2>

ます	ない	おきます	おきない
		たべます	たべない

<グループ3>

します	しない
きます	こない

V辞書形 じしょけい Vない形 けい

<グループ1>

う	わない	かう	かわない
く	かない	かく	かかない
ぐ	がない	およぐ	およがない
す	さない	はなす	はなさない
つ	たない	まつ	またない
ぬ	なない	しぬ	しなない
ぶ	ばない	あそぶ	あそばない
む	まない	よむ	よまない
る	らない	かえる	かえらない

<グループ2>

る	ない	おきる	おきない
		たべる	たべない

<グループ3>

する	しない
くる	こない

先生へ

「Vない形」は動詞の活用形の一つ。

「Vない形」は次のように使われる。

- 1 辛い食べ物を食べないでください。
- 2 わからない人は先生に聞いてください。
- 3 山田さんはきょう来ないと思います。
- 4 教室を使わないとき、電気を消してください。
- 5 あしたは雨が降らないでしょう。

文末に置かれ、常体として使われる。

1グループの「ます形」が「います」、V辞書形が「う」となる動詞の活用は、注意すること。

例 買います / 買う 買わない（「かかない」とならないようにする）

グループ1動詞とグループ2動詞の“-imasu / iru”動詞は、形から区別しにくい。グループ2の動詞を覚えさせると活用で混乱しない。

日本語能力試験4級相当の動詞: いる、見る、着る、起きる、降りる、借りる、浴びる

【関連項目】

活-05 常体形

【「れんしゅう編」の練習】

9-1 「ない形」クイズ

9-5 お大事に

(1)

A1 くて	A2 い	N3
AN1 で	AN2 な	
N1 で	N2 の	

(2)

A1 くて	A2 い	です
AN1 で	AN2	
N3 で	N4	

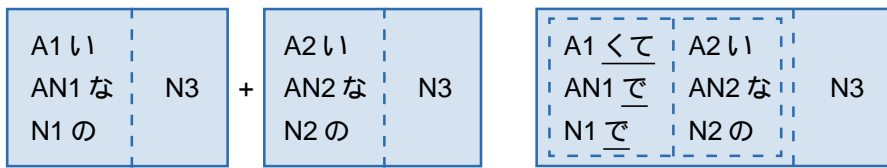
基 本

例 文

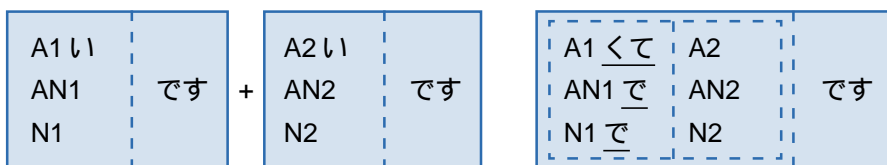
- (1) ① ^{おお}大きくて^{くろ}黒いかばんはわたしのです。 (2) ⑦ ^{はな}この花は^{ちい}小さくて^{あか}赤いです。
- ② ^{ちい}きのう、^{べんり}小さくて^か便利なカメラを買いました。 ⑧ A: ^{いい}いいめがねですね。
B: ^{かる}ええ、^{じょうぶ}軽くて丈夫ですよ。
- ③ ^{しんせつ}わたしは親切で^{ひと}やさしい人と^{けっこん}結婚したいです。 ⑨ ^{きむら}木村さんは^{たい}スポーツが^{だい}大きめで、^{たい}テニスが^{じょうず}じょうずです。
- ④ ^{げんき}にぎやかで^{せんせい}元気な先生は^{やま}山田^{せんせい}先生です。 ⑩ ^{かわかみ}川上さんのお父さんは^{とう}医者で、^{いしや}大学の^{だいがく}教授^{きょうじゆ}です。
- ⑤ ^{いしや}こちらは^{とうきやう}医者で^{だいがく}東京大学の^{きょうじゆ}教授の^{かわかみ}川上さんです。 ⑪ ^{たなか}田中さんは^せ背が^{たか}高く、^{こばやし}小林さんは^せ背が^{ひく}低いです。
- ⑥ A: ^{さくら}さくらマンションは^{たてももの}どの建物ですか。 ⑫ ^{きむら}木村さんは^{たい}テニスが^{じょうず}じょうずで、^{こばやし}小林さんは^{たい}サッカーが^{じょうず}じょうずです。
- B: ^{かいだ}その^{ちやいろ}5階^{たてももの}建てで^{ちやいろ}茶色い建物です。 ⑬ ^{たなか}田中さんのお父さんは^{とう}弁護士で、^{べんごし}川上さんのお父さんは^{だいがく}大学の^{きょうじゆ}教授です。

解説

A. 二つ以上の名詞、形容詞をつないで、Nを修飾することができる。(例文①～⑥)



B. 「Aくて / ANで / Nで」で、二つ以上の文をつなぐことができる。(例文⑦～⑬)



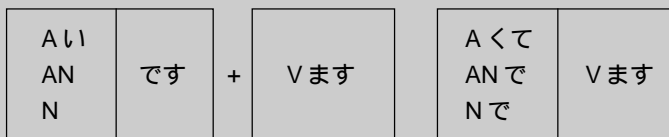
先生へ

マイナス評価のことばとプラス評価のことばはつなげられない。つなげるときは「が(接続)」を使う。

例 この靴下は、丈夫で安いです。

この靴下は、丈夫ですが、高いです。

つぎ
次のようなつながりもある。



例 田中さんは、目が大きくてめがねをかけています。

「Aくて / ANで / Nで」が、後に続く「Aい / AN / N / V」で表されることの原因または理由をあらわす場合もある。

例1 この本は漢字が多くて難しいです。

2 熱が高くて、学校へ行くことができませんでした。

【関連項目】

文-31 VてV

【「れんしゅう編」の練習】

- 10-1 赤くて丸いものは？
- 10-2 この人はだれですか
- 10-5 手紙をください

V1て

V2ます

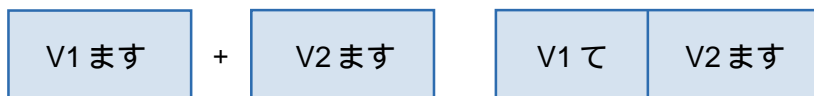
基 本

例 文

- ① あしたわたしは^{えき} 駅で^{とも} 友だちに^あ 会って、
いっしょにコンサート^い に行きます。
- ② A: あしたの^{よてい} 予定を^{おし} 教えてください。
B: 朝^{あさ} 7時に^じ 起きて、^お 食堂で^{あさ} 朝ごはんを
食^た べて、^じ 8時から^{れんしゅう} 練習します。
- ③ わたしは^{にほん} 日本へ^い 行って、^み すもうを見たい
です。
- ④ (折り紙^お の^{がみ} 折り方^お を^{かた} 教えて^{おし} いる)
二つに^{ふた} 折^お って、^き はさみで^き 切^き ってください。
- ⑤ あそこ^{すわ} に^{べんとう} 座^た って、^た お弁当^た を^た 食べ^た ましょう。
- ⑥ わたしは^{まいにち} 毎日^{あち} 歩^{あち} いて^い 学校^い へ行^い きます。
- ⑦ テープ^き を^き 聞^き いて、^{にほんご} 日本語^{べんきょう} を^{べんきょう} 勉^{べんきょう} 強^{べんきょう} します。

解 説

A. 「Vて」で二つ以上の文をつなぐことができる。(例文①～⑦)



B. Vの形(「ます」「ました」「ています」「ましょう」「たいです」「てください」など)に関係なく、「Vて形」にすることができる。(例文①～⑦)

C. 順に行われる動作を述べるときに使う。このとき、2つの動作をする人は同一。(例文①②③④)

D. 動作が行われる状態を述べるときに使う。このとき、2つの動作をする人は同一。(例文⑤)

E. 動作が行われるときの方法や手段を表す。このとき、2つの動作をする人は同一。(例文⑥⑦)

例 文

⑨ 夏休みに中山さんは海でダイビングをして、山本さんは山に登りました。

⑩ 田中さんは東京に住んでいて、山本さんは大阪に住んでいます。

⑪ 雨が降って、野球ができませんでした。

⑫ 大きい台風が来て、学校が休みになりました。

解 説

F. 二人以上の人の動作、状態、二つ以上のできごとを並列して述べるときに使う。(例文⑨⑩)

G. 「V1て、V2ます」で、「V1て」が原因、「V2ます」が結果であることを表すことができる。

(例文⑪⑫)

先生へ

「Vて」と「Vてから」の違い。

	Vて	Vてから
順次動作 動作の並列		×
連続できる文の数	複数	2文まで
前後関係の明確さ		

例 田中さんが来て、木村さんが帰りました。

田中さんが来てから、木村さんが帰りました。

原因と結果の関係を表す「Vて」と「から(理由)」の違い。

	Vて	Vから
因果関係の明確さ		
客観性		

例 バスが混んでいて、乗ることができません。

バスが混んでいるから、乗りたくないです。

文と文をつなぐときに「と」を使わないように注意すること。

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-30 Aくて/ANで/Nで
- 文-33 Vてから
- 文-32 Vないで

【「れんしゅう編」の練習】

- 10-4 日曜日の計画
- 10-7 どうやってしますか

V1 ないで

V2 ます

V1 ないで : V ない形 + で

基 本

例 文

- ① 田中さんは学校へ行かないで、うちにい
ました。
- ② きょうは電車に乗らないで、バスで行き
ましょう。
- ③ お弁当を持たないで学校へ行きました。
- ④ 本を見ないで教えてください。

解 説

- A. 「Vないで」は、「行かない + で 行かないで」のように動詞の「Vない形」に「で」をつけ
た形。
- B. 「V1ないで」は、動作 V1 が行われずに、代わりに V2 が行われることを表す。(例文①②)
- C. 「V1ないで」は、V2の動作が行われるときの状態を表す。(例文③④)

先生へ

「Vないで」は、「Vない形」の「て形」。

「動作が行われる状態」を示しているか否かは、V1とV2の相互の意味の関係による。

「田中さんが行かないで、わたしが行きます」のようにV1とV2の主体の違う形はここでは扱わない。

【関連項目】

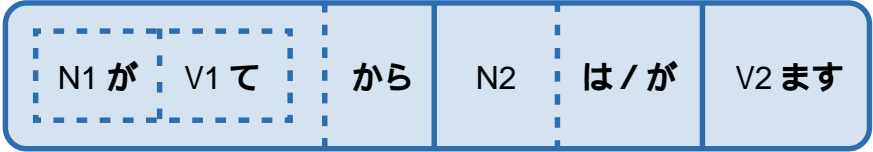
活-04 Vない形
文-31 VてV

【「れんしゅう編」の練習】

10-7 どうやってしますか

文-33

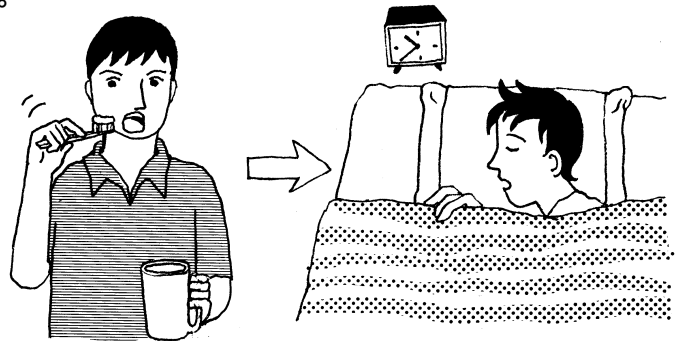
Vてから



基 本

例 文

- ① ^{がっこう} ^お 学校が終わってから、^{さとう} 佐藤さんはアルバイトをしています。
- ② わたしたちは、^{あめ} 雨がやんでから、^{しあい} 試合をしました。
- ③ ^{こばやし} 小林さんが来てから、^き ^{しょくじ} ^{はじ} 食事を始めましょう。
- ④ ^{たなか} 田中さんがスピーチをしてから、^{なかやま} 中山さんがスピーチをしました。
- ⑤ ^{たなか} 田中さんは、^は 歯をみがいてから、^ね 寝ます。
- ⑥ ^{やまもと} 山本さんは、^{ちず} 地図をかいてから^{せつめい} 説明しました。



例文⑤

解 説

- A. V1がV2より先の動作あるいはできごと。(例文①～⑥)
- B. 二つの動作やできごとの前後関係をはっきりと言うときに使う。(例文①～⑥)
- C. 「N2は」は、文頭に来ることができる。(例文②⑤⑥)



先生へ

「Vてから」節内の主語 N1 は、常に「が」をとる。

「Vてから」と「Vて」の違い。

	Vてから	Vて
順次動作 連続できる文の数 前後関係の明確さ	2文まで	複数

例 田中さんが歌を歌ってから、山本さんがピアノを弾きました。

田中さんが歌を歌って、山本さんがピアノを弾きました。

N1とN2が同じ場合は、「NはV1てからV2ます」となり、その方がやさしいので、先に提示して練習するとよい。

【関連項目】

活-01 Vて形
文-31 VてV
文-36 あとで
文-57 たら

【「れんしゅう編」の練習】

10-3 どっちが先
10-4 日曜日の計画
10-5 手紙をください
10-6 わたしの友だち

先生へ

直接的、生理的欲求などの場合、対象を示す「を」は「が」に代わることがある。

例1 (暑い日に、走ったあとで)

水が飲みたいです。

2 A: 何が食べたいですか。

B: そうですね。サンドイッチが食べたいです。

「Vたいんですが」を使って、婉曲的に要望を表したり、許可を求めたりすることができる。

例1 A: すみません、山田先生と話したいんですが。

B: はい、ちょっと待ってください。

2 A: 先生、お手洗いにいきたいんですが。

B: はい、いいですよ。

あまり親しくない相手や敬意を表すべき相手に対して、要望を聞くと、「～たいですか」は使えない。

願望の対象がものときは、「Nがほしいです」を使う。

「Vたいです」は、2人称や3人称の人の願望を表現することはできない、また、直接的な欲求表現で、相手や状況によっては使えないので、練習のとき注意すること。

【関連項目】

文-09 Nがほしいです

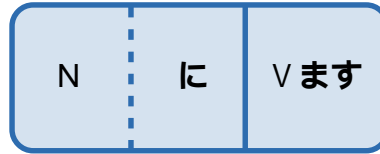
【「れんしゅう編」の練習】

10-5 手紙をください

10-8 わたしの将来

助 - 26

に(対象)



N : V で表す動作の向けられる人

基 本

例 文

- ① やま だ せんせい た なか ほん か 山田先生は田中さんに本を貸しました。
 ② き むら と も か ぞく しゃしん み 木村さんは友だちに家族の写真を見せ
 ました。

- ③ せんせい わた A: 先生にこれを渡してください。
 B: はい。
 ④ た なか でん わ A: だれが田中さんに電話をかけますか。
 B: わたしがかけます。

解 説

A. 「に」は、Nが動作・行為の向けられる対象であることを示す。(例文①②③④)

先生へ

「に」は助詞。

「に(対象)」といっしょに使う日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

う でん わ 売る、でん わ 電話をかける、あ おし 電話をする、かえ わた はな み 会う、教える、返す、渡す、話す、か 見せる、たの てがみ だ 頼む、てがみ か 手紙を出す、い 手紙を書く、言う

「会う」は、相手を示すとき「に」と「と」どちらも使える。

例 えき と も あ 駅で友だちに会いました。(「会う」相手がだれかを示す。)

えき と も あ 駅で友だちと会いました。(「会う」という行為をいっしょにする相手を示す。)

【関連項目】

- 助-02 に(時)
- 助-07 に(場所)
- 助-15 に(目的)
- 助-18 に(基準)
- 助-21 に(帰着点)

【「れんしゅう編」の練習】

- 10-5 手紙をください

文-35 まえに

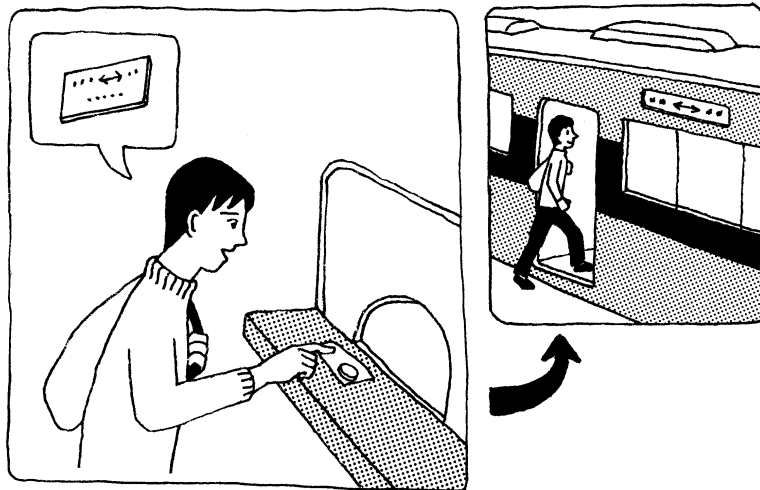
N1が	V1(辞書形)	まえに	N2	は/が	V2ます
N3	の				

N3: 動作と結びつく名詞やできごとを表す名詞

基本

例文

- ① ^{たなか}田中さんは^{まいにちね}毎日^{にっき}寝る^かまえに、日記を書きます。
- ② ^{せんせい}先生の^{へや}部屋に^{はい}入る^{がくせい}まえに、学生は^{がくせい}ノックをします。
- ③ ^{でんしゃ}電車に^の乗る^{おとこ}まえに、男の人は^{ひと}切符^{きっぷ}を^か買いました。



例文③

- ④ わたしは^いプールへ^{ひる}行く^たまえに、昼ごはんを^た食べました。
- ⑤ わたしは^{あめ}雨が^ふ降る^{かえ}まえに、うちへ^{かえ}帰りました。
- ⑥ ^{やまもと}山本さんが^{りゅうがく}アメリカへ^{なかやま}留学する^{りゅうがく}まえに、中山さんは^{りゅうがく}ドイツへ^{りゅうがく}留学しました。
- ⑦ ^{りょこう}旅行の^かまえに、スーツケースを^か買いました。
- ⑧ ^{あさ}いつも朝ごはんの^{あさ}まえに、ジョギングを^{あさ}します。
- ⑨ ^{じゅぎょう}授業の^{しゅくだい}まえに、宿題を^だ出しました。

解説

- A. 「まえに」は、V1、N3あらわで表されることよりV2あらわで表されることの方が先ほう さきであることを示す。(例文①～⑨)
- B. 「まえに」節の主語N1せつ しゅごは、「が」をとる。(例文⑤⑥)
- C. V2の時制じせいに関係なく、V1は辞書形じしょけい。
- D. 「N2」は文頭ぶんとうに来ることができる。(例文①④⑤)

N2	は	N1が V1(辞書形)	まえに	V2ます
		N3 の		

先生へ

「まえに」節の主語は、「の」をとることもある。

例 雨あめののふるまえにうちに着つきました。

N3にあたる日本語能力試験4級相当の名詞は以下の通り。

朝あさごはん、昼ひるごはん、晩ばんごはん、スポーツ名、買めいい物、勉べん強、旅りょ行、散さん歩、練れん習、電でん話、料りょう理、洗せん濯、
掃そう除、仕し事、授じゅ業、パぱーティー、試し験、試し合、誕たん生日

「Vないまえに」は使えない。「Vないうちに」となる。

N1とN2が同じ場合は、「N1が」は省略しょうりゃくされる。また、N1、N2が何なんであるかわかっている場合は、「N1が」「N2は」を省略しょうりゃくすることがある。

【関連項目】

文-36 あとで
文-40 とき
活-03 V辞書形

【「れんしゅう編」の練習】

11-1 どんな順番？

文-36 あとで

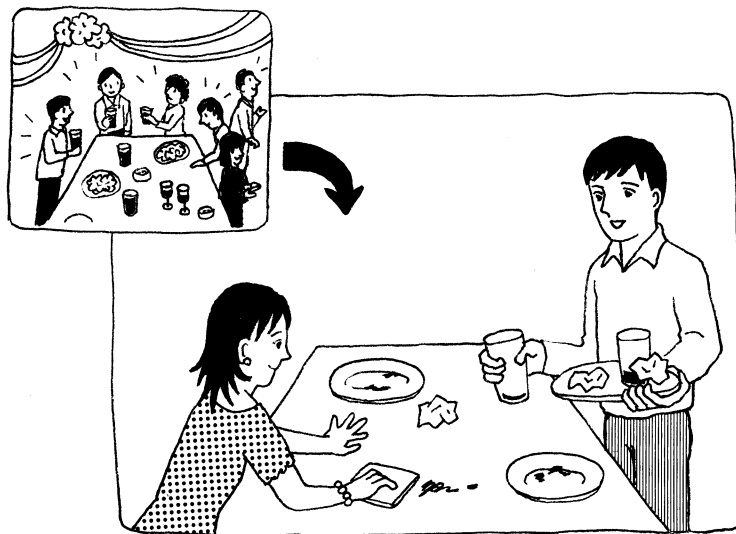
N1が	V1た	あとで	N2	は/が	V2ます
N3	の				

N3: 動作と結びつく名詞やできごとを表す名詞

基本

例文

- ① わたしはアルバイトが^お終わったあとで、映画を見^{えいが み い}に行きます。
- ② パーティーが^お終わったあとで、わたしたちは部屋^{へや}をかたづけました。



例文②

- ③ 教科書^{きょうかしょ}を読^よんだあとで、生徒^{せいと}は答^{こた}えを書^かきました。
- ④ 中山^{なかやま}さんが質^{しつもん}問したあとで、田中^{たなか}さんが同^{おな}じ質^{しつもん}問をしました。
- ⑤ A: いつ昼^{ひる}ごはんを食^たべますか。
B: 博物^{はくぶつかん}館^みを見^みたあとで、食^たべましょ。
- ⑥ A: チェック^ちインしたあとで、出^でかけてもいいですか。
B: いいですよ。
- ⑦ 授業^{じゅぎょう}のあとで、掃^{そう}除^じをします。

解説

- A. 「あとで」は、V1、N3あらわで表されることよりV2あらわで表されることの方が後ほうであることを示す。(例文①～⑦)
- B. 「あとで」節の主語N1せつ しゅごは、「が」をとる。(例文①②④)
- C. V2の時制じせいに関係なく、V1は「た形」かんけいなく、V1は「た形」。
- D. 「N2は」は文頭ぶんとうに来ることができる。(例文①)

N2	は	N1が	V1た	あとで	V2ます
		N3	の		

先生へ

N1は、「の」をとることもある。

例 パーティーの終わったあとで、部屋をかたづけました。

N3にあたる日本語能力試験4級相当の名詞は以下の通り。

朝ごはん、昼ごはん、晩ごはん、スポーツ名、買い物、勉強、旅行、散歩、練習、電話、料理、洗濯、掃除、仕事、授業、パーティー、試験、試合、誕生日

N1とN2が同じ場合は、「N1が」は省略される。また、N1、N2が何であるかわかっている場合は、「N1が」「N2は」を省略することができる。

「Vたあとで」と「Vてから」の違い。

	Vたあとで	Vてから
はっきりした時間の前後関係 手順の表示(どういう順にするか)	×	
時の表示(いつするか)		×

例1 スリッパをぬいしてから和室に入ります。()

スリッパをぬいだあとで和室に入ります。(×)

2 先生に相談してから、来てください。()

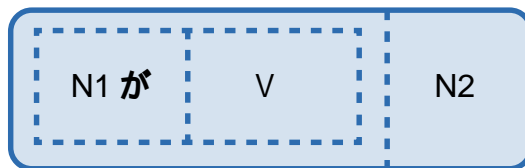
先生に相談をしたあとで、来てください。()

【関連項目】

- 文-33 Vてから
- 文-35 まえに
- 文-40 とき
- 活-02 Vた形

【「れんしゅう編」の練習】

- 11-1 どんな順番？



じょうたいけい
V : 常体形

基 本

例 文

- ① これはあしたの授業じゅぎょうで使うつか本ほんです。
- ② A: 田中たなかさんはどの人ひとですか。
B: 田中たなかさんはあそこあそこに座すわっている女おんなの人ひとです。
- ③ あれはわたしが通かよった高こう校こうです。
- ④ これはわたしがかいた絵えです。
- ⑤ A: この作文さくぶんを書かいた人ひとはだれですか。名前なまえがありません。
B: すみません、わたしです。
- ⑥ 母ははが作つくる料りょう理りはとてもおいしいいです。
- ⑦ きみのう見たみたドどラらマはおもしろしろろかかったたです。
- ⑧ ききのう図と書し館かんで借かりた本ほんは、とてもおもしろしいです。
- ⑨ A: 田中たなかさんが住すんでいる町まちはどどんな町まちですか。
B: にぎやぎかな町まちです。
- ⑩ A: × 美術館びじゅつかんへ行いったことことがない人ひとは、手てをあげあげあてあてください。
B: (手てをあげあてあ) はいい。
- ⑪ わたしは、ビートルズつくが作きった曲きょくがすききです。
- ⑫ A: すみませんが、そこそこにある本ほんを取とってとってください。
B: はい、どうぞ。
- ⑬ 答こたええを書かいた紙かみを出だしてしててください。
- ⑭ 先週せんしゅう海うみへ行いった日ひは暑あつかかったたです。
- ⑮ 先月せんげつ卒つ業ぎょうパパーーティーをしたレレスストトランンは、ここここです。

- A. 「N1がV」は、N2を修飾する。(例文①～⑮)
 B. N1は、「が」をとる。(例文③④⑥⑨⑪)
 C. 「V + N」は、名詞として文の構成要素になる。(例文①～⑮)

これは、あしたの授業で使う本です。
 この作文を書いた人は、田中さんです。
 そこにある本を取ってください。
 きのう行ったレストランで山本さんに会いました。

先生へ

「N1がV」は、連体修飾節。
 N1は、「が」の代わりに「の」をとることがある。ただし、理解があいまいになるような場合には、「の」を使わない。

例1 きのうわたしが行った店
 きのうわたしの行った店

2 お父さんが病院に勤めている山本さん(病院に勤めているのはお父さん)
 お父さんの病院に勤めている山本さん(病院に勤めているのは山本さん)

連体修飾節では、対比の「は」は使うことができる。

例 コーヒーは飲んで、紅茶は飲まない人
 連体修飾節のVは、文全体の時制に影響を受けない。

連体修飾節では、結果の継続の「Vている」と完了の「Vた」は、置き換えることができる。

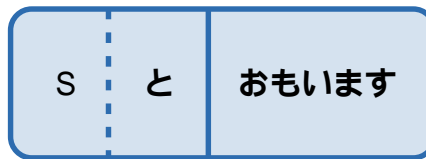
例 赤いセーターを着ている先生
 赤いセーターを着た先生

【関連項目】

- 活-05 常体形
 助-05 の
 文-07 Aい / ANなN
 文-28 NがA / AN + N

【「れんしゅう編」の練習】

- 11-2 何ですか
 11-3 インタビュー



はなし ないよう かんが
S：話の内容や考え
ぶんまつ じょうたいけい
Sの文末：常体形

基 本

例 文

- ① わたしはあした^{あめ}雨がふると^{おも}思います。
- ② 先生^{せんせい}はグランドに^{おも}いると^{おも}思います。
- ③ A: 田中^{たなか}さんもきのうの^いパーティーに^{おも}行ったと^{おも}思いますか。
B: いいえ、行^いかなか^{おも}ったと^{おも}思います。
- ④ 歌舞伎^{かぶき}は^{おも}おもしろいと^{おも}思います。
- ⑤ 田中^{たなか}さんの^{いぬ}犬は^{おも}とても^{おも}かわいいと^{おも}思います。
- ⑥ A: あした^{さむ}も^{おも}寒いと^{おも}思いますか。
B: ええ、た^{おも}ぶん。
- ⑦ A: き^いのう^{りょうり}行^{おも}った^{おも}レストランの^{おも}料理は^{おも}おいしいと^{おも}思いますか。
B: いいえ、あ^{おも}まり^{おも}おいしく^{おも}ない^{おも}と^{おも}思います。
- ⑧ ローマ^{じ べんり}字^{おも}は^{おも}便利だと^{おも}思います。
- ⑨ 昔^{むかし}、こ^{おも}こは^{おも}にぎ^{おも}やか^{おも}だ^{おも}ったと^{おも}思います。
- ⑩ 田中^{たなか}さんのお^{とう}父^{さい}さん^{おも}は40^{おも}歳^{おも}ぐ^{おも}ら^{おも}いと^{おも}思います。
- ⑪ A: こ^{おも}れは^{おも}だ^{おも}れ^{おも}のか^{おも}ばん^{おも}で^{おも}すか。
B: 田中^{たなか}さん^{おも}のか^{おも}ばん^{おも}だ^{おも}と^{おも}思います。
- ⑫ A: こ^{なん}れは^{おも}何^{おも}だ^{おも}と^{おも}思いますか。
B: さあ、わ^{おも}か^{おも}り^{おも}ま^{おも}せ^{おも}ん。

解説

- A. 話し手の感想、意見を言うときに使う。(例文④⑤⑦⑧)
- B. 話し手の推量、判断を述べるときに使う。(例文①②③⑥⑨⑩⑪⑫)
- C. 「Sとおもいますか」で、聞き手の感想、意見、推量、判断をたずねる。(例文⑫)

先生へ

「と」は助詞。「と(引用)」(p.208)参照。

「とおもいます」は、日本語能力試験3級相当の項目。

「～とおもいます」の否定形は「～ないとおもいます」と「～とおもいません」の二つの形があるが、よく使う「～ないとおもいます」だけを練習した方がよい。

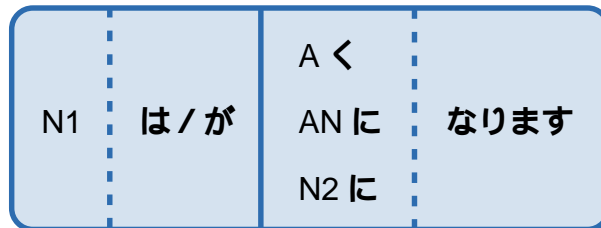
「とおもいます」は、二人称や三人称の人の感想や意見を表すことはできないので、練習のとき注意すること。

【関連項目】

- 活-05 常体形
 文-42 でしょう
 文-67 V(よ)うとおもいます
 助-30 と(引用)

【「れんしゅう編」の練習】

- 11-4 どう思いますか
 11-5 昔のまち・今のまち・将来のまち
 11-6 どうなるとおもいますか



N1: 変化するもの

基本

例文

- ① 木村さんは、5センチ背が高くなりました。
- ② 去年植えた桜の木が大きくなりました。
- ③ 冬は、朝6時半ごろ明るくなります。
- ④ 中山さんはいつか有名になると思います。
- ⑤ 掃除をして、部屋がきれいになりました。
- ⑥ 田中さんは、来年の4月に3年生になります。
- ⑦ わたしは医者になりたいです。

解説

- A. 「Aく / ANに / Nに」は、N1の変化した結果の状態を表す。(例文① ~ ⑦)
- B. 状態の変化を表すときに使う。(例文① ~ ⑦)

先生へ

「Aく / ANに / Nになります」では、変化が起こった結果が重視され、変化をもたらす行為が重視される。「Aく / ANに / Nにします」と区別される。

「なりました」は、変化が起こった結果、話している時点でもその状態が続いていることを暗示することがある。

例 うちの近くにコンビニができて、便利になりました。

【関連項目】

- 文-18 Aく / ANにVます
- 文-59 Aく / ANに / Nにします
- 文-73 Vこと / Nになります
- 文-79 Vようになります

【「れんしゅう編」の練習】

- 11-5 昔のまち・今のまち・将来のまち
- 11-7 わたしの国の一年

じょうたいけい
常体形のまとめ

めいし 名詞	とうきょう 東京だ とうきょう 東京だった	とうきょう 東京ではない とうきょう 東京ではなかった
けいようし イ形容詞	あたら 新しい あたら 新しかった	あたら 新しくない あたら 新しくなかった
けいようし ナ形容詞	べんり 便利だ べんり 便利だった	べんり 便利ではない べんり 便利ではなかった
どうし 動詞	う 生まれる う 生まれた	う 生まれない う 生まれなかった

先生へ

じょうたいけい ぶんまつ じょうたい あらわ
常体形が文末にくると常体を表す。

じょうたいけい つぎ つか
常体形は、次のように使われる。

- 例 1 これはきのう買ったテープです。
 2 あの人は日本語の先生だと思ひます。
 3 道がわからないとき、電話で聞いてください。
 4 あしたは雨が降るでしょう。

「です/ます」体のまとめ

名詞	東京です 東京でした	東京ではありません 東京ではありませんでした
イ形容詞	新しいです 新しかったです	新しくないです 新しくなかったです
ナ形容詞	便利です 便利でした	便利ではありません 便利ではありませんでした
動詞	生まれます 生まれました	生まれません 生まれませんでした

【関連項目】

- 活-02 V 形
- 活-03 V 辞書形
- 活-04 V ない形

【「れんしゅう編」の練習】

- 11-4 どう思いますか
- 11-5 昔のまち・今のまち・将来のまち
- 11-6 どうなると思ひますか

文-40

とき

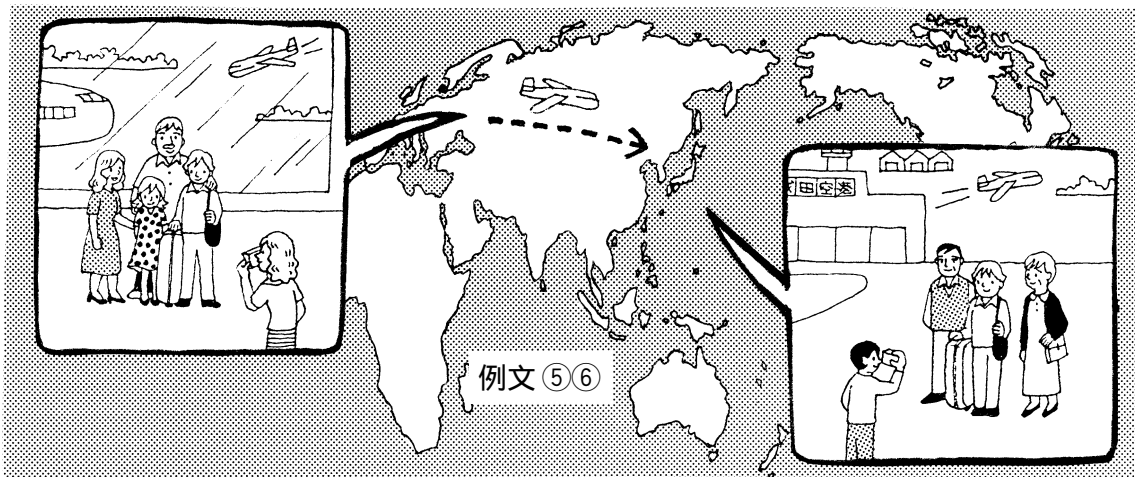
N1 が	V1(常体形)	とき	N2 は/が	V2 ます
	A1 い			A2 です
	AN1 な			AN2 です
	N3 の			N4 です
S1			S2	

N1:「とき」節の主語

基本

例文

- ① 漢字がわからないとき、わたしは辞書で調べます。
- ② わたしが晩ごはんを食べているとき、友だちがうちへ来ました。
- ③ わたしがうちへ帰ったとき、うちにだれもいませんでした。
- ④ 外国へ行くとき、パスポートを持って行きます。
- ⑤ 日本へ来るとき、空港で写真を撮りました。
- ⑥ 日本へ来たとき、空港で写真を撮りました。



- ⑦ 寝るとき、めがねをはずします。
- ⑧ 起きたとき、めがねをかけます。
- ⑨ うれしいとき、わたしは歌を歌います。
- ⑩ お母さんは若いとき看護婦でした。
- ⑪ 暇なとき、よく本を読みます。
- ⑫ リーさんは桜の花がきれいなとき、日本へ来ました。
- ⑬ 小学生のとき、よくお父さんとつりに行きました。
- ⑭ 子供のとき、にんじんがきれいでした。

解説

- A. 「とき」節は、S2で表されることがいつのこともを示す。(例文①～⑭)
- B. 「とき」節の主語N1は、「が」をとる。(例文②③⑫)
- C. S2で時制を表す。(例文①～⑭)
- D. 「とき」節は、V1とV2が表す動作の時間的前後関係を示すことがある。(例文⑤⑥⑦⑧)

「V1(非過去形) + とき、V2」	V1の行動が完了する前に V2の動作をする	= V1前に、V2
「V1(過去形) + とき、V2」	V1の行動が完了した後で V2の動作をする	= V1後で、V2

- E. 「A1 / AN1 / N3の」は、S2の時制に影響されない。(例文⑩⑪⑫⑬⑭)
- F. 「N2は」は、文頭に来ることができる。(例文⑩⑫)

N2	は	N1が	V1(常体形) A1い AN1な N3の	とき	V2ます A2です AN2です N4です
----	---	-----	-------------------------------	----	-------------------------------

先生へ

「とき」節の後に、時を示す助詞「に」をつけることができる。

V1が状態動詞(いる、あるなど)で、V2が過去形のときは、V1は非過去形、過去形のどちらでもよい。

例 部屋へやにいるとき、電話でんわしました。

例 部屋へやにいたとき、電話でんわしました。

V2が過去形のとき、「とき」節で「A / AN / N」の常体形過去を使うこともできる。「とき」節で表されている状態が現在とは違うことを強調したいとき、過去形にする。

例 若いとき、よく泳およぎました。

例 若わかかったとき、よく泳およぎました。

N1がN2と同じ場合は、「N1が」は省略される。また、N1、N2が何であるかわかっている場合、「N1が」「N2は」を省略することができる。

【関連項目】

活-05 常体形
文-35 まえに
文-36 あとで

【「れんしゅう編」の練習】

12-2 それはいつですか
12-3 何と言いますか
12-4 便利なマーク
12-6 クイズ「日本」
12-9 有名人

文-41

Vてあります

N が Vて あります

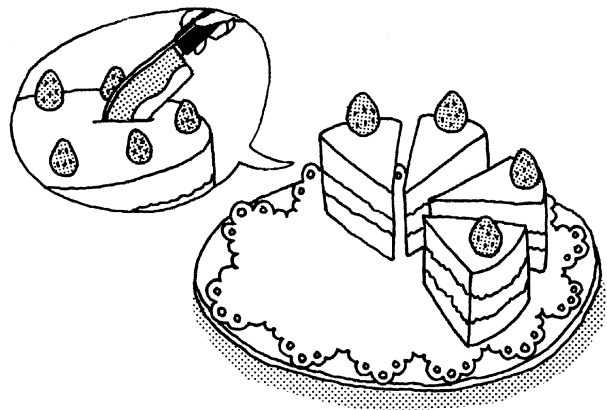
N : Vで表す行為の対象

基 本

例 文

- ① 窓^{まど}が閉^しめてあります。
- ② 電^{でん}気^きが消^けしてありました。
- ③ 駅^{えき}のホ-ムに新^{あたら}しい映^{えい}画^がのポス^はターが貼^はってありました。
- ④ 問^{もん}題^{だい}は15ペ-ジに書^かいてあります。
- ⑤ A: 机^{つくえ}の上^{うえ}に辞^じ書^{しょ}が置^おいてありますか。
B: はい、置^おいてあります。

- ⑥ A: あっ、ケ-キ^きが切^きってありますよ。
B: じゃあ、食^たべましょう。



例文⑥

解 説

- A. 意^い図^と的^{てき}な働^{はたら}きか^けの結^{けつ}果^がのNの状^{じょう}態^{たい}を表^{あらわ}すとき^{つか}に使う。(例文①～⑥)
- B. Vは「を(対象)」をとる動^{どう}詞^し。

先生へ

「Vてあります」は、働きかけをした人が、重要なのではなく、結果の状態のみに注目している。

Nは、「Vてあります」で表される状態の主体でもある。

「Vた」と「Vてある」の違い

	Vた	Vてある
行為の叙述		×
状態の叙述	×	
目的意識の暗示	×	

例 窓が開けてあります。

窓を開けました。

「Vてある」と「Vている」の違い

	Vてある	Vている
動詞の種類	他動詞 + ある	自動詞 + いる
現在の状態の叙述		
意図的な働きかけ		×

例 窓が開けてあります。(だれかが窓を開けた結果、今開いている)

窓が開いています。(現在の窓の状態を述べている)

「Vてあります」は、何か目的のために、あることがすでに完了していることを述べるときに使うことができる。この場合、目的語は「を」をとる。

例1 A: 小林さんに来週の予定を話してありますか。

B: いいえ、まだです。

2 A: 漢字を調べてありますか。

B: はい、調べました。

動詞によっては、「結果の状態を表す」ときと「完了していることを表す」ときがあるので、助詞の使い方に注意すること。

練習のときには、意味を考えて動詞を限定した方がよい。次のような日本語能力試験4級相当の動詞で練習するとよい。

かける、置く、消す、あける、並べる、切る、貼る、しめる、つける

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-24 Vています
- 文-72 Vておきます

【「れんしゅう編」の練習】

- 12-8 ごみの出し方・集め方

S でしょう

S: 常体形、ただし「Nだ N」「ANだ AN」

基 本

例 文

① A: 田中^{たなか}さんはどこですか。B: たぶん^{たしいくかん}体育館^{たいいくかん}でしょう。② A: 田中^{たなか}さんはまだ^お起きて^おいる^おのでしょうか。B: たぶん^ねもう寝^ねた^ねでしょう。③ A: き^ぶのう^{しあ}のサッカー^ぶ一部^{しあ}の試合^あを見^みましたか。B: いいえ。でも、一生^{いっしょうけんめい}懸命^{けんめい}練習^{れんしゅう}していましたから、勝^かった^かでしょう。④ A: 田中^{たなか}さんは何時^{なんじ}に来^きますか。B: 3時^じごろ^く来^くる^くでしょう。

解 説

A. 現在^{げんざい}と過去^{かこ}の^のできごと^{すいそく}を推測^のして述^{つか}べるときに使う。(例文①②③)B. 未来^{みらい}の^のできごと^{よそく}を予測^のして述^{つか}べるときに使う。(例文④)

先生へ

「でしょう」の常体形は「だろう」。

「でしょう」で表される推測は主観的で、はっきりした根拠をもたない。

丁寧に質問するときに、「～でしょうか」を使うことがある。

例 A: これはいくらでしょうか。

B: それは1000円です。

【関連項目】

活-05 常体形
文-38 とおもいます
文-68 かもしれません

【「れんしゅう編」の練習】

12-1 あたいたいことがあるでしょう

文-43

しか...否定

N しか Vません

基 本

例 文

- ① この町まちにはホテルが一つひとしかありません。
- ② 東京とうきょうから大阪おおさかまで3時間じかんしかかかりませんでした。
- ③ さいふなかの中に500円えんしかありません。
- ④ きのう、サンドイッチたしか食べませんでした。
- ⑤ これは日本にほんでしかか買うことができません。
- ⑥ 田中たなかさんしかき来ませんでした。

解 説

- A. 「しか」は、否定形ひていけいといっしょつかに使う。
- B. 「しか」は、数量すうりょう、程度ていど、範囲はんい、対象たいしょうなどを示すNしめの後あとについて、Nを限定げんていし、強調きょうちようする。

(例文①～⑥)

- C. ほかの助詞じょしといっしょつかに使うことができる。(例文④⑤⑥)

Nに/へ/で/と/から/まで Nにしか/へしか/でしか/としか/からしか/までしか
Nは/が/を(対象)たいしょう Nしか

先生へ

「しか」は助詞。

ひと ひとつのことがらをきわだたせて強調するときを使う。(例文①④⑤)

はな て きたい そうてい はん げんてい の つか はな て きたい そうてい
話し手の期待、想定に反して限定されることがらを述べる时候を使う。話し手の期待、想定がどう

であるかによって、話し手の気持ちを暗示することがある。(例文②③⑥)

たと 例文②では、話し手はもっとかかると思っていた、例文③では、話し手はもっとお金が
はい 入っていると思っていた、例文⑥では、話し手は田中さん以外の人も来ると思っていた。

「だけ...肯定」で言い換えた場合は、話し手の感情は表れにくい。

【関連項目】

助-24 だけ

【「れんしゅう編」の練習】

12-10 かさじぞう

文-44

Vながら

V1 ながら V2 ます

V1 : V ます

基 本

例 文

- ① わたしは、^{うた うた}歌を歌いながら、^{かえ}帰りました。
- ② ^{けしき み}景色を見ながら、^{べんとう た}お弁当を食べました。
- ③ わたしたちは、^きテープを聞きながら、^{にほんご べんきょう}日本語の勉強をします。
- ④ ^{こども な}子供が泣きながら^{ある}歩いています。

解 説

- A. Vは、「^み見ます ^み見」のように「^{けい}Vます形」から「^{かたち}ます」をとった形。
- B. V1とV2の主体は同一。^{しゅたい どういつ}
- C. 「ながら」は、V1がV2と同時に^{どうじ おこな}行われる行為であることを示す。^{しめ}（例文①②③④）

先生へ

V1で示される状況と同一期間内にV2が起こることを示す場合もある。

- 例1 わたしはアルバイトをしながら、^{だいがく べんきょう}大学で勉強しました。
- 2 ^{やまもと かいしゃ つと}山本さんは会社に勤めながら、^{しょうせつ か}小説を書きました。

【関連項目】

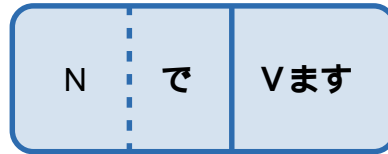
文-31 VてV
文-32 Vないで

【「れんしゅう編」の練習】

12-7 有名な所
12-9 有名人

助-27

で(原因 / 理由)



N: げんいん原因、りゆう理由を示すことば

基 本

例 文

- ① こばやし小林さんはかぜ風邪でテニスができません。
- ② たなか田中さんはびょうき病気でがっこう学校をやす休みました。
- ③ でんしゃ電車がゆき雪でと止まりました。

解 説

A. 「で」は、NがVで表す行動やできごとのげんいん原因、りゆう理由であることを示す。(例文①②③)

先生へ

「で」は助詞。

Nにはマイナスの結果をもたらすものが来ることが多い。

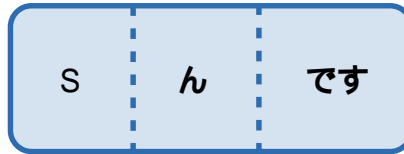
例えば、びょうき病気、かぜ風邪、いろいろなしぜんげんしょう自然現象(雨、ゆき雪、かぜ風)など。

【関連項目】

- 助-09 で(基準 / 範囲)
- 助-11 で(場所)
- 助-17 で(手段 / 材料)
- 助-25 から(理由)
- 助-29 ので
- 文-30 Aくて / ANで / Nで
- 文-31 Vて

【「れんしゅう編」の練習】

- 12-6 クイズ「日本」



じょうたいけい
S: 常体形。ただし、「Nだ Nな」「ANだ ANな」

基 本

例 文

① (つらそうな顔をしたBを見て)

A: どうしたんですか。

B: 歯が痛いんです。

② (夜中に台所で)

A: 何をしているんですか。

B: おなかがすいたんです。

③ A: 日曜日にいっしょに釣りに
行きませんか。

B: どこへ行くんですか。

A: 富士山の近くの湖です。

④ A: もうすぐ帰国ですね。おみやげは、もう買いましたか。

B: ええ、買いました。

A: 何を買ったんですか。

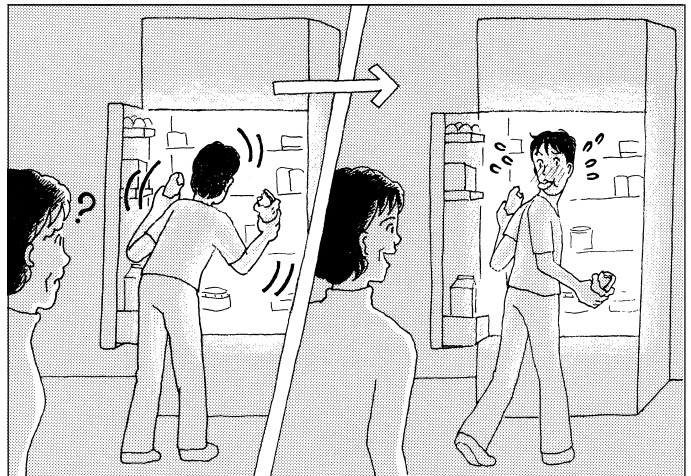
B: 浴衣です。

⑤ すみません、使い方がわからないんです。教えてくださいませんか。

⑥ 明日、友だちと買い物に行くんですが、いっしょに行きませんか。

⑦ 友だちにメールを送りたいんですが、パソコンを使ってもいいですか。

⑧ 切手を買いたいんですが、近くに郵便局がありますか。



例文②

- A. 事情^{じじょう}をたずねたり、述べ^のたりするとき^{つか}に使う。(例文①②)
- B. さらに詳^{くわ}しくたずねたり、述べ^のたりするとき^{つか}に使う。(例文③④)
- C. 依頼^{いらい}や誘^{さそ}い、許可^{きょか}や情報^{じょうほう}を求めるとき^{もと}の前^{まえ}置き^おに使う。(例文⑤～⑧)

先生へ

書きことばでは、「S^かんです」ではなく「S^{つか}のです」が使われることがある。

「んです^{ぶん}」文と「です/ます^{ぶん}」文の誤用が多いので、注意^{ちゅうい}すること。

例1 日本^{にほん}へ来^きたのは初^{はじ}めてです。事^{じじつ}実^のを述^のべる

日本^{にほん}へ来^きたのは初^{はじ}めてなんです。(だから、少^{すこ}し心^{しんぱい}配^{はい}です。)

理^{りゆう}由^{ゆう}やい^いい^いわ^わけ^けな^など言^{げんが}外^{がい}の意^い味^みを^{ふく}含^くむ

2 これも食^たべますか。

する^たん^{たん}か^かし^しない^いか単^{たん}に質^{しつもん}問^{もん}する

これ^たも食^たべる^たん^んです^すか。

話^はし手^てが得^えた情^{じょうほう}報^{ほう}や認^{にんしき}識^{しき}と異^{こと}なるた^{かくにん}め確^{かくにん}認^{にん}する

【関連項目】

- 活-05 常体形
- 文-01 Nです
- 文-03 Vます
- 文-06 Aいです / ANです
- 文-11 Vました
- 文-12 Aかったです / ANでした
- 文-13 Nでした

【「れんしゅう編」の練習】

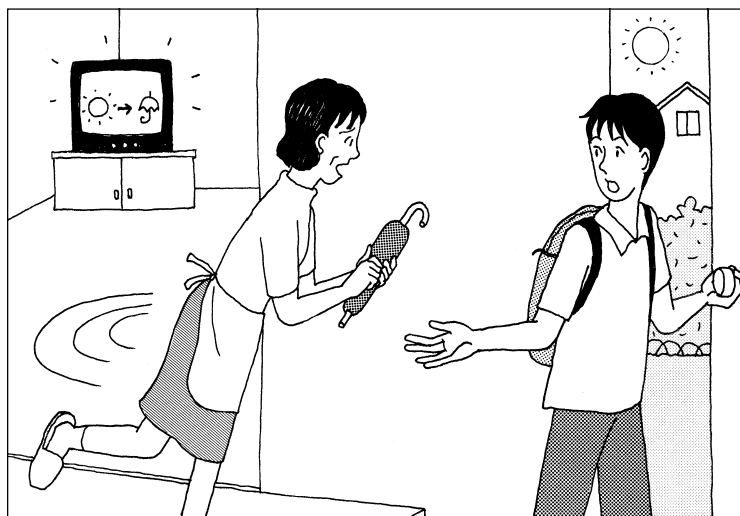
- 13-1 留学生の悩み相談
- 16-4 おまわりさんの交番日記
- 16-7 歌舞伎

Vた	ほう	が	いい	です
Vない				

基 本

例 文

- ① 今日^{きょう}は、かさ^もを持って行ったほう^いがいいですよ。
- ② A: ちょっと頭^{あたま}が痛い^{いた}んですが...。
B: じゃ、今日^{きょう}は早く^{はや}うちへ帰^{かえ}ったほう^{だいじ}がいいですよ。お大事^{だいじ}に。
- ③ A: プレゼントをもらったときは、すぐ開^あけたほう^いがいいですか。
B: あとで開^あけてもいい^{おも}と思いますが、わたしはいつもすぐ開^あけます。
- ④ A: うわあ、かわい^{いぬ}い犬^{いぬ}ですね。
B: 近づ^{ちか}かないほう^いがいいですよ。かみつ^かきますから。
- ⑤ もうすぐバーゲンセール^{いま}がありますから、今買^{いま}わないほう^{おも}がいい^{おも}と思います。
- ⑥ A: プラスチックのごみ^すは、ほかのごみ^すといっしょに捨^すてないほう^いがいい^いですか。
B: いいえ、いっしょに捨^すてても大^{だい}丈^{じょう}夫^ぶですよ。



例文 ①

- A. 「Vたほうがいいです」は、Vで表す行為あらわ こういをするように助言じょげんするとき、または助言じょげんを求めるときもとに使う。(例文①～③)
- B. 「Vないほうがいいです」は、Vで表す行為あらわ こういをしないように助言じょげんするとき、または助言じょげんを求めるときもとに使う。(例文④～⑥)
- C. 文末ぶんまつに「よ」や「おもいます」などをつけて、言い方い かたをやわらかくすることが多い。おお(例文①②④⑤)

先生へ

「Vつかなかったほうがいいです」は使えない。

「Vじしょけい(辞書形)ほうがいいです」「Vた/ないほうがよかったです」は、用法ようほうが違うのでここでは扱あつかわない。

【関連項目】

- 活-02 Vた形
- 活-04 Vない形

【「れんしゅう編」の練習】

- 13-1 留学生の悩み相談
- 13-6 日本でホームステイ

文-47

Vてはいけません

Vて は いけません

基 本

例 文

- ① 子供は、お酒を飲んではいけません。
- ② この部屋に入っへ やてはいけません。
- ③ 病院の中びょういん なかで、携帯電話を使っけいたいでん わ つかてはいけません。
- ④ うそをついてはいけません。
- ⑤ ここで、たばこをすったばこてはいけません。
- ⑥ A: どうして、湯船の中ゆふね なかで体を洗っからだ あらてはいけないんですか。
B: 湯船のお湯は、家族みんなが使うゆふね ゆ かぞく つかからです。



例文③

A. Vで表す行為を禁止する。(例文①～⑥)

B. 社会的なルールや家庭での約束で許されないことを述べるときに使う。(例文①～⑥)

先生へ

親、医者、教師などが、忠告の意味で使うことがある。この場合「よ」を付けることが多い。

例1 風邪ですね。注射しますから、今日は、お風呂に入ってはいけませんよ。

2 A: すみません。宿題を忘れてしまいました。明日でもいいですか。

B: 明日は、ぜったいに忘れてはいけませんよ。

「Vないてください」(p.117)との違い。

Vてはいけません	<ul style="list-style-type: none"> ・強い禁止の表現。 ・そのことを聞き手が拒否できない雰囲気がある。
Vないてください	<ul style="list-style-type: none"> ・それをしないように相手に協力を求める感じがある。 ・禁止の表現としては、「Vてはいけません」ほど強くない。

「Aくてはいけません」「AN/Nではいけません」の形もあるが、用法が違うので、ここでは扱わない。

意志動詞を使って練習させること。(p.278 参照)

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-29 Vないてください

【「れんしゅう編」の練習】

- 13-2 入ってはいけません
- 13-6 日本でホームステイ
- 14-5 ポートボール

V て みます

基 本

例 文

- ① はじ 初めておはしをつか使って、た食べてみました。
- ② これは、わたしの国の料理です。くに りょうり 食たべてみてください。
- ③ のり巻きの作り方を習ったので一人で作って見ましたが、しっぱい失敗しました。
- ④ A: きもの 着物をき着たことはありません。
B: じゃ、わたしのきもの 着物を着てみますか。
- ⑤ A: はは 母は、うちで毎週生け花を教おしえているんですよ。
B: い 生け花ですか。いいですね。わたしもやおってみたいです。
- ⑥ あたら 新きしいゲームセンターが今日オープンするんですが、いいっしょに行いってみませんか。
- ⑦ A: これ、プレゼントです。
B: ありがとう。今、開あけてみてもいいですか。

解 説

- A. V で表す行為の結果を知るために、じっさい 実際にその動作を試みることあらわを表す。(例文①～⑤)
- B. 「Vます」よりいい感じをかん 与える表現として使うことがある。(例文⑥⑦)
- C. 第三者の行為を表すことはできない。
だいさんしゃ だこういいさんあらわしゃ

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

否定の「Vてみません」は使わない。ただし、例文⑤のように「Vてみませんか」(誘いの表現)として使う。

「Vてみました」は、実際にVで表す行為をしなかった場合は使えない。

【関連項目】

活-01 Vて形

【「れんしゅう編」の練習】

- 13-1 留学生の悩み相談
- 13-6 日本でホームステイ
- 13-7 富士山に登ってみたいです

V	かた
---	----

V : V ます

基 本

例 文

- ① ホームステイをしたとき、てんぷらの作り方を習いました。
- ② おはしの使い方がじょうずになりましたね。
- ③ この紙にごみの出し方が書いてありますから、わからないときは見てください。
- ④ A : 折り紙をしたことがありますか。
B : はい。でも、ツルの折り方しか知りません。
A : じゃ、いっしょにウサギを折ってみましょう。
- ⑤ バスの乗り方がわからなくて、困りました。
- ⑥ A : 若い人の話し方は、大人の話し方と違いますね。
B : そうですね。とくに友だちと話すときは違いますね。
- ⑦ 漢字の勉強のし方がわからないんです。教えてくださいませんか。

解 説

- A. 方法・手順を表す。(例文①～⑦)
- B. 「Vかた」は名詞として文の構成要素になる。(例文①～⑦)

先生へ

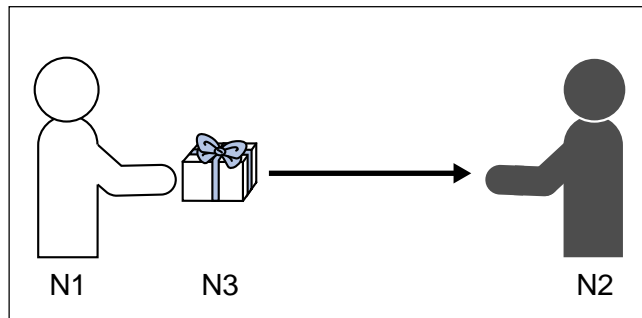
「NのVかた」のNとVのかんけい関係には、以下のようなものがある。

を		<small>かんじ</small> <small>か</small> 漢字 <u>を</u> 書く	<small>かんじ</small> <small>か</small> <small>かた</small> 漢字の <u>書き方</u>
NにV	NのVかた	<small>の</small> バス <u>に</u> 乗る	<small>の</small> <small>かた</small> バスの <u>乗り方</u>
が		<small>わかもの</small> <small>はな</small> 若者 <u>が</u> 話す	<small>わかもの</small> <small>はな</small> <small>かた</small> 若者の <u>話し方</u>
NをNする	NのNのしかた	<small>に</small> <small>ほんご</small> <small>べんきょう</small> 日本語 <u>を</u> 勉強する	<small>に</small> <small>ほんご</small> <small>べんきょう</small> <small>かた</small> 日本語の <u>勉強の仕方</u>
へ	NへのVかた	<small>くわうこう</small> <small>い</small> 空港 <u>へ</u> 行く	<small>くわうこう</small> <small>い</small> <small>かた</small> 空港 <u>への行き方</u>
から	NからのVかた	<small>とうきょうえき</small> <small>い</small> 東京駅 <u>から</u> 行く	<small>とうきょうえき</small> <small>い</small> <small>かた</small> 東京駅 <u>からの行き方</u>
NまでV	NまでのVかた	<small>がっこう</small> <small>い</small> 学校 <u>まで</u> 行く	<small>がっこう</small> <small>い</small> <small>かた</small> 学校 <u>までの行き方</u>
と	NとのVかた	<small>に</small> <small>ほんじん</small> 日本人 <u>と</u> つきあう	<small>に</small> <small>ほんじん</small> <small>かた</small> 日本人 <u>とのつきあい方</u>
で	NでのVかた	<small>れすとらん</small> <small>ちゅうもん</small> レストラン <u>で</u> 注文する	<small>れすとらん</small> <small>ちゅうもん</small> <small>かた</small> レストラン <u>での注文の仕方</u>

<p>【関連項目】</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>13-6 日本でホームステイ</p> <p>13-7 富士山に登ってみたいです</p> <p>16-3 日本の歴史</p> <p>16-7 歌舞伎</p>
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

N1 は/が N2 に N3 を あげます

N1 : ものを与える人
あた ひと
 N2 : ものを受け取る人
うと ひと
 N3 : もの



基 本

例 文

- ① 昨日は吉田さんの誕生日でした。田中さんは、吉田さんに子犬をあげました。
きのう よしだ たんじょうび たなか よしだ こいぬ
- ② A : 母の日に、お母さんに何をあげますか。
はは ひ かあ なに
 B : ひみつです。
- ③ A : マリさんにあげるおみやげは、何がいいと思いますか。
なに おも
 B : おはしはどうか。
 A : そうですね。そうします。



例文①

④ (掲 示 板 に)

「日本語会話のテープをあげます。ほしい人は連絡してください。」

⑤ A : そのキーホルダー、かわいいですね。どこで買ったんですか。

B : 東京ディズニーランドです。もう一つ持っていますから、これ、あげます。

A : えっ、いいんですか。ありがとうございます。

⑥ 父は、わたしたちがあげたネクタイを毎日しています。

解 説

A. N1 が N2 に物を与えることを表す。(例文①～⑥)

B. N2 は話し手にならない。

C. N1 が話し手、または N1、N2 がだれかわかっている場合は、「N1 は / が」「N2 に」は省略されることがある。(例文②～⑤)

先生へ

N2 が動物や植物の場合は、「あげます」の代わりに「やります」を使う。

例 1 毎日、花に水をやります。

2 犬にえさをやります。

N2 が話し手、または話し手の家族の場合は「くれます」を使う。(p. 277 参照)

例 1 田中さんは、ときどき、わたしに日本の切手をくれます。

2 田中さんはわたしの母に日本のお菓子をくれました。

授受表現は、最初に「あげます」を練習したほうがものの「やりとり」を表す表現を理解しやすい。

「あげます」を正確に使えるようにするためには、「ウチ・ソト」の関係の理解が必要である。

(p. 276 参照)

【関連項目】

文 -51 もらいます

【「れんしゅう編」の練習】

13-3 あげもらいパス

13-5 プレゼント

16-5 すずめのお宿

文 - 51

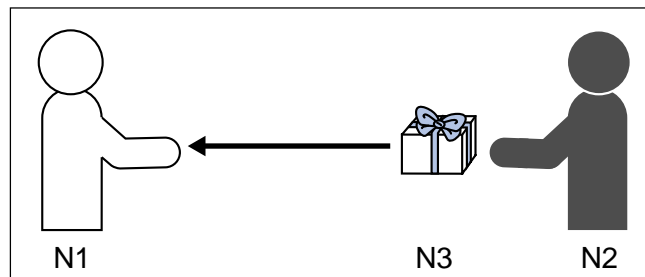
もらいます

N1 は/が N2 に N3 を もらいます

N1 : 物を受け取る人

N2 : 物を与える人

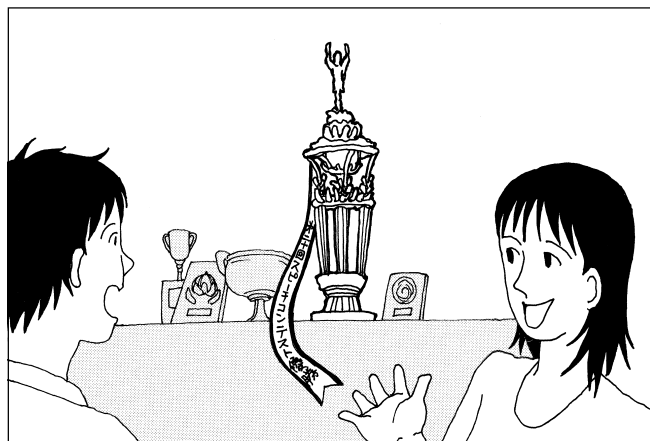
N3 : 物



基 本

例 文

- ① わたしは、^{こうこう にゅうがく}高校に入学したとき、^{あに じしょ}兄に辞書をもらいました。
- ② ^{おとうと}弟はおじさんにサッカーの^{し あい}試合のチケットをもらって、とても^{よろこ}喜んでいました。
- ③ A : ^{きょねん たんじょうび なに}去年の誕生日に、何をもらいましたか。
B : ^{ほん}本やC Dやゲームソフトなどをもらいました。
- ④ A : ^{りっ ぱ}立派なトロフィーですね。
B : ^{にほんご}これですか。日本語のスピーチ大会で^{たいかい ゆうしょう}優勝してもらったトロフィーです。



例文 ④

- ⑤ A : 毎月おこづかいをもらっていますか。
 B : はい。毎月5千円もらっていますが、ちょっとたりません。
- ⑥ 犬がえさをもらいたくて、ほえています。

解説

- A. N1がN2から物を受けることを表す。(例文①～⑥)
- B. N2は話し手にならない。
- C. N1が話し手、またはN1、N2がだれかわかっている場合は、「N1は／が」「N2に」は省略されることがある。(例文③～⑥)

先生へ

N2が組織や団体の場合には、「に」の代わりに「から」を使うことが多い。

例 山本さんは、学校から奨学金をもらいました。

N3は、普通話し手がN1にとってよいもの、うれしいものとするものである。

「もらいます」を正確に使えるようにするためには、「ウチ・ソト」の関係の理解が必要である。

(p.276 参照)

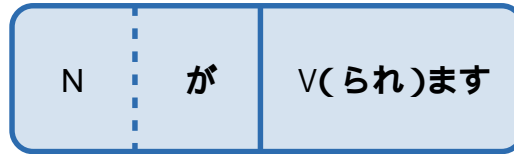
「もらいます」は、「あげます」を勉強してから、練習したほうが理解しやすい。

【関連項目】

- 文 -50 あげます
 文 -76 Vてもらいます

【「れんしゅう編」の練習】

- 13-3 あげもらいパス
 13-4 手袋をもらいました
 13-5 プレゼント
 16-5 すずめのお宿



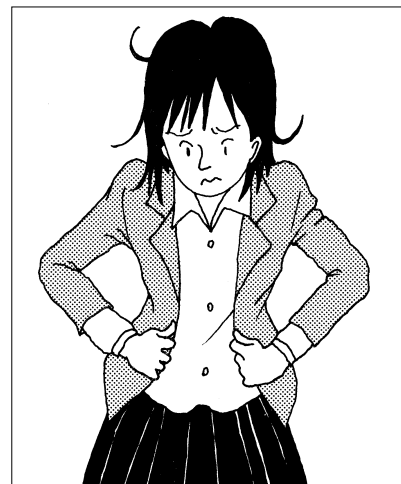
N: Vの動作の対象

V(られ)ます: 可能形

基 本

例 文

- ① A: 歌の伴奏をお願いしたいんですが、だれか楽器が弾けますか。
 B: 山本さんはギターが弾けます。
- ② A: 田中さん、今度いっしょにプールへ行きませんか。
 B: いいですね。でも、わたし、泳げないんです。
- ③ まだ、カタカナを習っていませんが、自分の名前はカタカナで書けます。
- ④ A: 明日も手伝いに来られますか。
 B: 明日はちょっと...
- ⑤ A: わたしたちも図書館のコンピュータが使えますか。
 B: はい、もちろん使えます。
- ⑥ 去年の制服が小さくて、着られません。
- ⑦ 知らない漢字が多くて、読めません。



例文 ⑥

A. Vで表される行為をする能力、技術があることを述べるときに使う。(例文①～③)

B. ある状況でVで表される行為をすることが可能であることを述べるときに使う。(例文④～⑦)

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

「Vことができます」(p.112)は、条件などが整って可能だという意味を表すときに使われる。「V(られ)ます」より使用範囲は狭い。

例 田中さんは泳げます。()

田中さんは泳ぐことができます。(×)

田中さんは1000メートルを18分で泳ぐことができます。()

Nが移動の経路や動作の場所の場合は、「NをV(られ)ます」となる。

例 鳥は空を飛べます。

「V(られ)ます」は、ものの性質、機能について述べるときに使うことがあるが、ここでは扱わない。

例 A: この水は飲めますか。

B: 大丈夫です。

【関連項目】

文-26 Vこと/Nができます

活-06 可能形

【「れんしゅう編」の練習】

14-2 泳げますか

14-3 学校クイズ

14-5 ポートボール

14-8 たいへんな一日

15-3 ここはどうですか

V なけれ	ば	なりません
-------	---	-------

V : V な~~い~~

基 本

例 文

- ① 学生は、学校の規則を守らなければなりません。
がくせい がっこう きそく まも
- ② もうすぐバスケットボールの試合がありますから、毎日練習をしなければなりません。
しあい まいにちれんしゅう
- ③ A : 日本の高校では、みんな制服を着なければなりませんか。
にほん こうこう せいふく き
 B : いいえ、制服がない学校もあります。
せいふく がっこう
- ④ A : あ、もう5時ですね。わたしはそろそろ帰らなければなりません。
じ かえ
 B : えっ？もう帰るんですか。
かえ
- ⑤ A : ゆみこさん、今度の土曜日、コンサートに行きませんか。
こんど とうようび い
 B : ごめんなさい。土曜日は、歯医者に行かなければならないんです。
とうようび は いしや い

解 説

- A. Vをする必要、義務があることを述べるときに使う。(例文①～④)
ひつよう ぎむ の つか
- B. 「Vなければならないんです」で、何かをする必要があつて、誘いなどを断る場合に使うことがある。(例文⑤)
なに ひつよう さそ ことわ ばあい つか

先生へ

話しことばでは「Vなければなりません」は「Vなきゃなりません/Vなきゃならない/Vなきゃ」となることがある。

- 例 A: あ、鐘かねが鳴なったから、教室きょうしつに戻もどらなきゃ。
 B: 急いそぎましょう。

「Vなければなりません」と「Vなくてはなりません」「Vなければいけません」「Vなくてはいけません」には原則的に以下のような違いがある。

	内 容
V なければなりません	いっばんでき ・一般的なこと
V なくてはなりません	はな て じしん ・話し手自身のこと
V なければいけません	こべつでき ・個別的なこと
V なくてはいけません	き て ・聞き手のこと

- 例 1 外国がいこくへ行くいときは、パスポートもを持っていかなければなりません。
 2 学校がっこうへ行くいときは、制服せいふくを着きていかななくてはなりません。
 3 (名前なまえのないレポートうを受け取とった先生せんせいが生徒せいとに)
 レポートには、必ずかなら名前なまえを書かかなければいけませんよ。
 4 もっとよくかんで、食たべなくてはいけませんよ。

<p>【関連項目】</p> <p>活-04 V ない形</p> <p>文-54 V なくてもいいです</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>14-4 いろいろな学校</p> <p>14-5 ポートボール</p> <p>14-6 月曜日はちょっと</p> <p>18-6 クラブ紹介</p>
---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

V なくて も いいです

V: V ない

基 本

例 文

- ① ^{いそ}急がなくてもいいですよ。^{じかん}まだ時間がありますから。
- ② ^{うんどうぎ}運動着は毎日^{まいにち}持^もって来^きなくてもいいです。^{たいいく}体育のある日^ひだけ、持^もって来^きてください。
- ③ A: ^{せんせい}先生、^{しゅくだい}この宿題、^{むずかしい}むずかしいです。
 B: ^{わから}わからない^{もんだい}問題は^{やら}なくてもいいです。^{わかる}わかる^{もんだい}問題^{だけ}だけ^やって^{くだ}さい。
- ④ A: ^{せんせい}先生、^{ほん}この本、^か買^かった^{ほう}ほう^がが^{いい}いい^{です}ですか。
 B: ^か買^かわ^なく^ても^いい^です^よ。^{としょかん}図書館^にに^あり^ます^から。
- ⑤ A: ^{せんぱい}先輩、^{ごご}午^ご後^のの^{れんしゅう}練^{しゅう}習^にに^でな^くて^もい^いで^すか。^{かぜ}風^邪邪^をを^ひい^て、^{ねつ}熱^がが^ある^んで^す。
 B: ^{いい}いい^です^よ。^{だいじ}お^大事^にに。

解 説

- A. ^き聞^てき^にに、^{どうさ}V^のの^{ひつよう}動^作作^をを^しす^のの^い必^つ要^がが^ない^とと^いう^とと^きに^し使^う。^{つか}(例文①～④)
- B. 「^VV^なく^ても^いい^です^か」で、^VV^のの^{どうさ}動^作作^をを^しな^いい^ここ^のの^{きょか}許^可可^をを^もと^と求^める^とと^きに^し使^う。^{つか}(例文⑤)

先生へ

「Vなくてもかまいません」(『日本語能力試験出題基準』3級の項目)も「Vなくてもいいです」と同じように使われる。「Vなくてもかまいません」のほうがあらたまった言い方。

<p>【関連項目】</p> <p>活-04 Vない形</p> <p>文-17 Vてもいいです</p> <p>文-53 Vなければなりません</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>14-4 いろいろな学校</p>
----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------

Vて しまいます

基 本

例 文

- ① やまもと 山本さんは一日で漢字を 100 おぼ 覚えてしまいました。
- ② A: しゅくだい 宿題、もうやってしまいましたか。
B: まだです。
A: じゃ、いっしょにやりませんか。
- ③ あした 明日は、午前中に運動会の準備を じゅんび してしまいますから、8時 じ にグラウンドへ き 来て
ください。
- ④ じかん 時間がないから、早く はや 片づけて かた しまいましょう。
- ⑤ きのう 昨日の数学の試験で しけん 0点 てん をとってしまいました。
- ⑥ かいだん 階段から お 落ちて、けがを お してしまいました。
- ⑦ A: ごめんなさい。借りた本 か を汚して ほん しまったんです。
B: だいじょうぶ 大丈夫です。気に き しないでください。
- ⑧ (B かお がこまった顔をしている)
A: どうしたんですか。
B: きょうかしょ 教科書を わす 忘れてしまったんです。
A: じゃ、わたしのを み いっしょに見ましょう。



例文⑤

- A. Vで表される動作や状態が完了する、または、完了したことを特に強調して述べるときに使う。
 (例文①～④)
- B. 「Vてしまいました」で、動作や状態が不本意に行われることによって生じる後悔、残念な気持ちなどを述べるときに使う。(例文⑤～⑧)

先生へ

話しことばでは、「Vてしまいます」は「Vちゃいます/Vちゃう」「Vじゃいます/Vじゃう」となることがある。

例1 A: どうしたの?

B: 宿題を忘れちゃったんです。

2 A: ここにあったジュースは?

B: 飲んじゃいました。

「Vてしまいます」(非過去形)でも完了の意味があることを理解させること。

B. の場合には、無意志動詞 (p.279 参照) や、「(さいふを)落とす」「(皿を)割る」「(服を)汚す」などの意志的ではない動作を表す動詞で練習すること。

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-11 Vました
- 文-19 もう/まだ

【「れんしゅう編」の練習】

- 14-7 ごめんなさい
- 14-8 たいへんな一日
- 16-4 おまわりさんの交番日記

A	すぎます
AN	
V	

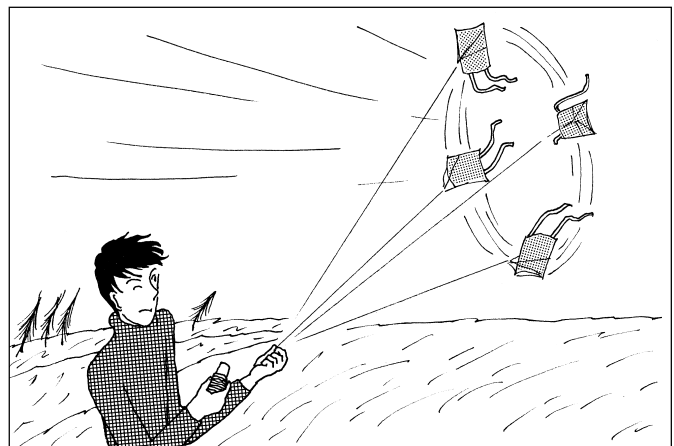
A: A 辞

V: V ます

基 本

例 文

- ① 宿題が多すぎます。減らしてください。
- ② 今日は、風が強すぎて、凧がうまくあがりません。
- ③ わたしの学校の規則は、ちょっときびしすぎるとおもいます。
- ④ このゲームは、ルールが複雑すぎて、おもしろくないです。
- ⑤ 昨日、サッカーの練習をしすぎました。足が痛いです。
- ⑥ 食べすぎました。おなかが苦しいです。
- ⑦ (Bがあくびをしている)
 A: どうしたんですか。寝不足ですか。
 B: ええ、昨日、夜遅くまで遊びすぎました。



例文②

A. A / AN / Vで表されることが過度^{あらか}でありよくない^{かど}と思っている^{おも}ことを表す^{あらわ}。(例文①～⑦)

先生へ

「A / AN / Vすぎます」の否定の形は二通りあり、意味^{いみ}が違う^{ちが}ので注意^{ちゅうい}すること。

ひてい かたち 否定の形	かつようけい 活用形	いみ 意味
A / AN / V <u>すぎではありません</u>	A : A 辞 V : V ます	A / AN / V が過度 ^{かど} ではない ^{あらわ} ということを表す。
A / AN / V <u>なさすぎます</u>	A : A 小 AN : AN じゃ V : V ない	A / AN / V ではない ^{かど} ことが過度 ^{あらわ} であることを表す。

例1 食べ^たすぎない^{いた}てください。おなか^{いた}が痛^{いた}くなりますよ。

2 弟^{あとうと}は掃除^{そうじ}しな^かすぎ^{げつ}ます。1ヶ月^かに1回^{かい}しか^かしません。

「おもしろい、楽しい、おいしい、便利^{べんり}」などプラス評価^{ひょうか}の形容詞^{けいようし}の場合は、意味^{いみ}合^あいが違^{ちが}うので練習^{れんしゅう}のとき使^{つか}わないこと。

【関連項目】

【「れんしゅう編」の練習】

14-8 たいへんな一日

<グループ1>

う	える	かう	かえる
く	ける	かく	かける
ぐ	げる	およぐ	およげる
す	せる	はなす	はなせる
つ	てる	まつ	まてる
ぬ	ねる	しぬ	しねる
ぶ	べる	あそぶ	あそべる
む	める	よむ	よめる
る	れる	かえる	かえれる

<グループ2>

る	られる	おきる	おきられる
		たべる	たべられる

<グループ3>

する	できる
くる	こられる

先生へ

可能形は動詞の活用形の一つ。

可能形の「ます形、ない形、て形、た形」などは、グループ2の動詞活用と同じ。

例 のめる のめます
のめない
のめて
のめた

話しことばでは、グループ2の動詞は、「れる」という短い言い方で使われることがある。

例 たべられる たべれる
みられる みれる
おきられる おきれる
でられる でれる

可能形を持たない動詞がある。

可能、自発の意味を持つ動詞：聞こえる、見える、できる など

無意志動詞 : ある、要る、かかる など (p.279 参照)

その他 : 知る、わかる など

「^き聞ける、^み見られる」(「^き聞く、^み見る」の可能形)と、「^き聞こえる、^み見える」(自動詞)の違い。

	い してきこうどう 意志的行動かどうか	れい ぶん 例 文
^き 聞ける		でん わ あした てん き よ ほう き 電話で明日の天気予報が聞けます。
^き 聞こえる	x	なに き おと おお 何も聞こえません。音を大きくしてください。
^み 見られる		いま とうきょうびじゆつかん え み 今、東京美術館でゴッホの絵が見られます。
^み 見える	x	そら ほし み 空にたくさん星が見えます。

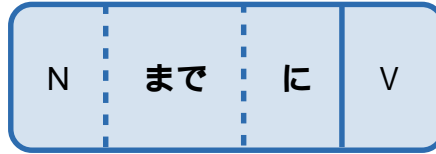
^かのうけい ^{つぎ} ^{つか}
可能形は次のように使われる。

例 1 わたしは、^{きよねん}去年まで、^{およ}ぜんぜん泳げませんでした。

2 ^{まいにち}毎日プールで^{れんしゅう}練習して、1000メートル^{およ}泳げるようになりました。

【関連項目】	【「れんしゅう編」の練習】
活 -03 V 辞書形	14-1 られるリレー
文 -52 V(られ)ます(可能)	14-2 泳げますか
文 -79 Vようになります	14-3 学校クイズ

助 - 28 までに



とき あらわ
N : 時を表すことば

基 本

例 文

- ① 18歳の誕生日までに、バイクの免許をとりたいです。
さい たんじょうび めんきょ
- ② A : 宿題は、いつまでに出さなければなりませんか。
しゅくだい だ
B : 月曜日です。月曜日の5時までにお願いします。
げつようび げつようび じ だ
- ③ 来週の試験までに、今週習った漢字の復習をしなければなりません。
らいしゅう しけん こんしゅうなら かんじ ふくしゅう
- ④ 明日までに、ぜったい返事をください。
あした へんじ
- ⑤ 来月の10日までに受験する大学を決めなければなりません。
らいげつ か じゅけん だいがく き

解 説

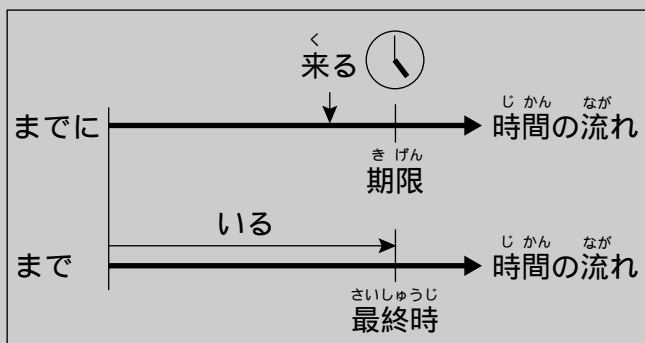
- A. 「までに」は、Vの動作の完了がNで示された時以前であることを示す。(例文①～⑤)
どうさ かんりょう しめ とき ぜん
- B. 期限やしめきりの述べるときに使う。(例文①～⑤)
きげん の つか

先生へ

「Nまでに」と「Nまで」の違い。

例 5時までに、ここに来ます。

5時まで、ここにいます。



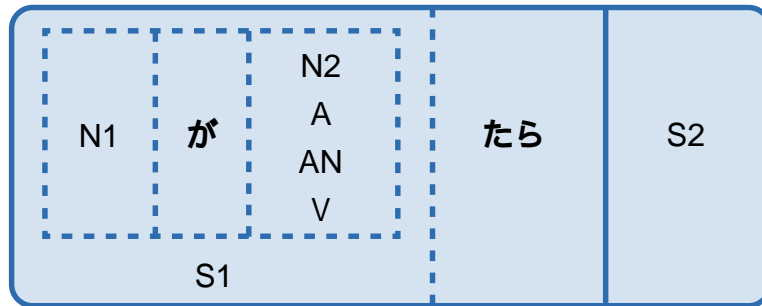
「までに」の前に動詞（辞書形）がくることがある。

例 8時のドラマが始まるまでに、宿題をやってしまいます。

「までに」は、助詞「まで」と「に」を組み合わせたもの。

Vに「終わる、やる、帰る、Vておく、Vてしまう」などを使って練習すると理解しやすい。

<p>【関連項目】</p> <p>助-12 から / まで</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>14-5 ポートボール</p> <p>14-6 月曜日はちょっと</p>
------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

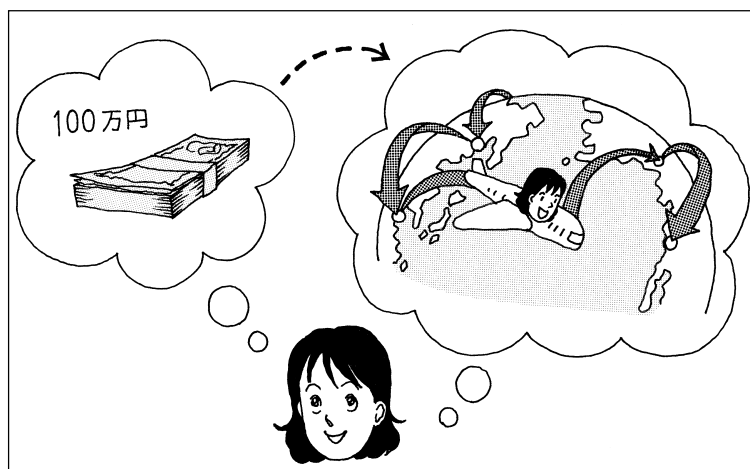


N2 / A / AN / V + たら: 常体形過去 + ら じょうたいけい か こ

基 本

例 文

- ① 辛いもの^{から}が^{にがて}苦手ですが、カレー^ただったら、食べられます。
- ② 明日^{あした}、暇^{ひま}だったら、ボーリング^いに行きませんか。
- ③ あまり高^{たか}くなかったら、スニーカー^かが買いたいです。
- ④ 雨^{あめ}が降^ふったら、お祭り^{まつ}は中止^{ちゅうし}です。
- ⑤ いい店^{みせ}を知^しっていたら、教^{おし}えてください。
- ⑥ A: もし百万円^{ひゃくまんえん}あったら、何^{なに}がしたいですか。
B: 世界旅行^{せかいりょこう}がしたいです。



例文 ⑥

⑦ 5時になったら、帰ります。

⑧ 駅に着いたら、電話してください。

⑨ A：大人になったら、何になりたいですか。

B：コックになりたいです。

⑩ A：迷子になったときは、どうしたらいいですか。

B：近くの店の人に道を聞いてください。

⑪ A：あのう、× 銀行へは、どうやって行ったらいいんでしょうか。

B：ここをまっすぐ行って、次の角を左に曲がってください。

曲がったら、すぐ右側にありますよ。

⑫ A：中山さんにあげるプレゼントは、どこで買ったらいいと思いますか。

B：×通りへ行ってみたらどうですか。おしゃれな店がたくさんありますよ。

解説

A. 話し手が仮定した S1 が成立した場合に S2 が成立することを述べるときに使う。

S2 は非過去形。(例文①～⑥)

B. 必ず起こる S1 が成立したあとで、S2 が成立することを述べるときに使う。

S2 は非過去形。(例文⑦～⑨)

C. 「疑問詞 + V たらいいですか」の形で、助言を求めるときに使う。(例文⑩～⑫)

D. 「V たらどうですか」の形で、助言、提案をするときを使う。(例文⑫)

E. A. の場合、「もし」をいっしょに使うことができる。(例文⑥)

例 文

- ⑬ 図書館へ本を返しに行ったら、休みでした。
- ⑭ バスの中で寝てしまって、目がさめたら、となりの町にいました。
- ⑮ 日曜日に映画を見に行ったら、映画館の前でドラマの撮影をしていました。

解 説

F. ある出来事をきっかけとして、何かに気づいたり、予期しない出来事が起こったことを表す。
S2は過去形。(例文⑬～⑮)

先生へ

「疑問詞 + Vたらいいですか」と同じ助言を求める表現に「Vたほうがいいですか」がある。「Vたほうがいいですか」は何について助言を求めるのかを具体的に示した言い方。

F. の用法では、「たら」を「と(条件)」に置き換えることができる。

例 デパートへ行ったら、休みでした。

デパートへ行くと、休みでした。

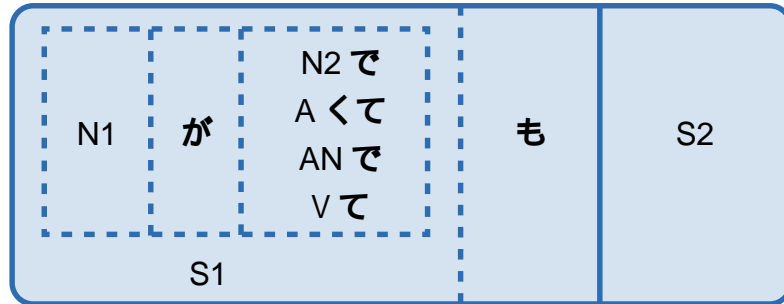
「と(条件)」(p.230) との用法の違いに注意すること。

【関連項目】

- 活-05 常体形
助-31 と(条件)
文-33 てから
文-58 ても

【「れんしゅう編」の練習】

- 15-1 ポスター
15-2 歌「日本サバイバル」
15-3 ここはどうですか
15-4 わたしが市長になったら
15-5 リサイクル



A : A 対

基 本

例 文

- ① ^{こども}子供でも、^{おな りょうきん はら}同じ料金を払わなければなりません。
- ② ^{よるおそ}夜遅くても、^お起きていますから、^{でんわ}電話してください。
- ③ ^{やさい きら}野菜が嫌いでも、^た食べたほうがいいですよ。
- ④ ^{あめ ふ}たとえ雨が降っても、^{はな び たいかい ちゅうし}花火大会は中止しません。
- ⑤ A : ^{に ほん じ しん おお}日本は地震が多いですね。
B : ええ。でも、^{たてもの じ しん お}この建物は地震が起っても^{だいじょうぶ}大丈夫ですよ。
- ⑥ ^{に ほん かえ}日本へ帰っても、^{まち わす}この町のことを忘れないでください。
- ⑦ ^{かいてん じ かん じ}開店時間の10時になっても、^{みせ あ}店が開きません。^{へん}変ですね。
- ⑧ ^{やくそく じ かん}約束の時間になっても、^{いちろう き}一郎さんは来ませんでした。
- ⑨ A : ^{きのう}昨日もらった^{くすり の}薬を飲んでも、^{ねつ さ}熱が下がらなかったんですが・・・。
B : それじゃ、^{びょういん い}病院へ行ったほうがいいですよ。

- A. S1で表される仮定的な条件に反することを述べるときに使う。(例文①～⑥)
- B. すでに成立しているS1から予想されないことが起こったことを述べるときに使う。
(例文⑦～⑨)
- C. A.の場合、「たとえ」をいっしょに使うことができる。(例文④)

先生へ

ふた いじょう じょうけん の
二つ以上の条件を述べることができる。

例 このお皿は、ぶつけても、落としても、割れません。

「ても」と「が(接続)」(p.72)の違い。

	S1てもS2	S1がS2
はな て かてい S1が話し手の仮定したこと		×
じっさい S1が実際にあったこと、したこと		

ぶん あらわ いみ かんけい ちゅうい
「たら」文が表す意味との関係に注意すること。

例 町の半分以上の人が反対したら、工事を中止します。

町の半分以上の人が反対しても、工事を中止しません。

A. の用法から先に練習したほうが理解しやすい。

「のに」(p.242)との用法の違いに注意すること。

【関連項目】

- 活-01 Vて形
助-16 が(接続)
助-32 のに
文-57 たら

【「れんしゅう編」の練習】

- 15-3 ここはどうですか

N1	を	A <	
		AN に	します
		N2 に	

A: A 社

基 本

例 文

① ^{そうじ}みんなで掃除^{こうえん}をして、公園^をきれい^ににしました。

② ^{すこ}もう少し^{やす}安く^をしてください。

③ (^{としょかん}図書館^{こども}で子供^{たちが}おしゃべり^をしている)

A: ^{あなた}たち、^{としょかん}図書館^{では}静^{しず}かに^にしてくださいね。

B: はあい、ごめんなさい。

④ (^{としょかん}図書館^{ひと}の^{ひと}が^{そうだん}相談^をしている)

A: ^{ポスター}の^じ字^をもう少し^{すこ}大きく^{おお}しませんか。

B: ^{そうですね}。そう^{しましょ}う。



例文 ③ ④

⑤ ^{しゃちょう}社長^は、^{つか}使^{って}いない^{そうご}倉庫^をコンサートホール^ににしました。

⑥ ^{かたち}形^{わる}の悪い^{りんご}りんご^は、^うジュース^やジャム^ににして^う売^ります。

A. 人が意志的にN1の状態を変え^{あらわ}ることを表す。(例文①～⑥)

B. 結果としてN1に起こる変化の内容は、A / AN / N2で表される。(例文①～⑥)

先生へ

「Aく / ANに / Nにします」と「Aく / ANに / Nになります」(p.140)の^{ちが}違い。

	Aく / ANに / Nにします	Aく / ANに / Nになります
はな て じゅうし 話し手が重視していること	へん か こうい 変化をもたらす行為	へん か けっか 変化の結果
へん か 変化するもの	たいしょう 対象	しゅたい 主体

例 洪水で家の前の道がきたなくなりました。

おとうと そうじ いえ まえ みち
弟とわたしが掃除して、家の前の道をきれいにしました。

「Nにします」には、「^き決めたことを^の述べる」(p.228)という用法もあるので、^{ちが}違いに^{ちゅうい}注意すること。

例 A: 何に^{なに}しますか。

B: わたしはジュースに^きします。(決めたこと)

やさい の へんか
野菜をジュースにして^の飲みます。(変化)

【関連項目】

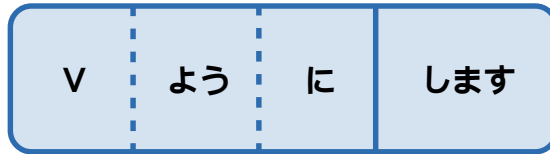
文-39 Aく / ANに / Nになります

文-74 Vこと / Nにします

【「れんしゅう編」の練習】

15-4 わたしが市長になったら

15-5 リサイクル

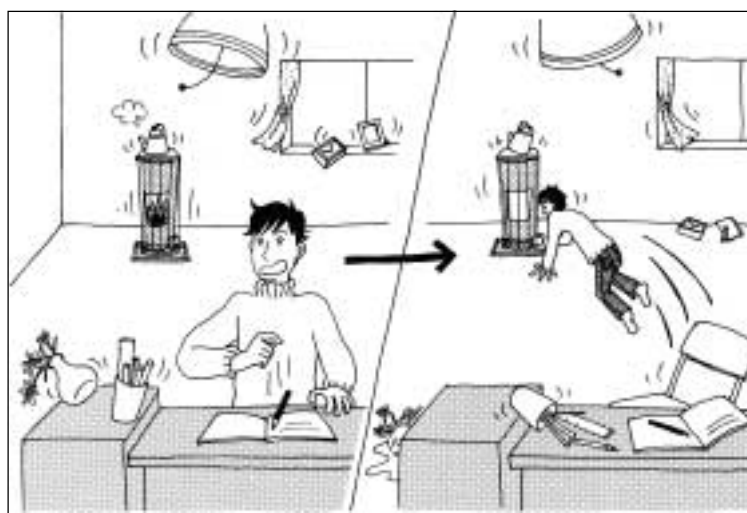


V: 辞書形またはVない形

基 本

例 文

- ① ^{みち}この道は^{くるま}車が多くて^{あぶ}危ないですから、^{みち}道を^{わた}渡るときは^{おうだん}横断歩道を^{わた}渡るようにしてください。
- ② ^{でんしゃ}電車の中では、^{なか}大きい^{おお}声で^{こえ}話さないように^{はな}しましょう。
- ③ (町内スピーチ大会の練習で)
 A: ^{せんせい}先生、わたしのスピーチはどうですか。
 B: とてもいいですよ。でも、^{たいかい}スピーチ大会では、^{すこ}もう少しゆっくり、はっきり^{はな}話すようにしたほうがいいですね。
- ④ ^{じしん}地震が^お起こったら、^けすぐ^おストップを^け消すようにしています。



例文④

- ⑤ ^{きんじょ}近所の人に^{ひと}あったら、いつもあいさつするようにしています。
- ⑥ ^ちバスや地下鉄で行けるときは、^か車を使わないようにしています。

A. あることをする、またはしないと心がけることを述べるときに使う。(例文①～③)

B. 「Vようにしています」の形で、習慣的に心がけていることを述べるときに使う。(例文④～⑥)

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

「Vようにします」で、「Vように」が目的を表す場合がある。この「Vように」は、『日本語能力試験出題基準』2級の項目なので、ここでは扱わない。練習のとき注意すること。

「Vことにします」(p.228)との違いに注意すること。

例 近所の人と相談して、次の日曜日みんなで公園の掃除をすることにしました。(決めたこと)
あ、う、犬のふんは、飼い主が片づけるようにしてください。(心がけ)

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 活-04 Vない形
- 文-59 Aく/A Nに/Nにします
- 文-79 Vようになります
- 文-74 Vこと/Nにします

【「れんしゅう編」の練習】

15-4 わたしが市長になったら

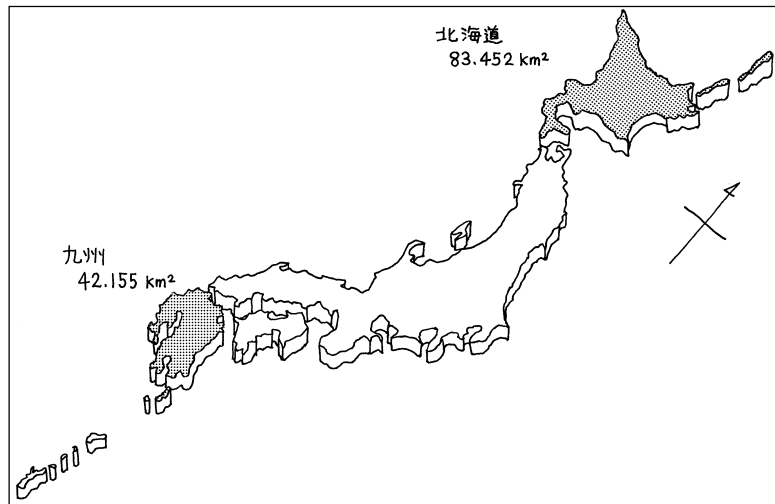
文-61

より...ほう

N1	より	N2	の	ほう	が	A
						AN
						V

基 本

例 文



例文 ①

- ① 九州きゅうしゅうより 北海道ほっかいどうのほうひろが広いです。
- ② 大阪おおさかより 東京とうきょうのほうじんこうが人口おほが多いです。
- ③ わたしは、ポケモンよりドラえもののほうすが好きです。
- ④ A: 日光にっこうへは、バスいで行きましょうか。電車でんしゃで行きましょうか。
 B: 電車でんしゃのほうはやが速いいですが、バスやすのほうやすが安いいですよ。
- ⑤ A: ここから大阪おおさかまでは、新幹線しんかんせんと飛行機ひこうきとどちらはやが速いいですか。
 B: 飛行機ひこうきのほうはやが速いいと思います。
- ⑥ 通勤電車つうきんでんしゃは、夕方ゆうがたより朝あさのほうこが混こんでいます。
- ⑦ ×デパートより ×デパートのほうしょうひんが商品しょうひんがたくさんあります。

- A. N1とN2を比較して述べるときに使う。(例文①～⑦)
- B. 「N1より」は省略されることがある。(例文④⑤)
- C. 「より」はN1が比較の基準であることを示す。(例文①②③⑥⑦)
- D. 文末のA / AN / Vには、以下のようなバリエーションがある。
- A / AN : NがA / AN (例文②)
- V : 状態性の動詞「Vている」(例文⑥)
- Aく / ANに / 副詞 + V (例文⑦)
- E. 二つのことがらの比較をたずねるときは、「N1とN2とどちらがA / AN / Vか」を使う。(例文⑤)

先生へ

「N2のほうがN1よりA / AN / V」のように語順を入れ替えることができる。

例 北海道のほうが九州より広いです。

三つ以上のことがらを比較するときは、「N1がN2でいちばんA / AN / V」(N2はN1の比較対象となる範囲)を使う。

例 東京が日本でいちばん人口が多いです。

「より」は助詞。

「ほう」は形式名詞。

二つのことがらを比較する表現には、ほかに「V1よりV2のほうがA / AN / V」「N1よりN2のほうがN3」(N3は程度性をもつ名詞)があるが、ここでは扱わない。

例 勉強するより遊ぶほうが楽しいです。

山本さんは中山さんより努力家です。

自分の国や町に関係のある身近なことからで練習するとわかりやすい。

【関連項目】

- 文-62 NとNとどちら
文-63 NはNより

【「れんしゅう編」の練習】

- 15-6 地理のクイズ
15-7 順番にならべましょう
15-8 どちらのほうがいい店ですか

文-62

NとNとどちら

(1)

N1	と	N2	と	どちら	の	ほう	が	A	か
								AN	
								V	

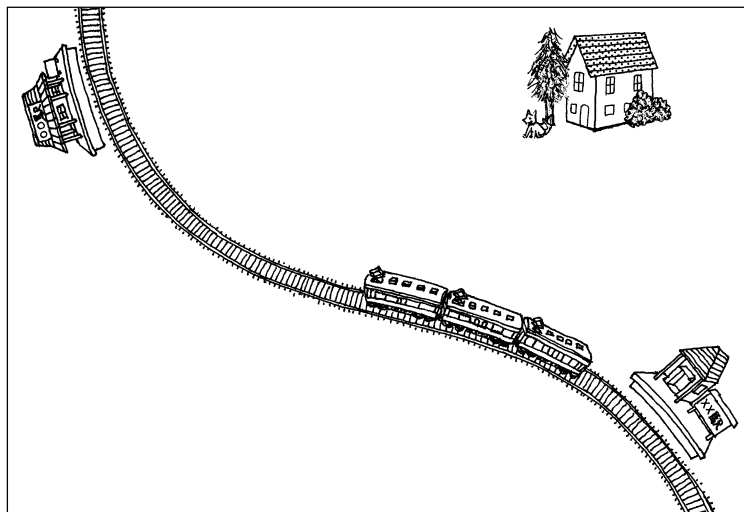
(2)

N1	と	N2	と	どちら	助詞	V	か
----	---	----	---	-----	----	---	---

基 本

例 文

- ① あの店は、魚料理と肉料理と、どちらのほうがおいしいですか。
みせ さかなりょうり にくりょうり
- ② A: ハンバーガーとフライドチキンと、どちらのほうが好きですか。
す
 B: どちらも好きです。
す
- ③ マンションと一戸建てと、どちらが地震に強いですか。
いっこだ じしん つよ
- ④ A: 駅と××駅と、どちらが近いですか。
えき えき ちか
 B: ××駅のほうが少し近いです。
えき すこ ちか



例文 ④

- ⑤ デパートは、土曜日と日曜日と、どちらのほうが混んでいますか。
- ⑥ A : ××スーパーと スーパーでは、どちらのほうが安いですか。
 B : ××スーパーと スーパーでは、スーパーのほうが安いです。
 でも、スーパーは、もっと安いですよ。

解説

- A. 構造図(1)で、N1とN2の二つを比較するとどうであるかをたずねるときに使う。(例文①～⑤)
- B. 「と」は、N1、N2がお互いに比較の対象であることを表す。(例文①～⑥)
- C. 「N1とN2と」が、「N1とN2では」になることがある。(例文⑥)
- D. 「どちらのほうが」の「のほう」は省略されることがある。(例文③～④)
- E. 同じ程度だと答えるときは、「どちらもA / AN / V」「同じくらいA / AN / V」「両方A / AN / V」などを使う。(例文②)

発 展

例 文

- ⑦ A : 船便と航空便と、どちらで送りますか。
 B : 航空便でお願いします。
- ⑧ A : コーヒーと紅茶と、どちらにしますか。
 B : どちらでもいいです。
- ⑨ A : 現金とクレジットカードと、どちらで払いますか。
 B : 現金でお願いします。

解説

- F. 構造図(2)で、二つのうちどちらを選択するかをたずねるときに使う。(例文⑦～⑨)
- G. 「と」は、N1とN2が選択の対象であることを示す。(例文⑦～⑨)
- H. 選択せずにどちらでも大丈夫だと答える場合は、「どちらでもいいです」を使う。(例文⑧)

先生へ

三つ以上のことがらの場合は、「どちら」を使わない。比較、選択される対象によって用いる疑問詞が
ちが
違う。

ひと 人		だれ / どなた / どのN
ばしょ 場所		どこ / どのN
とき 時		いつ / 何曜日 / 何時など
もの もの	めいかく せんたくし 明確な選択肢がない	なに 何
	めいかく せんたくし 明確な選択肢がある	どれ

例 1 A : 果物の中で、何がいちばん好きですか。

B : いちごがいちばん好きです。

2 A : りんごとみかんとぶどうでは、どれがいちばん好きですか。

B : ぶどうがいちばん好きです。

「と」は助詞。

動作、行為、状態を比較してたずねるときは「V1のとV2のと、どちらがA / AN / Vか」を使うが、
ここでは扱わない。

例 A : スポーツをするのと見るのとどちらが好きですか。

B : 見るほうが好きです。

自分の国や町に関係のある身近なことから練習するとわかりやすい。

【関連項目】

文 -61 より... ほう

【「れんしゅう編」の練習】

15-6 地理のクイズ

15-8 どちらのほうがいい店ですか

N1	は	N2	より	A
				AN
				V

基 本

例 文

- ① ^{ことし なつ}今年の夏は、^{きょねん なつ}去年の夏より^{あつ}暑いんですね。
- ② A: ^{じんじゃ}この神社は、^{ひと おお}人が多くて、にぎやかですね。
 B: ええ。でも、^{しょうがつ いま}お正月は、^{ひと おお}今よりもっと人が多いですよ。
- ③ A: ^{からだ くあい}体の具合はどうですか。
 B: ^{きょう}今日は、^{きのう}昨日よりいいです。
- ④ A: ^{あたら}新しいデジタルカメラはどうですか。
 B: ^と撮った写真が^{しゃしん}モニターで^みすぐ見られるので、^{べんり}ふつうのカメラよりずっと便利です。
- ⑤ A: ^{てら}このお寺は、^みさっき見た^{てら}お寺より^{ふる}古いですか。
 B: ^{てら}いいえ、さっきのお寺の^{ふる}ほうが古いです。
- ⑥ ^{きょう}今日はいつもより^{みち}道が^{はや}すいていたので、^つ早く着きました。
- ⑦ ^{ぶっきょう}仏教は、^{きょう}キリスト教より^{はや}早く^{にほん}日本に^{つた}伝わりました。

A. N1についてN2との比較で説明するときに使う。(例文①～⑦)

B. 「より」はN2が比較の基準であることを示す。(例文①～⑦)

C. 文末のA / AN / Vには、以下のようなバリエーションがある。

A / AN : NがA / AN (例文②)

V : 状態性の動詞「Vている」(例文⑥)

A < / AN に / 副詞 + V (例文⑦)

D. N1についてたずねるときは、「N1はどうですか」や「N1はA / AN / Vか」などを使う。

(例文③～⑤)

先生へ

三つ以上のことがらを比較して、その中でいちばん程度が著しいN1について述べるときは、「N1はN2でいちばんA / AN / V」(N2はN1の比較対象となる範囲)を使う。

例 冬至は、一年でいちばん昼間の時間が短いです。

「N1はN2よりN3」(N3は程度性をもつ名詞)という文型もあるが、ここでは扱わない。

例 田中さんは山田さんより努力家です。

「より」は助詞。

「より...ほう」(p.192)との違いを明らかにするために、N1が主題であることがよくわかる状況の文で練習したほうがよい。

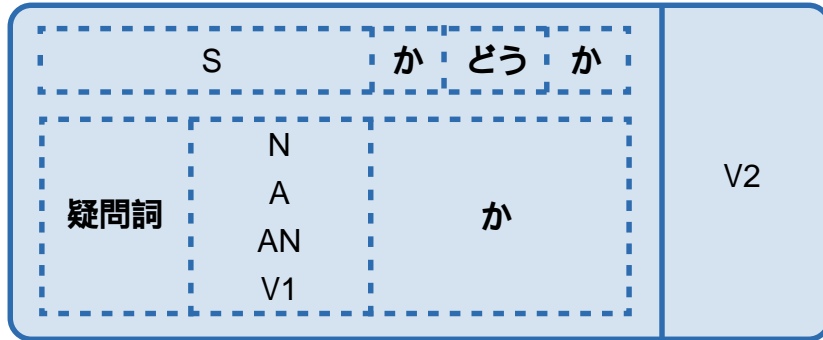
【関連項目】

文-61 より...ほう

【「れんしゅう編」の練習】

16-1 日本とくらべる

16-7 歌舞伎



S / N / A / AN / V1 : 常体形。ただし、「Nだ N」「ANだ AN」

基 本

例 文

- ① ここがわたしたちの席^{せき}かどうか^{たし}確かめましょう。
- ② すみませんが、^こ語^にで、日本料理^{にほんりょうり}が^す好きかどうか^き聞いてください。
- ③ このツアー^{さん}に参加^かするかどうか、明日^{あした}までに^き決めてください。
- ④ 今日^{きょう}は何^{なに}がおいしいかウエイター^きに聞いてみましょう。
- ⑤ 昔^{むかし}の^{ひと}人が^{せい}どんな生活^{かつ}をしていたか^{しら}調べました。
- ⑥ この建物^{たてもの}がいつできたか^し知っていますか。
- ⑦ だれが^しこの詩^かを書いたかわかりません。
- ⑧ A : あのう、手紙^{てがみ}を出^だしたいんですが、郵便局^{ゆうびんきょく}はどこですか。
B : ええと、ここをまっすぐ行って...。ちょっと複雑^{ふくざつ}なので、いっしょに行きましょう。
A : 大丈夫^{だいじょうぶ}です。一人^{ひとり}で行けますから、どこにあるか^{おし}教えてください。
- ⑨ ホテルから^{はくぶつかん}博物館^{まで}、どうやって行ったらいいか^い地図^{ちず}で調べ^{しら}ましょう。
- ⑩ いくつか^{べんとう}のお弁当^{ひつよう}が必要^きか聞いてみます。

A. 「かどうか」は、疑問詞を含まない疑問文を名詞化する。(例文①～③)

わたしは、田中さんが旅行に行くかどうか知りません。

田中さんは旅行に行きますか。

B. 「疑問詞...か」は、「何、いつ、だれ、どこ、なぜ」などの疑問詞を含む疑問文を名詞化する。

(例文④～⑩)

どこで前売り券を売っているか電話で聞きました。

どこで前売り券を売っていますか。

C. 「Sかどうか」「疑問詞...か」は、文の構成要素になる。(例文①～⑩)

先生へ

「かどうか」「疑問詞...か」の後には助詞「が」「を」をつけることがある。

例1 2時までに明日のお城見学に参加するかどうかを連絡してください。

2 乗る電車が何番線に来るかがわからなくて、困りました。

3 ここに何泊するかを書いてください。

疑問文「Sんですか」「疑問詞...んですか」を名詞化する場合は、「Sのかどうか」「疑問詞...のか」となる。

例 なぜスケジュールが突然変わったのか説明してください。

なぜスケジュールが突然変わったんですか。

「SかどうかNです」「疑問詞...かNです」もあるが、ここでは扱わない。

例1 お金があるかどうか問題です。

2 どんな返事が来るか楽しみです。

V2に「わかる、知っている、覚えている、質問する、聞く、たずねる、教える、決める、調べる、Vてみる」などの動詞を使って練習するとよい。

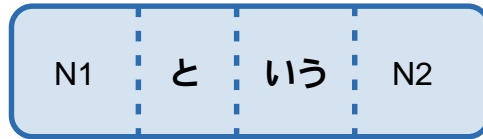
【関連項目】

活-05 常体形
文-25 Vこと
文-69 の(名詞化)

【「れんしゅう編」の練習】

16-2 有名人にインタビュー
16-4 おまわりさんの交番日記
17-2 人気がある仕事

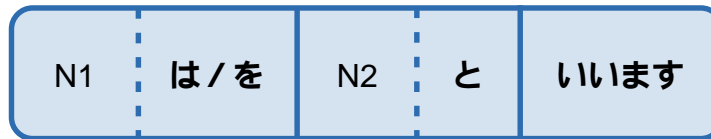
(1)



N1 : N2の具体的な名称
ぐたいてき めいしょう

N2 : N1の類(人、場所、物、ことがらなど)
るい ひと ばしょ もの

(2)



N2 : N1(人、場所、物、ことがらなど)の具体的な名称
ひと ばしょ もの ぐたいてき めいしょう

基 本

例 文

- ① 「ようかん」というお菓子をはじめて食べてみました。とても甘かったです。
かし た あま
- ② A : すぐ近くに清水寺というお寺がありますよ。
ちが きよみずでら てら
 B : じゃ、昼ごはんを食べてから、そこへ行きましょう。
ひる た い
- ③ A : これは、何ですか。
なん
 B : びわという楽器です。日本に昔からある楽器です。
がっき にほん むかし がっき
- ④ A : 映画でこれを見たことがあります。
えいが み
 B : そうですね。これは明治時代に使っていた人力車という乗り物です。
めいじ じだい つか じんりきしゃ の もの
- ⑤ わたしが生まれたところは、「新宮」という町です。
う しんぐう まち
- ⑥ 昔、あるお寺に「一休さん」というお坊さんがいました。
むかし てら いっきゅう ぼう

解 説

- A. 構造図(1)で、N2の名前、呼び名を示すときに使う。(例文①～⑥)
こうぞうず なまえ よ な しめ つか
- B. 構造図(1)で、N1が何であるのかをN2で示して、聞き手にわかりやすく述べるときに使う。
こうぞうず なん しめ き て の つか
 (例文①～⑥)
- C. 書かれた文では、N1を際立たせるために、「か ぶん きわ だ」で囲むことがある。(例文①⑤⑥)
かこ

例 文

- ⑦ わたしは、田中^{た なか}といひます。どうぞ、よろしくお願ひします。^{ねが}
- ⑧ このお寺^{てら}は、清水寺^{きよみずでら}といひます。
- ⑨ 山本^{やまもと}さんの名前^{なまえ}は、あきらといひます。
- ⑩ A：日本式^{にほんしき}のホテル^{にほんご なん}を日本語^{にほんご}で何^{なん}といひますか。
- B：旅館^{りょかん}といひます。
- ⑪ 日本^{にほん}の雨季^{うき}は「梅雨^{つゆ}」といひて、6月中旬^{がつちゅうじゅん}から7月中旬^{がつちゅうじゅん}ごろです。

解 説

- D. 構造図^{こうぞうず}(2)で、N1の名前^{なまえ}、呼び名^{よ な}を紹介^{しょうかい}するときにつか^{つか}う。(例文⑦～⑪)
- E. 書かれた文^かでは、N2を際立たせるために、「^か」で囲むことがある。(例文⑪)

先生へ

- A. の用法^{ようほう}は、話し手^{はな}が聞き手^きが、N1についてよく知らない^しときにつか^{つか}われる。
- 話しことば^{はな}では、「と」は「って」となることがある。
- 例 ^{ちか}すぐ近くに「^{きよみずでら}清水寺^{てら}」^{てら}っていうお寺^{てら}がありますよ。

<p>【関連項目】</p> <p>助-30 と(引用)</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>16-3 日本の歴史</p> <p>16-5 すずめのお宿</p> <p>16-6 ぜひ、わたしの町に来てください</p> <p>16-7 歌舞伎</p>
---------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

疑問詞	でも	N
		A
		AN
		V

N / A / AN / V : 肯定形

基 本

例 文

- ① わからないことがあったら、いつでも聞いてください。
- ② A: 何か食べられないものがありますか。
B: いいえ、何でも食べられます。
- ③ このダイビング体験コースは、泳げる人だったらだれでも参加できます。
- ④ (レストランで)
A: すみません。あそこに「コーヒーおかわり自由」と書いてありますが、どういう意味ですか。
B: コーヒーを何杯でも飲めるという意味ですよ。
- ⑤ 一日観光ツアーは、どのコースでも同じ料金です。
- ⑥ A: 週末の日帰り旅行ですが、箱根と日光とどちらがいいですか。
B: どちらでもいいです。
- ⑦ (ホテルのフロントでもらったメッセージ)
「何時でも大丈夫ですから、電話してください。番号は、090-xxxx-xxxx」
- ⑧ このレストランは、どの席からでも美しい夜景を見ることができます。

- A. もの、人、時、場所、数などを制限しないことを表す。(例文①～⑧)
- B. 疑問詞には、「何、だれ、いつ、どこ、どちら、どのN、どんなN、何+助数詞」などが使われる。(例文①～⑧)
- C. 疑問詞のあとに助詞「へ、に、で、から、まで、と」が必要なときは、「疑問詞+助詞+でも」となる。(例文⑧)

先生へ

疑問詞のあとにつく助詞のうち、場所の「で」は省略されることがある。

例 そのカードは、どこ(で)でも使えます。

【関連項目】

【「れんしゅう編」の練習】

16-6 ぜひ、わたしの町に来てください

A. 「^{あらわ}ので」は、S1がS2で表されていることの理由であることを示す。(例文①～⑥)

先生へ

「^{あらわ}ので」は、「^{りゆう}だろう」「^{しめ}でしょう」のあとにはつかない。

「^{りゆう}ので」とほかの理由を述べる表現との違い

S1 ^{あらわ} ので S2	<ul style="list-style-type: none"> ・S2は、現実の行動や状況。 ・S2が意志的な表現の場合、話し手の考え、意志を和らげ、丁寧な感じを与える。
S1 から S2	<ul style="list-style-type: none"> ・S2は、話し手の意志や考え。
S1(A / AN / V)で S2	<ul style="list-style-type: none"> ・S1は、S2より時間的に前に起こること。 ・S2は、S1の当然の結果。話し手の意志的な表現はこない。
Nで S2	<ul style="list-style-type: none"> ・Nには、マイナスの結果をもたらす名詞が多く。 ・S2は、Nの当然の結果。話し手の意志的な表現はこない。

* 意志的な表現とは、依頼(「Vてください」など)、意志(「Vようと思います」など)、願望(「Vたいです」など)、誘い(「Vましょう」など)、禁止(「Vてはいけません」など)

例1 混んでいた^こので、ジェットコースターに乗るまで1時間待ちました。

2 もうすぐ出発^{しゅっぱつ}しますから、急い^{いそ}でください。

3 雨^{あめ}が降^ふって、ピクニックが中止^{ちゅうし}になりました。

4 事故^{じこ}で高速道路^{こうそくどうろ}が渋滞^{じゅうたい}しました。

「敬体^{けいたい}+^{つか}ので」も使うことがあるが、使う場面^{つか}が限^ばられ、かなり^{かぎ}ていねいな表現^{ひょうげん}になるので、ここでは

「常体形^{じょうたいけい}+^{れんしゅう}ので」だけを練習^{れんしゅう}したほうがよい。

例 (観光案内所^{かんこう案内所}で)

A: すみません。市内^{しんない}の地図^{ちず}がほしいんですが。

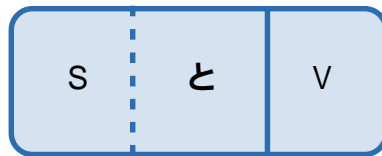
B: あちら^{あちら}の机^{つくえ}の上^{うえ}にあり^ありますので、ご自由^{じゆう}にお取^とりください。

【関連項目】

- 活-05 常体形
- 文-31 Vて
- 助-25 から(理由)
- 助-27 で(原因/理由)

【「れんしゅう編」の練習】

- 16-5 すずめのお宿
- 16-6 ぜひ、わたしの町に来てください



つた ないよう
S: 伝えられる内容

基 本

例 文

- ① ガイドが、「これは有名な祭りです。」と言いました。
- ② ガイドが、これは有名な祭りだと言いました。
- ③ 田中さんは、「バスの中は少し暑いです。」と言いました。
- ④ 田中さんは、バスの中が少し暑いと言いました。
- ⑤ A: 中田さんを見かけませんでしたか。
B: さっき、「大変だ!」と言いながら、むこうへ走って行きましたよ。
- ⑥ 答えがわからなかったので、「わかりません。」と答えました。
- ⑦ バスは3時に出発すると聞きました。
- ⑧ あとで電話すると伝えてください。
- ⑨ A: ここに何と書いてあるんですか。
B: 写真を撮ってはいけないと書いてあります。
- ⑩ A: おなかがいっぱいで、もう食べられないとき、何と言ったらいいですか。
B: 「もう、けっこうです。」と言うんですよ。

- A. 「と」は、Sがある人の言った内容であることを示す。(例文①～⑩)
- B. ある人が言ったことをそのまま伝える。(例文①③⑤⑥⑩)
- C. ある人が言ったことを言い直して伝える。Sは常体形。(例文②④⑦⑧⑨)
- D. Bの場合、書かれた文では、Sを「 」で囲む。(例文①③⑤⑥⑩)

先生へ

Vは「言う、歌う、書く、数える、聞く、答える、説明する、たずねる、伝える、鳴く、話す、読む、呼ぶ」などの動詞。

話しことばでは、「と」は「って」となることがある。

例 A：中山さん、遅いですね。

B：そうですね。1時に来るって言っていたんですけど。

言い直して伝える場合、人称や動詞が変わることがある。

例 山本さんは、「4時にあなたのうちに行きます。」と言いました。

山本さんは、4時にわたしのうちに来ると言いました。

Sの文末とVの時制を一致させる必要はない。

伝える内容が疑問文の場合は、「SかどうかV」「疑問詞...かV」となるので、疑問文の引用はここでは練習しないこと。

依頼内容を伝える場合は、「VようにV」となるので、依頼文(「Vてください」)の引用はここでは練習しないこと。

【関連項目】

- 活-05 常体形
文-38 とおもいます
文-64 かどうか/疑問詞...か

【「れんしゅう編」の練習】

- 16-4 おまわりさんの交番日記
16-5 すずめのお宿
19-6 山田さんへの手紙

		こ	そ	あ	ど
だいいいし 代名詞	もの	これ	それ	あれ	どれ
	ばしょ 場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
+ N	しゅうしょく めいし げんてい 修飾する名詞を限定	このN	そのN	あのN	どのN
	しゅうしょく めいし そくせい じょうたい 修飾する名詞の属性(状態)	こんなN	そんなN	あんなN	どんなN
ほうこう 方向		こちら	そちら	あちら	どちら
		こっち	そっち	あっち	どっち
ほうほう 方法		こう	そう	ああ	どう

基 本

例 文

- ① 去年の12月7日に日本へ来ました。その日はとても寒い日でした。
- ② 先月、北海道の札幌へ行きました。そこで雪祭りを見ました。
- ③ A: 田中一郎さんという人から電話がありましたよ。
B: えっ? そんな人知りません。
- ④ A: かさじぞうという昔話を知っていますか。
B: いいえ、その昔話はどんな話ですか。
- ⑤ A: 先週見たあの映画、おもしろかったですね。
B: ええ、もう一度見たいですね。
- ⑥ (歴史館で江戸時代の説明を聞きながら)
A: あのう、この時代にはもう電気がありましたか。
B: いいえ、電気はまだありませんでした。この時代にはランプやろうそくを使っていました。

- A. 「こそあ」は、会話や文章の中で、すでに話題として出たことを指す場合に使う。(例文①～⑥)
- B. 「こそあ」は、聞き手と話し手が会話で話題として出たことを知っているかどうかで使い方が違う。

	つか 使うとき
「そ」グループ	<p>・話し手は話題に出ていることを知っているが、聞き手は知らないと思っていると き。(例文①②)</p> <p>・話し手が会話の相手が話題として出したことを知らないとき。(例文③④)</p>
「あ」グループ	<p>・話し手と聞き手の両方が話題に出ていることを知っているとき。(例文⑤)</p>
「こ」グループ	<p>・話し手が話題に出ていることを知っているとき。(例文⑥)</p>

先生へ

発展形として、次のようなことばがある。

例 この : このような、このように

こんな : こんなに、こんなふうに

こう : こういう、こういうふうに、こうして

「こ」グループは、ある話題を最初に出した人だけが使える。

「こそあ」には、実際に話している場面で、そこにあるものなど目で見ることができていることを指す用法もある。(p.24 29参照)

A. の用法は、初級レベルでも会話や読みものなどに出てくるが、「こそあ」の使い分けがむずかしいので、会話や読みものの内容理解を間違えないように指導する程度にしたほうがよい。

【関連項目】

- 語-02 これ / それ / あれ
 語-03 この / その / あの
 語-04 ここ / そこ / あそこ

【「れんしゅう編」の練習】

16-5 すずめのお宿

V(よ)う と おもいます

V(よ)う: 意向形

基 本

例 文

①(スピーチ大会で優勝した瞬間のインタビューで)

A: 優勝おめでとうございます。賞金の10万円は何に使いますか。

B: ええと・・・、貯金しようと思います。

②(うちへ帰る途中で)

A: おなかがすいたから、ちょっとマックに寄ろうと思うんですが、いっしょに行きませんか。

B: 行きます! 行きます!

③日本の大学を卒業した先輩の話聞いて、わたしも留学しようと思いました。

④16歳になったら、バイクの免許をとろうと思っています。

⑤大人になってお金持ちになったら、両親に大きな家をプレゼントしようと思っています。

⑥A: 将来、どんな仕事をしたいと思いますか。

B: わたしは子供のときからずっと医者になろうと思っています。



例文⑥

解説

- A. 発話の時点で、話し手が何かをする意志があることを述べるときに使う。(例文①～③)
- B. 「V(よ)うとおもっています」は、何かをする意志が継続的にあることを述べるときに使う。
(例文④～⑥)

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

「V(よ)うと(は)おもいません」は、強い意志の否定を表す。

第三者の意志を述べるときは、「V(よ)うとおもっている+推量/伝聞の表現」を使う。

- 例 1 山本さんは、宇宙飛行士になろうとおもっているそうです。
- 2 山本さんは、毎日遅くまで練習しています。今度の試合で優勝しようと思っているかもしれません。
- 3 山本さんは、夏休みにペンフレンドに会いに行こうと思っているみたいです。

【関連項目】

- 活 07 意向形
文 38 とおもいます

【「れんしゅう編」の練習】

- 17-2 人気がある仕事
17-3 何のためですか
17-4 高いかもしれません
17-5 何になろうと思っていますか
17-6 仲間さがし
17-7 将来の夢

S

かもしれません

じょうたいけい
S: 常体形。ただし、「Nだ N」「ANだ AN」

基本

例文

- ① A: この財布、だれのですか。
 B: もしかすると、田中さんのかもしれません。さっき何かさがしていましたから。
- ② 山の上は、朝、寒いかもしれないから、セーターを持っていったほうがいいですよ。
- ③ 一人で外国へ行くのは、ちょっと不安かもしれませんが、いい経験になりますよ。
- ④ A: 子供のころから医者になりたかったんですが、なれないかもしれません。
 B: どうしてですか。
 A: 医学部に合格する自信がないんです。それに、血を見るのがこわいんです。
- ⑤ A: 卒業したら、歌手になりたいと思っています。
 B: ご両親には、相談しましたか。
 A: いいえ、まだです。両親は反対するかもしれませんが、決心は変わりません。
- ⑥ だれも来ませんね。もしかしたら、時間をまちがえたかもしれません。

解説

- A. 話し手が、ある状況や出来事が起こる可能性がある」と推量したことを述べるときに使う。
 (例文①～⑥)
- B. 「もしかしたら」「もしかすると」といっしょに使うことがある。(例文①⑥)

先生へ

「かもしれません」は、疑問文ではふつう使わない。

「かもしれません」の過去形はここでは扱わない。

【関連項目】

活-05 常体形
文-42 でしょう

【「れんしゅう編」の練習】

17-4 高いかもしれません

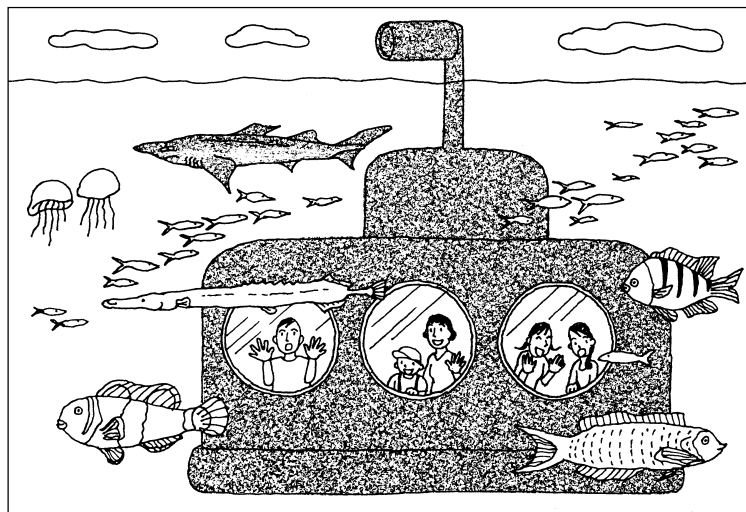


じょうたいけい
V: 常体形

基 本

例 文

- ① 船ふねの中なかから、魚さかなが泳およいでいるのが見みえます。
- ② 田中たなかさんが、お風呂ふろで歌うたっているのが聞きこえます。
- ③ コンピュータで自じ分の将来しょうらいを占うらなうことができるのしを知しっていますか。
- ④ 朝あさからずつと、手紙てがみが来くるのを待まっています。
- ⑤ 旅行りょこうの計けい画かくを立たてるのは楽たのしいです。
- ⑥ A: 料理りょうりは得とく意いですか。
B: いいえ、あまり得とく意いではありません。でも、食たべるのは好すきです。
- ⑦ わたしが将来しょうらいなりたいのは、弁護士べんごしです。
- ⑧ 毎月まいつきおこづかいを貯ちよ金きんしているのは、新あたらしいスケーたトボードがをかいたいからです。



例文①

- A. 「の」はVを名詞化する。(例文①～⑧)
 B. 「Vの」は、名詞と同じように文の構成要素となる。(例文①～⑧)
 C. 「VのはXです」で、Xを強調して言いたいときに使うことがある。(例文⑦⑧)

先生へ

Sの名詞化には、「Vの」と「Vこと」がある。相互に置き換えることができるものも多いが、そうでないものもある。置き換えられないものは以下の通りである。

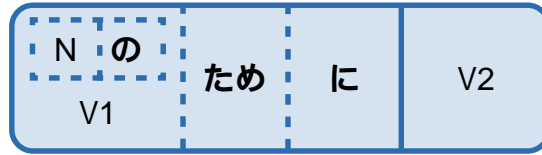
S+の	S+こと	後ろにくる動詞
	×	知覚を表す動詞：見える、聞こえる、におう、感じる、聞く、見る など
	×	名詞節の主格への働きかけを表す動詞：手伝う、じゃまする、待つ など
	×	と 止める、やめる など
	×	強調構文
×		話す、伝える、決める、考える、思う、約束する、祈る など 例 試験に受かったことを先生に伝えました。
×		だ、です、である 例 わたしの趣味は、星を見ることです。

【関連項目】

活-05 常体形
 文-25 Vこと

【「れんしゅう編」の練習】

17-5 何になろうと思っていますか
 17-7 将来の夢

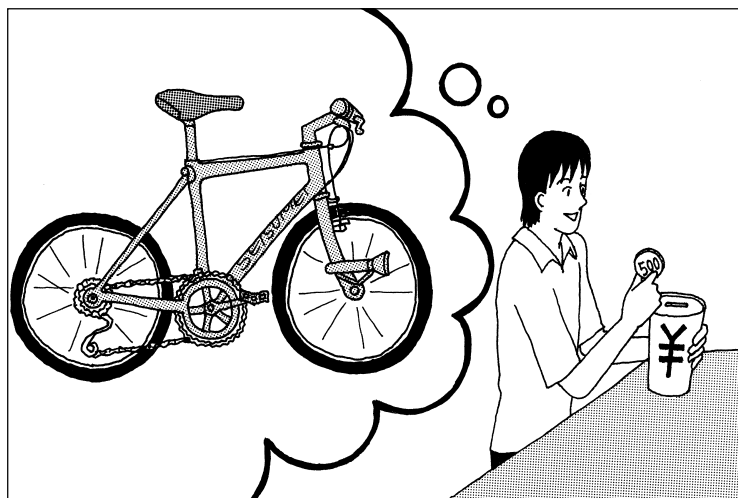


じしよけい
V1: 辞書形

基 本

例 文

- ① ^{けんこう}健康^のために^{まいあさ}毎朝^{ジョギング}をしています。
- ② ^{やまもとせんせい}山本先生^{は、}^{ゆきおとこ}雪男^の調査^のために^い、ヒマラヤへ行きました。
- ③ ^{あとうと}弟^{は、}^{じてんしゃ}自転車^を買う^かために^{ちよきん}、貯金^{して}います。
- ④ わたしは、^{めんきよ}バイク^の免許^{をと}るために^{まいしゅうどようび}、毎週土曜日^{きょうしゅうじょ}に教習所^{かよ}に通っています。
- ⑤ わたしたちは^{らいげつ}来月^{きこく}帰国^{する}先生^{せんせい}のために^{そうべつかい}、送別会^{ひら}を開きました。
- ⑥ ^{たなか}田中さん^{は、}^{しょうらい}将来^{こま}、困^{ひと}っている人^{はたら}のために^{おも}働きたい^{おも}と思っています。
- ⑦ A: ^{だれ}だれ^のために^{べんきょう}勉強^{して}いるんですか。
B: ^{じぶん}自分^{じしん}自身^のため^{です}。



例文 ③

- A. 「ために」は、N、V1がV2で表される行為の目的であることを示す。(例文①～④)
- B. Nが人や団体(グループ)の場合は、Nが利益の受け手であることを示す。(例文⑤～⑦)
- C. V2の行為が明らか場合は、「～ためです。」とすることができる。(例文⑦)

先生へ

V1は意志動詞。(p.278 参照)

行為の目的を表すNには、以下のような名詞が使われる。

目的として価値があるもの：将来、健康、平和など

「Nする」動詞のN：調査、研究、勉強など

「ために」は、N、V1がV2で表される行為の原因・理由であることを示すことがある。

例1 父が転勤するために来月転校しなければなりません。

2 事故のために電車がおくれました。

【関連項目】

- 活-03 辞書形
助-15 に(目的)

【「れんしゅう編」の練習】

- 17-3 何のためですか
17-5 何になろうと思っていますか
17-7 将来の夢

<グループ1>

う	おう	かう	かおう
く	こう	かく	かこう
ぐ	ごう	およぐ	およごう
す	そう	はなす	はなそう
つ	とう	まつ	まとう
ぬ	のう	しぬ	しのう
ぶ	ぼう	あそぶ	あそぼう
む	もう	よむ	よもう
る	ろう	かえる	かえろう

<グループ2>

る	よう	おきる	おきよう
		たべる	たべよう

<グループ3>

する	しよう
くる	こよう

先生へ

意向形は動詞の活用形の一つ。

意向形は「Vましょう」の常体形としても使われる。

例 一生懸命が**ん**ばりま**し**よう。

一生懸命が**ん**ばろ**う**。

無意志動詞は意向形では使われない。(p.279 参照)

意向形には、否定形、過去形はない。

意向形は次のように使われる。

例1 来年は必ず**う**優勝**し**よう。

例2 日本へ行くまでに、もっと漢字を**わ**覚えよう**と**おも**い**ます。

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 文-67 V(よ)うとおもいます

【「れんしゅう編」の練習】

- 17-1 「意向形」カードゲーム
- 17-2 人気がある仕事
- 17-3 何のためですか
- 17-4 高いかもしれません
- 17-5 何になろうと思っていますか
- 17-6 仲間さがし
- 17-7 将来の夢

A		
AN	そう	です
V		

A : A 辞

V : V ます

基 本

例 文

① ^{そつぎょうしき}卒業式の日^ひに^{せんせい}先生に^{はな}バラの花^をあげました。先生^{せんせい}はとてもうれし^{そう}でした。

② (ケーキ^みを見て)

わあ、おいし^{そう}なケーキ^{です}ね!

③ (盆踊り^みを見て)

A : みんな^{たの}楽し^{おど}そうに踊^っていますね。

B : ええ。わたし^{おど}たちも踊^りましょう。

④ A : ポケット^{さいふ}からお財布^お布^が落ち^{そう}ですよ。

B : あ、ありが^{とう}。

⑤ A : あ! 自転車^{じてんしゃ}がたおれ^{そう}です。

B : ああ、たおれ^てしまいました。

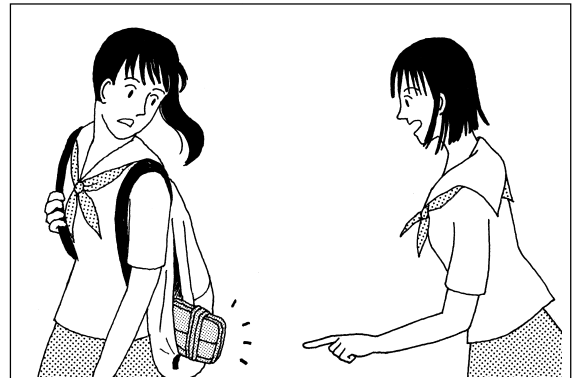
⑥ (テニス^{れんじゅう}の練習^{そら}のあと、空^みを見^あ上げて)

雨^{あめ}が降^ふり^{そう}だから、早^{はや}くボ^{ール}を片^{かた}づけてしま^いましょ^う。

⑦ 今年^{ことし}の文化祭^{ぶんかさい}は、となりの学校^{がっこう}といっしょにするので、おおぜい^{ひと}人^きが来^きそう^{です}。

⑧ A : 来年^{らいねん}から × 大学^{だいがく}の入学試験^{にゅうがくしけん}の科目^{かもく}が減^へると先生^{せんせい}が言^いっていました。

B : じゃ、受験生^{じゅけんせい}が増^ふえ^{そう}ですね。



例文 ④

解説

- A. 見た目み めで、ものものの様子ようす・性質せいしつを推量すいりょうして述つべるときときに使うつかう。(例文①～③)
- B. Vで表あらわされる状況じょうきょうが起おこる直前ちよくぜんの状況じょうきょうを述つべるときときに使うつかう。(例文④⑤)
- C. 話し手はな てが現状げんじょうから判断はんだんした、これからVのよようになるだだらうといいう予想よそうや、そそうなる可か能性のうせいを述つべるときときに使うつかう。(例文⑥～⑧)
- D. 「そうです」文ぶんが名詞めいしや動詞どうしを修飾しゅうしよくするときときは、「そんなN」「それにV」となる。(例文②③)

先生へ

- B. の場合ばあい、話し手はな ての意志いし的な行こう為いは表あらわせない。
- 「そうです」の否定形ひていけいは、以下いのよようになる。否定文ひていぶんは、A / AN / Vとなる見込みみこがない状態じょうたいであることを述つべるときときに使うつかう。

A	A くなさそうです
AN	AN ではなさそうです
V	V そうもありません

例1 (電車でんしゃが遅おくれて)

A: 一時間目いちじかんめに間まに合あいそうもないですね。

B: 遅刻ちこくですね。

2 先生せんせいは許ゆるしてくれそうもありません。どうしましょう。

「N そうです」という形かたちはないが、「N じゃなさそうです」の形かたちで使つかわれることがある。

例 あの人は学生ひと がくせいじゃなさそうです。

形容詞けいようし「いい」は、「よさそうです」となるので、注意ちゅういすること。

A. の場合ばあい、見みてすぐわわかることには使つかえないので、「きれい、かわいい、背せが高い、太たかっている」などを練習れんしゅうで使つかわないよように注意ちゅういすること。

「そうです」(伝聞でんぶん) (p.238) とは、A、AN、Vの接続形せつぞくけいが違ちがうので注意ちゅういすること。

例 雨あめが降ふるそうです。(伝聞でんぶん)

雨あめが降ふりそうです。(様態ようたい)

【関連項目】

文-78 そうです(伝聞)

【「れんしゅう編」の練習】

- 18-4 ジェスチャー・ゲーム
- 18-6 クラブ紹介
- 18-7 忙しい2学期

N

を

Vて

おきます

基 本

例 文

- ① 試験しけんのまえに、もう一度教科書いちどきょうかしょをよ読んでおきます。
- ② 来週らいしゅうのミーティングまでに、先生せんせいの予定よていを聞いておいてください。
- ③ 授業じゅぎょうが終わおったら、次つぎの授業じゅぎょうのために黒板こくばんをきれいにしておきましょう。
- ④ A: 授業じゅぎょうで配くばる資料しりょうのコピーは？
B: 山本やまもとさんに頼たのんでおきました。たぶん教室きょうしつの机つくえの上うえにおいてあると思いますおも。
- ⑤ ホールのいすは片づけかたなくてもいいですよ。文化祭ぶんかさいが終わおるまでそのままにしておきましょう。
- ⑥ A: この机つくえはどこはこに運びはこびましょうか。
B: ああ、それはそこおに置いておいてください。あとでわたしが運びはこびますから。
- ⑦ ここあにある空あきカンばこや空あき箱ばこは、あとで使つかうかもしれないので、捨すてないで置いてください。

解 説

- A. ある目的もくてきのために前まえもって何なにかを準備じゅんびすることを述のべるときに使う。(例文①～④)
- B. 一時的いちじてきにVの状態じょうたいのまま放ほう置ちすることを述のべるときに使う。(例文⑤～⑦)

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

「Vておきます」は、話しことばでは「Vときます/Vとく」になることがある。

例 このポスター、はっといてくださいね。

「Vておきます」と「Vてあります」の違い。

	よう ほう 用 法	ぶん けい 文 型
Vておきます	じゅんび 準備する という 行為 を 述べる	NをVておきます
Vてあります	じゅんび 準備が できている 状態 を 述べる	NがVてあります

例 A：パーティー会場はもう予約してありますか。

B：いいえ、まだです。

A：じゃ、明日までに必ず予約しておいてくださいね。

Vが自動詞の場合もあるが、他動詞で練習したほうが理解しやすい。

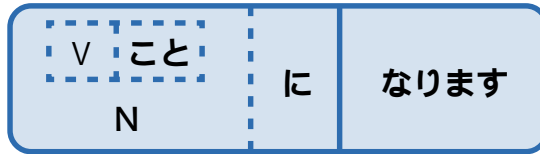
例 もうすぐ忙しくなりますから、いまのうちに休んでおいたほうがいいですよ。

【関連項目】

活-01 Vて形
文-41 Vてあります

【「れんしゅう編」の練習】

18-2 準備をしておきます
18-7 忙しい2学期



V: 辞書形またはVない形

基 本

例 文

- ① この学校では、^{がっこう} 小学校^{しょうがっこう} 3年生^{ねんせい} から^{えいご} 英語^{べんご} を勉強^{べんきょう} することになりました。
- ② 中山^{なかやま} さんは、お父^{とう} さんの転勤^{てんきん} で、来月^{らいげつ} 転校^{てんこう} することになりました。みんな^{みんな} で送別会^{そうべつかい} を開^{ひら} きましょう。
- ③ 今年^{ことし} の生徒会^{せいとかい} 長^{ちやう} は、投票^{とうひょう} の結果^{けつ 果}、山本^{やまもと} さんになりました。
- ④ 体育^{たいいく} の日^ひ は、2000年^{ねん} から、10月^{がつ} 10日^か ではなく^か なって、10月^{がつ} の第2月曜日^{だい げつようび} になりました。
- ⑤ 今年^{ことし} から、試験^{しけん} の結果^{けつ 果} は発表^{はつひょう} しないことになりました。
- ⑥ A: 田中^{たなか} さんのクラスは、文化祭^{ぶんかさい} に何^{なに} をするんですか。
 B: わたしは、お化け屋敷^{ばやしき} をやりた^た かったんですが、多数決^{たすうけつ} で環境問題^{かんきやうもんだい} について発表^{はつひょう} をすることになってしまいました。

解 説

A. 「Vこと」または「N」に決^き まったと述^の べるときに使う。(例文①～⑥)

先生へ

「Vこと / Nになっています」は、^き決まりなどを^の述べるときに使う。

例1 ^{がっこう}学校へ^く来るときは、^{せいふく}制服を^き着ることに^ななっています。

2 ^{びじゅつかん}美術館の中^{なか}では、^{しゃしん}写真を^と撮ってはいけ^なないことに^ななっています。

「Nになります」には^{へんか}変化を表す用法 (p.140) もあるので、^{れんしゅう}練習をするとき^{ちゅうい}注意すること。

例 ^{おとな}大人にな^らったら、^{やきゅうせんしゅ}野球選手にな^りたいです。(^{へんか}変化)

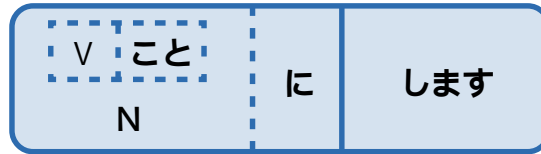
^{よせん}予選で^か勝^って、^{だいいょうせんしゅ}代表選手にな^りました。(^き決まったこと)

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 活-04 Vない形
- 文-39 Aく / ANに / Nになります
- 文-74 Vこと / Nにします

【「れんしゅう編」の練習】

- 18-3 ボランティア
- 18-7 忙しい2学期
- 18-8 日本の学校行事



じしょけい
V : 辞書形またはVない形

基 本

例 文

- ① わたしは、^{だいがく}大学へ^{しんがく}進学しないで、^{ちち}父の^{しごと}仕事を^{てつだ}手伝うことにしました。
- ② ^{なつやす}夏休みの^{あいだ}間に、わたしたちの^{ぐるーぷ}グループは、^{むかしばなし}昔話について^{しら}調べることにします。
- ③ ^{あした}明日^{しけん}試験がありますから、^{きょう}今日は^よ寄り道しないことにします。
- ④ (ホームルームで)
- A : いろいろな^{いけん}意見が出て、^ななかなか^き決まりませんね。
- B : じゃ、^{らいしゅう}来週もう^{いちど}一度^{はな}話し合うことにしましょう。
- ⑤ A : ^{だい}第2^{がいこくご}外国語は何に^{なに}しましたか。
- B : わたしは、^{にほんご}日本語にしました。
- ⑥ (食堂でメニューを見ながら)
- A : ^{なに}何にしますか。
- B : わたしは、ラーメンにします。
- A : じゃ、わたしはカレー。

解 説

A. ^{はな}話し手が「Vこと」または「N」に^き決めたとき^のと^{つか}述べるときに使う。(例文①～⑥)

先生へ

「Vこと/Nにしています」は、そう決めて習慣的に行っていることを述べるときに使う。

例 毎朝、ジョギングをすることにしています。

「Nにします」には、変化を表す用法 (p.188) もあるので、練習をするとき注意すること。

例 1 野菜をジュースにして、飲みます。(変化)

2 A: 何にしますか。

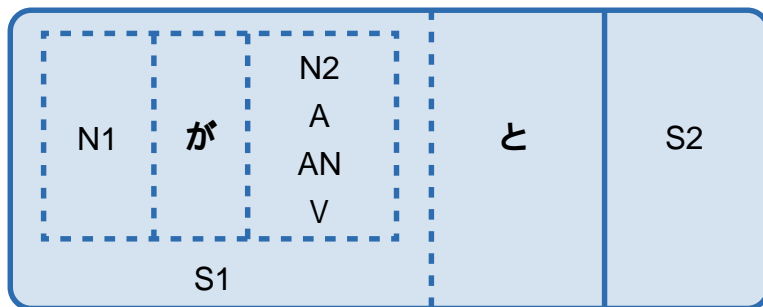
B: わたしは、ジュースにします。(決めたこと)

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 活-04 Vない形
- 文-59 Aく/A Nに/Nにします
- 文-73 Vこと/Nになります

【「れんしゅう編」の練習】

- 18-3 ボランティア
- 18-5 劇をすることにします
- 18-6 クラブ紹介
- 18-7 忙しい2学期

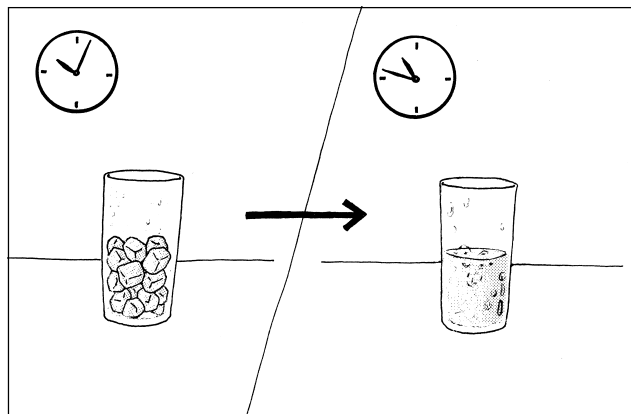


N2 / A / AN / V : 常体形非過去 じょうたいけいひかこ

基 本

例 文

- ① お金を入れてボタンを押すと、切符が出てきます。
かね い お ぎっぷ で
- ② A : 職員室はどこですか。
しよくいんしつ
B : ろうかをまっすぐ行って、つきあたりを左に曲がると、右側にありますよ。
い ひだり ま みきがわ
- ③ 電車だと40分ですが、バスだと1時間かかります。
でんしゃ ぶん じ かん
- ④ 試合に勝つとうれしいですが、負けるとくやしいです。
し あい か ま
- ⑤ 成績がよくないと、奨学金がもらえません。
せいせき しょうがくきん
- ⑥ 休みが長いと、習ったことを忘れてしまいます。
やす なが なら わす
- ⑦ 校長先生は毎朝学校に来ると、花だんの花に水をやります。
こうちょうせんせい まいあさがっこう く か はな みず
- ⑧ 氷がとけると、水になります。
こおり みず
- ⑨ 春になると、テニスコートのそばの桜の花が咲きます。
はる さくら はな さ
- ⑩ 1から10までの数を全部たすと、55になります。
かず ぜんぶ



例文 ⑧

- A. 「S1とS2」で、S1が成立する場合必ずS2が成立することを表す。S2は非過去形。(例文①～⑩)
- B. やり方、行き方などを説明するときに使う。(例文①②)
- C. 一般的事実、習慣的事実を説明するときに使う。(例文③～⑦)
- D. 自然現象について述べるときに使う。(例文⑧⑨)
- E. 論理的なことを述べるときに使う。(例文⑩)

先生へ

S2に、以下のような意志的な表現は使えない。

依頼：Vてください/Vてくださいませんか など

意志：Vよう/Vようと思います など

願望：Vたいです など

誘い：Vましょう/Vませんか など

禁止：Vてはいけません など

一回限りの出来事、行動について述べるときには使えない。

「と(条件)」と「たら」の違い。

S1	S2 (非過去形)	と	たら	例文
話し手が仮定したこと		×		大学生になったら、ラグビーをしたいです。
実際にある、または あった行動や状況	無意志的表現			春になると、桜の花が咲きます。 春になったら、桜の花が咲きます。
	意志的表現	×		駅についたら、電話してください。

S2が過去形の場合にはS1とS2は以下のような関係にある。この場合は、「たら」で置き換えることができる。

S1とS2の関係	例文
S1がS2のきっかけ	田中さんは、先生に呼ばれると、すぐ立ち上がりました。
S1によってS2を発見	教室へ行くと、もう授業が始まっていました。
S1をしているときS2がおこる	図書館で本を読んでいると、先生がきました。

【関連項目】

活-05 常体形
文-57 たら

【「れんしゅう編」の練習】

18-1 春になると...
18-6 クラブ紹介
18-8 日本の学校行事

文-75

V(ら)れます(受身)

N1	は/が	N2	に	V(ら)れます
----	-----	----	---	---------

N1: Vの行為の受け手

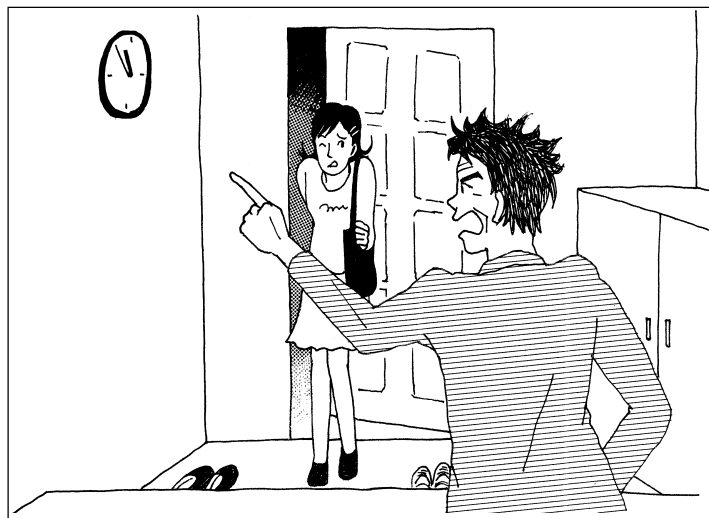
N2: Vの動作主

V(ら)れます: 受身形

基 本

例 文

- ① わたしはおばあさんに道を聞かれました。
- ② 姉は、夜遅く帰って、父にしかられました。



例文②

- ③ 財布を落としたので交番へ行ったら、おまわりさんにいろいろ質問されました。
- ④ 子供のとき、犬にかまれたことがあります。
- ⑤ A: どうしたんですか。うれしそうですね。
B: スピーチがじょうずにできて、日本語の先生にほめられたんです。

解説

- A. Vの動作を、その動作の受け手(N1)の立場で述べるときに使う。(例文①～⑤)
- B. N1が話し手、またはだれかわかっている場合は、「N1は/が」が省略されることがある。
(例文③～⑤)

発 展

例 文

- ⑥ 2000年に沖縄でサミットが開かれました。
- ⑦ この歌は、カラオケでよく歌われています。

解説

- C. 社会的事実を述べるときに使う。その場合、動作主(N2)は特定されない。(例文⑥⑦)

先生へ

Vは他動詞。(p.280参照)

話し手の意志に関係なく起こったことで、迷惑と感じる動作、行為を述べるときに使う用法はここでは扱わない。

- 例1 突然雨に降られて、ぬれてしまいました。
- 2 友達に0点のテストを見られて、はずかしかったです。

【関連項目】

活-08 受身形

【「れんしゅう編」の練習】

- 19-3 十二支の中にねこがない理由
- 19-6 山田さんへの手紙
- 19-7 ホームステイの報告
- 20-6 いろいろな未来

文-76

Vてもらいます

N1	は/が	N2	に	Vて	もらいます
----	-----	----	---	----	-------

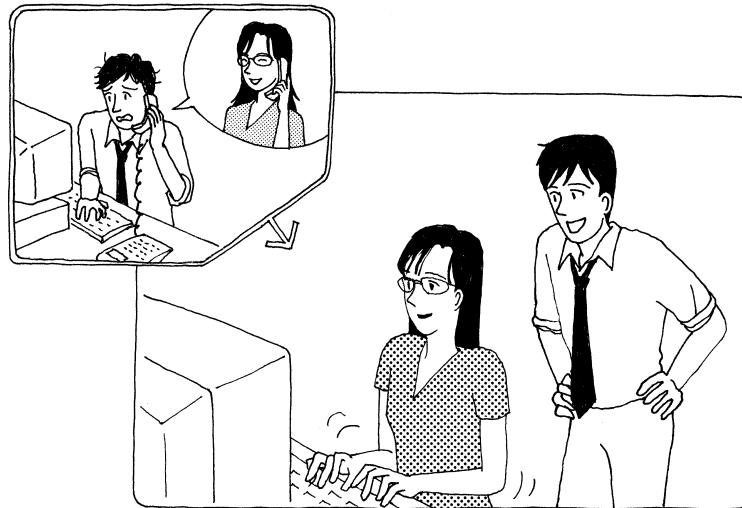
N1: Vの行為の受け手

N2: Vの動作主

基 本

例 文

- ① 昨日、わたしは、中田さんに年賀状の書き方を教えてもらいました。
- ② 山本さんに日本の写真を見せてもらいました。
- ③ 雨が降っているので、山田さんに車で送ってもらいましょう。
- ④ 明日は忙しくなりそうなので、中田さんにも手伝ってもらうことにしました。
- ⑤ コンピュータが動かなくなったので、中山さんに直してもらいました。



例文⑤

- ⑥ A: 「 × 」はどんな食べ物かわかりましたか。
 B: 田中さんに聞いて、説明してもらったんですが、よくわかりませんでした。
- ⑦ 山中さんに日本から送ってもらったTOKIOのポスターは、わたしの宝ものです。

- A. N1の要望に応じて、N2がVの行為、動作をすることを表す。(例文①～⑦)
- B. N2は話し手にならない。
- C. N1が話し手、または話し手を含む人たちの場合は、「N1は/が」は省略されることがある。
(例文②～⑦)

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

「Vてもらいますか」は、だれかにVの行為を依頼するかどうかたずねるときに使う。

例 A: だれかに手伝ってもらいますか。

B: そうですね。中田さんにお願ひしましょう。

Vが「教える、貸す、送る」などの物や知識が移動することを表す動詞の場合、「に」が「から」になることがあるが、学習者が混乱するのでここでは「から」を扱わないほうがよい。

例 田中さんから本を貸してもらいました。

話し手の利益となる行為について述べる時、「Vてもらいます」を使わず、客観的な事実を述べる「Vます」を使ってしまふ誤用が多い。「Vます」では、行為をした人に対して失礼になることがあるので、注意させること。

例 中田さんがわたしの宿題を手伝いました。(客観的な事実)

中田さんに宿題を手伝ってもらいました。(感謝の気持ちが含まれる)

「Vてもらいます」を正確に使えるようになるためには、「ウチ・ソト」の関係の理解が必要である。

(p.276 参照)

「Vてもらいます」と逆の方向性の行為を述べる表現「Vてあげます」は、p.277 参照。

【関連項目】

- 活-01 て形
- 文-51 もらいます
- 文-77 Vてくれます

【「れんしゅう編」の練習】

- 19-6 山田さんへの手紙
- 19-7 ホームステイの報告

文-77

Vてくれます

N1	は/が	N2	に	Vて	くれます
----	-----	----	---	----	------

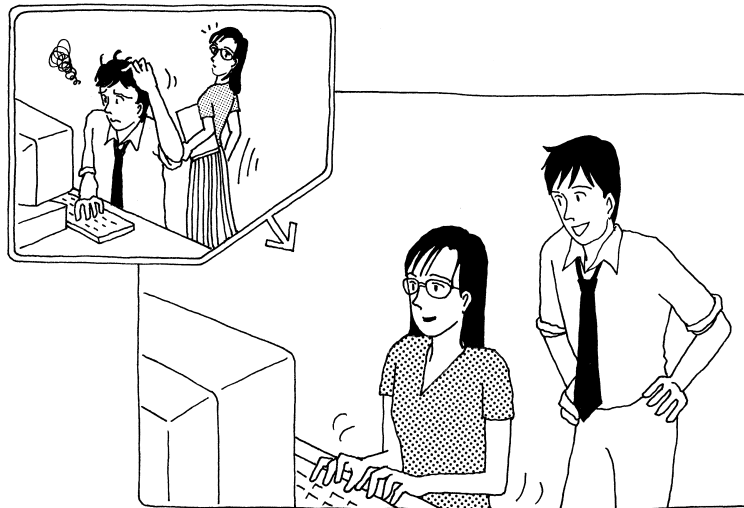
N1 : Vの動作主

N2 : Vの動作の受け手

基本

例文

- ① 山本さんは、よく、わたしたちに料理を作ってくれます。
- ② 風邪で学校を休んだら、次の日、中田さんがノートを見せてくれました。
- ③ 傘がなくて困っていたとき、中山さんが貸してくれました。
- ④ 中田さんは、わたしの財布をひろって届けてくれました。
- ⑤ コンピュータが動かなくなって困っていたら、中山さんが直してくれました。



例文⑤

- ⑥ A : 山本さん、この間送ったわたしのメール、読んでくれましたか。
B : えっ、いつ送ったんですか。届いていませんよ。
- ⑦ 荷物を持ってきて、ありがとう。
- ⑧ 先週、中山さんはわたしを食事に招待してくれました。

⑨ A : 電車でんしゃに間まに合あいましたか。

B : はい。山田やまださんが駅えきまで車くるまで送おくってくれましたから。

解説

A. N1がN2の利益りえきになる行為こうい、動作どうさをするあらわことを表す。(例文①～⑨)

B. N1は話し手はなにならない。

C. N2はたいてい話し手はな、または話し手はなを含む人ひとたちなので、「N2に」は省略しょうりゃくされることが多い。
(例文②③⑤⑦⑨)

D. 「N2に」が「N2を」「N2の」になることがある。

「N1は/が N2のN3を Vてくれます」(例文④⑥⑦)

(N3はN2の持ち物もや体からだの部分ぶぶん)

「N1は/が N2を Vてくれます」(例文⑧)

(N2はVの動作どうさの対象たいしょう)

先生へ

「N2を」となる場合、Vは「案内あんないする、選ぶえらぶ、起こすお、送るおく、しかるしょうたい、招待そだする、育てるたす、助けるて、手て伝つたう、ほめるみ、見つけるむか、迎えるよ、呼ぶどうし」などの動詞。

N2が話し手はなのウチての関係かんけいの人ひと(p.276参照)になることがあるが、ここでは話し手はなまたは話し手はなを含むグループれんしゅうに限かぎって練習れんしゅうしたほうごんらんが混乱こんらんしない。

例 山田やまださんは、妹いもうとに日本語にほんごを教おしえてくれました。

Vには無意志動詞むいしどうしを使うつかこともあるが、ここでは意志動詞いしどうしだけで練習れんしゅうしたほうれんしゅうがわかりやすい。

例 ずっと雨あめで、なかなか晴はれてくれませんか。

話し手はなの利益りえきとなる行為こういについて述つべるとき、「Vてくれます」を使つかわず、客観きゃっかんてき的な事実じじつを述のべる

「Vます」を使つかってしまう誤用ごようが多い。「Vます」では、行為こういをした人ひとに対して失礼しつれいな表現ひょうげんになるので、注意ちゅういさせること。

例 山田やまださんはいろいろな料理りょうりを作つくりました。(客観きゃっかんてき的な事実じじつ)

山田やまださんはいろいろな料理りょうりを作つくってくれました。(感謝かんしゃの気持ちきもを含ふくんでいる)

「Vてくれますか」は命令めいれいに近い依頼いちがいを述のべるときつかに使つかわれるので、いっしょに練習れんしゅうしないほうがよい。

「Vてくれます」を正確せいかくに使つかえるようにするためには、「ウチ・ソト」の関係かんけいの理解りかいが必要ひつようである。

(p.276参照さんしやう)

【関連項目】

活-01 Vて形

文-76 Vてもらいます

【「れんしゅう編」の練習】

19-5 お礼のカード

19-6 山田さんへの手紙

19-7 ホームステイの報告

S そう です

じょうたいけい
S：常体形

基 本

例 文

- ① 田中^{たなか}さんのお母^{かあ}さんは医者^{いしや}だそうです。
- ② 山田^{やまだ}さんの手紙^{てがみ}によると、今年^{ことし}の日本^{にほん}の夏^{なつ}はいつもより暑^{あつ}いそうです。
- ③ A：三社^{さんじゃまつ}祭り^みを見^みに行^いったことがありますか。
- B：いいえ。でも、山本^{やまもと}さんの話^{はなし}では、その祭り^{まつ}はとてものにぎやかだそうですよ。
- ④ 天気^{てんき}予報^{よほう}によると、あした^{あした}は晴^はれるそうです。
- ⑤ 新聞^{しんぶん}によると、日本^{にほん}で地震^{じしん}が起^おこったそうです。



例文⑤

- ⑥ A：知^しっていますか。中田^{なかた}さん、手話^{しゅわ}ができるそうですよ。
- B：本当^{ほんとう}ですか。じゃ、今度^{こんど}教^{おし}えてもらいましょう。
- ⑦ A：中田^{なかた}さんは週末^{しゅうまつ}のスキー^いに行^いけないそうです。
- B：どうしてですか。
- A：手^てをけが^{けが}してしま^{しま}ったんだそうです。

解説

- A. 話し手が聞いたり読んだりして得た情報をだれかに伝えるときに使う。(例文①～⑦)
- B. 情報源がはっきりしている場合に使う。情報源は「～によると」「～の話では」で示すことができる。(例文②～⑤)
- C. 「そうです」は過去形、否定形、疑問形では使わない。

先生へ

「そうです」は「だろう、みたいだ、ようだ」の後には使えない。

「そうです」(様態)(p.222)とは、A、AN、Vの接続形が違うので、注意すること。

例 この料理、おいしいそうですね。(様態)

山田さんのお父さんの料理はおいしいそうですね。(伝聞)

【関連項目】

活-05 常体形
文-71 そうです(様態)

【「れんしゅう編」の練習】

19-1 伝言ゲーム
19-2 新聞を読んで
19-3 十二支の中にねこがない理由

<グループ1>

う	われる	つかう	つかわれる
く	かれる	かく	かかれる
ぐ	がれる	さわぐ	さわがれる
す	される	はなす	はなされる
つ	たれる	うつ	うたれる
ぬ	なれる	しぬ	しなれる
ぶ	ばれる	はこぶ	はこばれる
む	まれる	たのむ	たのまれる
る	られる	とる	とられる

<グループ2>

る	られる	みる	みられる
		おしえる	おしえられる

<グループ3>

する	される
くる	こられる

先生へ

受身形は動詞の活用形の一つ。

受身形の「ます形、ない形、て形、た形」などは、グループ2の動詞活用と同じ。

例 よばれる よばれます
 よばれない
 よばれて
 よばれた

受身形を持たない動詞がある。

すでに受身的な意味を持つ動詞：見つかる など

無意志動詞の中の状態動詞：ある、要る、かかる など (p.279 参照)

可能、自発の意味を持つ動詞：見える、聞こえる など

【関連項目】

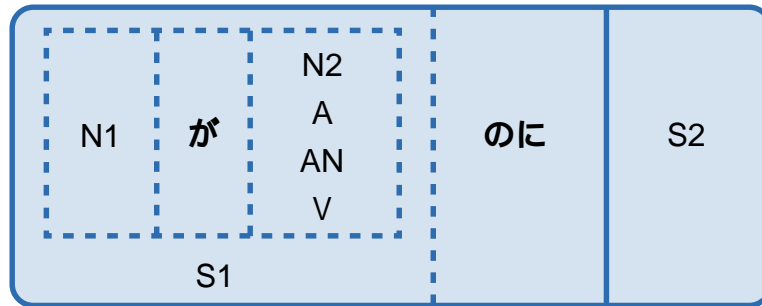
活-03 V 辞書形
 文-75 V(ら)れます(受身)

【「れんしゅう編」の練習】

19-3 十二支の中にねこがない理由
 19-6 山田さんへの手紙
 19-7 ホームステイの報告
 20-6 いろいろな未来

助 - 32

のに

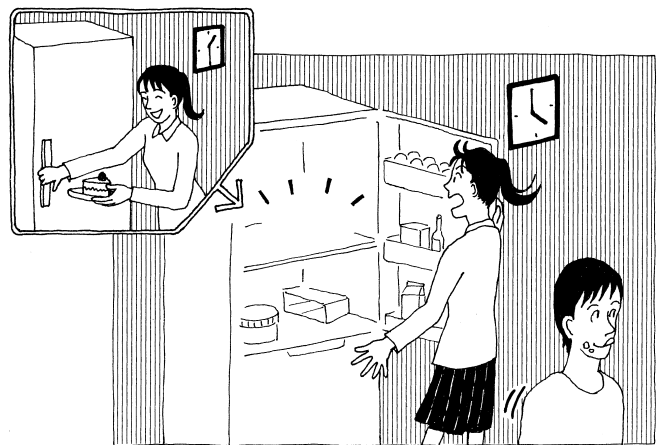


N2 / A / AN / V : 常体形。ただし、「Nだ Nな」「ANだ ANな」

基 本

例 文

- ① 梅雨^{つゆ}なのに、雨^{あめ}がぜんぜん降^ふりません。
- ② 田中^{たなか}さんは家^{いえ}が近^{ちか}いのに、よく遅^ち刻^{こく}します。
- ③ 波^{なみ}が高^{たか}くて危^き険^{けん}なのに、サーフィン^{サーフィン}をしてい^{して}る人^{ひと}がいます。
- ④ 風邪^{かぜ}で熱^{ねつ}がある^あるのに、中山^{なかやま}さんは授^{じゆ}業^{ぎよう}を休^{やす}みません。
- ⑤ 一^{いっ}生^{しょう}懸^{けん}命^{めい}勉^{べん}強^{きやう}した^{した}のに、試^し験^{けん}に落^おちてしま^{しま}いました。
- ⑥ A : 田中^{たなか}さんは？
B : もう帰^{かえ}りました。
A : いっしょに帰^{かえ}ろうと思^{おも}ったのに。
- ⑦ A : き^まのう、ず^まっと待^{まち}っていたのに、
どうして来^こなかつたんですか。
B : ごめ^きんなさい。急^{きゆう}にお腹^{なか}が
痛^{いた}くな^なってしま^{しま}ったんです。
- ⑧ あ^たとで食^たべようと思^{おも}って冷^{れい}蔵^{ぞう}庫^こに
入^いれてお^おいたのに、だ^たれが食^たべた
んですか。



例文 ⑧

A. 「S1 のに S2」で、S2 が S1 から当然予測される状態、結果とは食い違っていることを表す。

(例文①～⑧)

B. N1 が話し手の場合、不満、残念だという気持ちを表す。(例文⑤～⑧)

C. S2 で表されることがわかっている場合には、省略されることがある。(例文⑥)

D. 質問文は、「S1 のに、S2 んですか」の形になる。(例文⑦⑧)

先生へ

S1 と S2 は、事実(すでに起こったことや現在の状態)、または話し手の判断でなければならない。

S2 に、以下のような意志的な表現は使えない。

依頼：Vてください/Vてくださいませんか など

意志：Vよう/Vようとおもいます など

願望：Vたいです など

誘い：Vましょう/Vませんか など

禁止：Vてはいけません など

「のに」と「ても」「が(接続)」との違い。

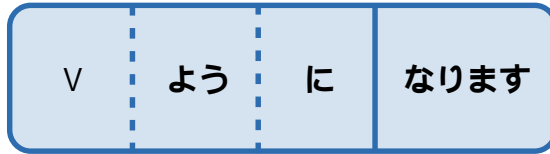
	S1 のに S2	S1 ても S2	S1 が S2
S1 が話し手の仮定したこと	×		×
S1 が実際にあったこと、したこと			
話し手の気持ち	残念、不満、 期待はずれ	-	-
依頼、意志、願望、誘いなどの文末表現	×		

【関連項目】

活-05 常体形
文-58 ても
助-16 が(接続)

【「れんしゅう編」の練習】

19-4 手紙を出したのに
19-7 ホームステイの報告

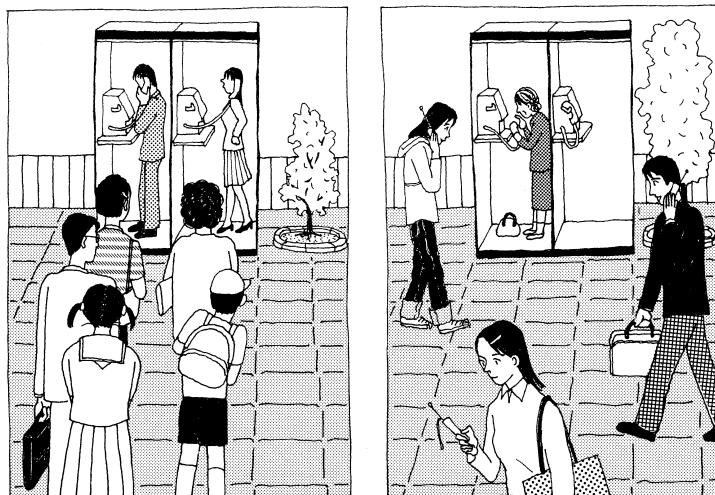


V: 辞書形、または可能形

基 本

例 文

- ① Eメールを始めてから、電話の代わりにEメールで連絡をとるようになりました。
- ② 母が病気になってから、弟は洗濯や掃除を手伝うようになりました。
- ③ 衛星放送が始まって、世界のニュースがいつでも見られるようになりました。
- ④ 21世紀になったら、だれでも宇宙旅行に行けるようになると言われていました。
- ⑤ 楽器が弾けなくても、コンピュータを使って作曲をしたり、演奏をしたりできるようになりました。
- ⑥ 外国語を勉強して、いろいろな国の人と話せるようになりたいです。
- ⑦ 携帯電話を使う人が多くなって、公衆電話があまり使われなくなりました。
- ⑧ A: パソコンの新しいモデルが発売されるそうですよ。
B: じゃ、今のモデルは売れなくなりますね。



例文⑦

解説

- A. Vで表される習慣に変わる、または変わったことを述べるときに使う。(例文①②)
- B. Vで表される状況、能力に変わる、または変わったことを述べるときに使う。(例文③～⑥)
- C. 以前の状況や習慣がそうでなくなった場合は、「Vなくなります」を使う。(例文⑦⑧)

先生へ

「^{ふと}太る、^かやせる、^の変わる、^の伸びる、^ふ増える、^へ減る」などの変化を表す動詞といっしょに使うことはできない。

「Vなくなります」と言うとき、「Vないようにになります」とならないように注意すること。

【関連項目】

- 活-03 V辞書形
 活-04 Vない形
 活-06 可能形
 文-39 Aく / ANに / Nになります
 文-60 Vようにします
 文-81 Vできます / Vていきます

【「れんしゅう編」の練習】

- 20-1 Eメールを始めてから
 20-6 いろいろな未来
 20-7 未来のニュース
 20-8 調査「未来はどうなる？」
 20-9 わたしたちの未来

文-80

みたいです / ようです

N1	は	N2 A AN V	みたい	です
----	---	--------------------	-----	----

N2 / A / AN / V : 常体形

ただし、「N2だ N2」「ANだ AN」

N1	は	N2 A AN V	よう	です
----	---	--------------------	----	----

N2 / A / AN / V : 常体形

ただし、「N2だ N2の」「ANだ ANな」

基 本

例 文

- ① 電気がついていません。留守みたいですね。
- ② A : 犬がすごくほえていますよ。散歩に行きたいみたいですよ。
B : いいえ、あれは、おなかがすいているんですよ。
- ③ とも子さん、中田さんが好きみたいですね。中田さんがいないとつまらなそうです。
- ④ 足音がします。だれか来たみたいです。
- ⑤ 中山さん、今日パーティーがあることを知らないみたいですよ。さっき、帰るしたくをしていましたから。
- ⑥ 熱があるみたいなんです。早退してもいいですか。
- ⑦ 最近ちょっと太ったみたいです。去年買ったズボンがきついんです。

解 説

- A. その場の状況やすでに知っていることなど客観的な事実をもとにした話し手の推量を述べるときに使う。(例文①～⑤)
- B. 話し手自身の印象や感じ、症状などをもとにした話し手の推量を述べるときに使う。
(例文⑥⑦)
- C. 否定形では使われない。
- D. N1 が何であるかわかっている場合は、「N1 は」が省略されることがある。(例文①②⑥⑦)

例 文

- ⑧ 先月行った調査を見ると、物価は去年より下がっているようです
- ⑨ (テレビでニュースキャスターが)
ただいま、臨時ニュースが入りました。 ×島の近くで飛行機事故があったようです。
詳しいことがわかりましたら、すぐにお知らせします。
- ⑩ (マラソンのテレビ中継で)
あっ、選手が来ました。どうやら彼が一位の選手のようです。

解 説

E. 「ようです」は、「みたいです」と同じように使われるが、書きことばや改まった話しことばで使われることが多い。(例文⑧～⑩)

先生へ

話し手の意志的な行為の推量には使わない。

「みたいです」と「ようです」は、おおよそ話しことばと書きことばで使い分けされているが、あらたまった会話、手紙やEメールなどでは、その使い分けがあいまいになる。

「みたいです / ようです」と「そうです」(様態)(p.222)との違い。

みたいです / ようです	<ul style="list-style-type: none"> その場の状況など客観的な事実からの話し手の推量。 過去のできごとについても推量できる。
そうです (様態)	<ul style="list-style-type: none"> 直接そのものを見ての話し手の印象や推量。 現状から判断した話し手の予想。

例1 (ある料理を食べている人がたくさんいるのを見て) おいしいみたいですね。

(その料理を見て) おいしそうですね。

2 (部屋の電気が消えているのを見て) もう寝たいですよ。

(赤ちゃんがあくびしているのを見て) もうすぐ眠りそうですよ。

ほかのものに例えて何かを説明するときに使う比況の「みたいです / ようです」は、ここでは扱わない。

例1 今日は暑くて、まるで夏みたいです。

2 まるで日本人のように日本語を話す。

最初に「みたいです」だけを使って、用法を理解させるとよい。

【関連項目】

活-05 常体形
文-71 そうです(様態)
文-79 Vようになります

【「れんしゅう編」の練習】

20-2 お化けアパート
20-3 留学生が見た日本
20-6 いろいろな未来
20-7 未来のニュース
20-9 わたしたちの未来

文-81

Vてきます / Vていきます

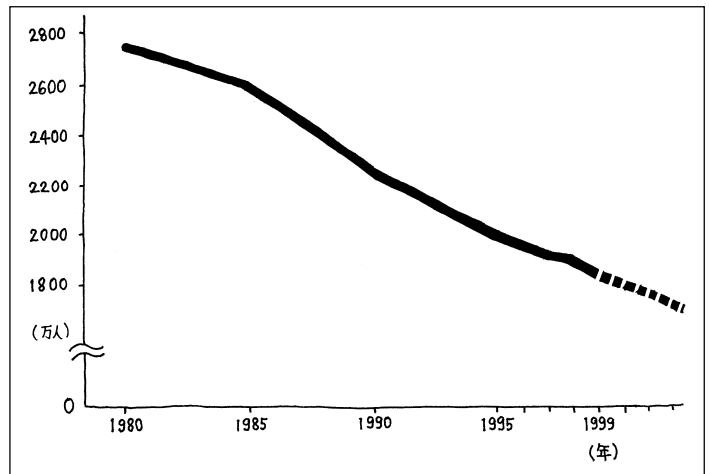
Vて きました

Vて いきます

基 本

例 文

- ① 最近^{さいきん}は自分^{じぶん}で本^{ほん}を買^かわないで、図書館^{としょかん}で本^{ほん}を借^かりる人^{ひと}が増^ふえてきました。
- ② A: 日本語^{にほんご}は、少^{すこ}しづつ変^かわってましたね。
 B: そうですね。アクセント^かも変^かわってましたね。
- ③ 新^{あたら}しい駅^{えき}ができて、町^{まち}がにぎやか^まになってきました。
- ④ 日本^{にほん}では、1980年^{ねん}から約^{やく}20年間^{ねんかん}、15歳^{さい}以下^{いか}の人口^{じんこう}は毎年^{まいとし}減^へってきました。今^{こん}後^ごも減^へっていくでしょう。
- ⑤ このま^にま^{さん}二酸化^{かたん}炭^そ素^そ(CO₂)が、増^ふえていくと、地球^{ちきゅう}の温^{おん}度^どは、ま^あすま^あす上^あがっていくでしょう。



例文④

解 説

- A. 「Vてきました」は、Vの変化^{へんか}が過去^{かこ}から現在^{げんざい}、または話し手^{はな}が考えている時点^てまで続^{かんが}いている時点^{じてん}まで続^{つづ}いていることを述^つべるときに使う。(例文①~④)
- B. 「Vていきます」は、現在^{げんざい}または話し手^{はな}が考えている時点^てのVで表^{かんが}される状態^{じてん}が今後^{あらわ}どうなるか(時点^{しょうたい})を述^{こんご}べるときに使う。(例文④⑤)

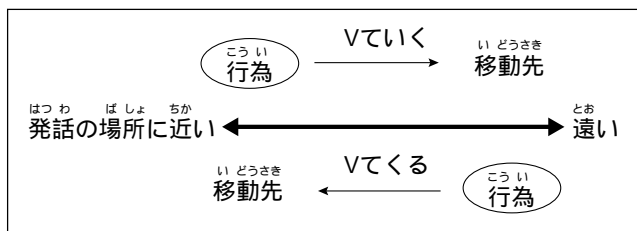


例 文

- ⑥ コンサートのま^なえに、何か^た食べてい^ましょう。
 ⑦ 出張^{しゅっちょう}で九州^{きゅうしゅう}に行^いった父^{ちち}は、わたしたちにおみやげ^かを買^かってきてくれました。

解 説

C. Vの行為^{こうい}をしてから、移動^{いどう}することを表^{あらわ}す。(例文⑥⑦)



先生へ

A、Bの用法^{ようほう}では、Vは「太^{ふと}る、やせる、変^かわる、伸^のびる、増^ふえる、減^へる、Aく / ANになる」など変化^{へんか}を表^{あらわ}す動詞^{どうし}。

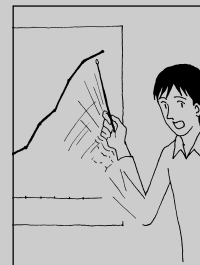
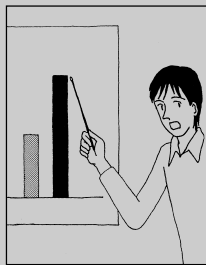
Cの用法^{ようほう}では、Vは意志動詞^{いしどうし}。(p.278 参照^{さんしやう})

「Vてきました」と「Vました」の違^{ちが}い。

例 (グラフ^{つか}を使った説明^{せつめい}で)

携帯電話^{けいたいでんわ}の利用者^{りようしゃ}が増^ふえました。

携帯電話^{けいたいでんわ}の利用者^{りようしゃ}が増^ふえてきました。



「連れてい^つく / 連れてく^つる」「持^もっていく / 持^もってくる」などは、移動^{いどう}のときの状態^{じょうたい}を表^{あらわ}す用法^{ようほう}だが、語^ご彙^いとして扱^{あつか}ったほうがわかりやすい。

基準^{きじゆんじ}時^{げんざい}を現在^{ばあい}の場合^{れんしゅう}で練習^{りかい}したほうが理解^{りかい}しやすい。

【関連項目】

活-01 Vて形

【「れんしゅう編」の練習】

- 20-5 コンピュータの教育
- 20-7 未来のニュース

V	やすい	です
---	-----	----

V: Vます

基 本

例 文

- ① このペンは、とても書きやすいですね。どこで買ったんですか。
- ② A: 部屋の番号は何番ですか。
B: 1234 です。
A: え、1234 ですか。覚えやすい番号ですね。
- ③ 検索サイトがたくさんできて、以前よりインターネットで情報が探しやすくなりました。
- ④ この本に、宇宙の誕生のことがわかりやすく書いてあります。
- ⑤ この研究所では、お年寄りや障害者が使いやすい製品を開発しています。
- ⑥ 夏は食べ物がくさりやすいから、食中毒に気をつけましょう。
- ⑦ この交差点で事故が起こりやすいのは、信号がないからだだと思います。

解 説

- A. 動作、行為をスムーズに行うことができる状態であることを表す。(例文①～⑤)
- B. そうなる可能性、または頻度が高いことを表す。(例文⑥⑦)
- C. 「やすい」は、形容詞と同じように活用する。

先生へ

A. の用法では、Vは意志動詞。(p.278 参照)

B. の用法では、Vは無意志動詞。(p.279 参照)

反対の意味を表す表現は「Vにくいです」。

【関連項目】

文 -83 Vにくいです

【「れんしゅう編」の練習】

20-4 書きやすいペン

20-6 いろいろな未来

20-7 未来のニュース

20-9 わたしたちの未来

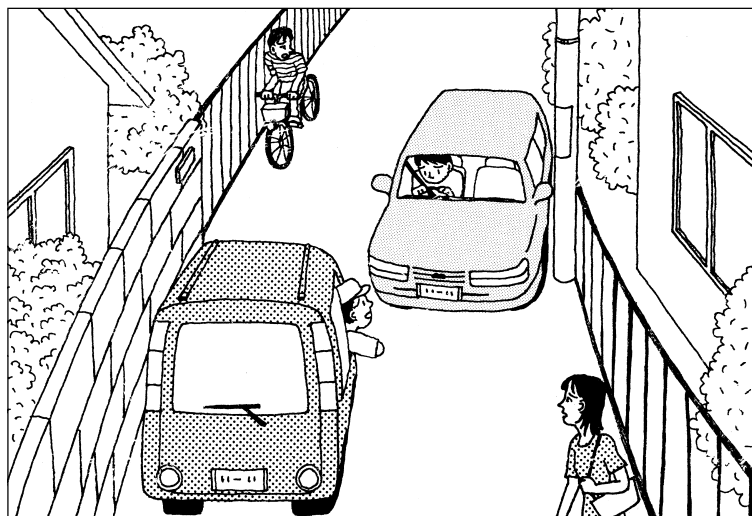
V にくい です

V: Vます

基 本

例 文

- ① この道は、狭くて、通りにくいです。
- ② 1年生のとき使っていた辞書は、字が小さくて読みにくかったです。
- ③ A: アンケート、山田さんにたのんでみたらどうですか。
B: 山田さん、最近忙しそうですから、たのみにくいんです。
- ④ 衛星放送のおかげで、電波が届きにくいところでもテレビが見られるようになりました。
- ⑤ 梅雨の季節は、洗濯物が乾きにくくて、困ります。
- ⑥ 新しく開発されたガラスは、軽くて割れにくいそうです。
- ⑦ この建物には、燃えにくい材料が使われています。



例文①

解説

- A. 動作、行為をスムーズに行うのがむずかしい状態であることを表す。(例文①～④)
B. 簡単にそうならないということを表す。(例文⑤～⑦)
C. 「にくい」は、形容詞と同じように活用する。

先生へ

- A. の用法では、Vは意志動詞。(p.278 参照)
B. の用法では、Vは無意志動詞。(p.279 参照)
反対の意味を表す表現は「Vやすいです」。

【関連項目】

文-82 Vやすいです

【「れんしゅう編」の練習】

20-4 書きやすいペン

20-6 いろいろな未来